

# **USER'S MANUAL**

ワイヤレス・プリントサーバ

# **GW-PS01**

**PLANEX COMMUNICATIONS INC.**



# **USER'S MANUAL**

ワイヤレス・プリントサーバ

**GW-PS01**

# 本製品を安全にお使いいただくために

## ⚠ 警告

本製品をご利用の際は、以下の注意点を必ずお守りください。これらの事項が守られない場合、感電、火災、故障などにより使用者の重傷または死亡につながるおそれがあります。

### 分解・改造・修理はダメ！

各部のネジを外したり、カバーを開けたりしないでください。また製品内部の部品を改造・交換しないでください。感電や火災につながるおそれがあります。



### 雷のときはさわらないで！

雷が発生している間は、製品各部およびケーブルにさわらないでください。感電するおそれがあります。



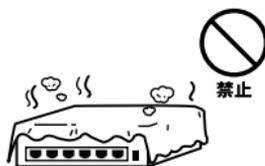
### 正しい電圧で使用して！

指定の電圧以外で使用すると誤動作や火災につながるおそれがあります。



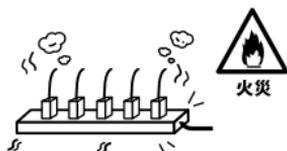
### 通気口をふさがないで！

内部に熱がこもり、誤動作や火災につながるおそれがあります。



### タコ足配線・無理な配線はダメ！

コンセントや電源タップの定格を超えて電気製品を接続すると、発熱し火災につながる危険があります。



### 電源コードをつけて移動しないで！

本製品を設置・移動する際は、必ず電源コードを前もって抜いておいてください。電源コードを入れたまま移動し、コードが傷つくと誤動作や火災につながるおそれがあります。



## 液体・異物は入れないで！

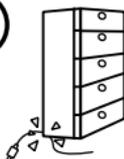
製品内部に液体や異物が入ると、ショートして火災が発生したり、誤動作したりする可能性があります。万一異物や液体が入ってしまった場合は、電源コードをコンセントから外して弊社サポートセンターまでご連絡ください。



## 電源コードは傷つけないで！

火災・感電につながるおそれがありますので、電源やACアダプタのコードは絶対に加工したり傷つけたりしないでください。また以下の点を守ってコードを傷めないようにしてください。

- ◇コードの上に物を載せない
- ◇熱源の側にコードを置かない
- ◇コードをかじる癖のあるペットは隔離する  
(かじった部分からショートし発火する危険があります)



## 設置・保管場所をもう一度確認して！

以下の場所での本製品のご利用や保管は避けてください。これらの場所で設置・保管を行うと誤動作や感電、火災につながる危険があります。

- ・本製品が落下する可能性のある不安定な場所
- ・直射日光のあたる場所
- ・高温または多湿の場所（暖房器具の側も含む）
- ・急激に温度変化する可能性のある場所（結露のおそれがある所）
- ・振動の激しい場所
- ・ほこりの多い場所
- ・静電気を帯びやすい場所（絨毯の上も含む）
- ・腐食性のガスが発生する場所



## ◎おねがい

本製品のお手入れ

- ・本製品のお手入れは乾いた柔らかい布で行ってください。
- ・汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に布を浸し、かたく絞って本製品を拭いてください。また最後に乾いた布で軽く拭いてください。
- ・台所用中性洗剤以外は使わないでください。シンナーやベンジン、ワックス、アルコールが入ったものは使用できません。

# 目次

本製品を安全にお使いいただくために	2
<b>第1章 はじめに</b>	
1.GW-PS01の特長	9
2.EtherTalk/LANManagerで使用しない場合の注意	12
<b>第2章 インストール手順</b>	
1.ハードウェアのインストール	13
1-1 必要な環境	13
1-2 本体各部の名称と機能	14
1-3 本体の設置	17
1-4 接続と電源投入	17
2.セットアップ	18
2-1 環境別設定方法	18
2-2 設定ユーティリティ	19
<b>第3章 TCP/IP</b>	
1.IPアドレスの設定	21
1-1 SetupWizardでの設定	22
1-2 Windows用ユーティリティIP_SETでの設定	23
1-3 arp、pingコマンドでの設定	27
1-4 動作IPアドレスの決定手順	32
1-5 RARPでの設定	33
1-6 DHCPでの設定	34
1-7 OOTPでの設定	34
1-8 PrintAdminでの設定	35
1-9 GW-PS01 Setup Utility (Macintosh用)での設定	35
2.Windows95/98/Me/NTでの使用方法	36
2-1 概要	36
2-2 GW-PS01本体の設定	36
2-3 WindowsNT4.0の設定	37
2-4 ファイルシステムがNTFSの場合のご注意	40
2-5 WindowsNTのプリンタをネットワークで共有する場合	42
2-6 Windows95/98/Meから直接印刷を行う場合	43

3.Windows2000での使用方法	53
3-1 Windows2000のLocal Printer Portについて	53
3-2 設定概要	54
3-3 GW-PS01本体の設定	54
3-4 Windows2000の設定	54
<b>第4章 EtherTalk</b>	
1.概要	77
1-1 GW-PS01本体の設定	77
1-2 Macintoshの設定	82
2.印刷方法	84
<b>第5章 LANManager (TCP/IP・NetBEUI)</b>	
1.概要	85
1-1 GW-PS01本体の設定	85
1-2 Windows95/98/Meでの使用方法	88
1-3 WindowsNT4.0での使用方法	92
1-4 Windows2000での使用方法	95
1-5 OS/2での使用方法	98
2.LANManagerで使用する場合の注意点	99
<b>第6章 設定ユーティリティの使用法</b>	
1.概要	103
2.ブラウザ	107
2-1 設定を変更する場合	110
2-2 TCP/IP	114
2-3 EtherTalk	116
2-4 LANManager	118
2-5 SNMP	121
2-6 ファームウェアバージョン	122
2-7 イーサネットステータス	122
2-8 ワイヤレスステータス	123
2-9 プリンタポート	125
2-10 エラーステータスコード	128
2-11 プリントバッファのクリア	130

2-12	プリントサーバのリセット	130
2-13	プリンタステータス	130
2-14	再起動までの時間設定	131
2-15	パスワードの設定	132
3.	TELNET	133
3-1	GW-PS01へのログイン	133
3-2	TCP/IPの設定	137
3-3	EtherTalkの設定	142
3-4	ViewCurrentConfiguration (現在の構成の表示)	145
3-5	ハードウェア環境の設定	149
4.	SetupWizard	159
4-1	SetupWizardのインストール	160
4-2	SetupWizardの起動	161
4-3	セットアップ方法選択	165
4-4	フルセットアップ	166
4-5	標準セットアップ	177
4-6	最小セットアップ: TCP/IP設定のみ	117
5.	GW-PS01 Setup Utility (Macintosh用)	179
5-1	ユーティリティ起動方法	179
5-2	AppleTalk	182
5-3	情報取得	185
5-4	TCP/IP	187
5-5	SNMP	188
5-6	LANManager	188
5-7	無線設定	190
5-8	その他設定	192
6.	WIP_SET	194

7.LPPrint98	199
7-1 LPrint98のインストール	201
7-2 ViewCurrentConfiguration (現在の構成の表示)	204
7-3 ポートの詳細設定	214
7-4 ポートの変更	217
7-5 ポートの削除	218
7-6 印刷のモニタおよび印刷の中止	219
7-7 EPSONインクジェットプリンタへの印刷注意点	225
7-8 LPrint98のアンインストール	226
7-9 トラブルシューティング	226

## 第7章 その他

1.DHCPでの使用方法	229
1-1 DHCP概要	231
1-2 設定概要	232
1-3 GW-PS01本体の設定	233
1-4 DHCPサーバの設定	234
1-5 DHCP使用上の注意	244
2.SNMPについて	247
3.WINSでの使用方法	248
3-1 WINS概要	249
3-2 設定概要	249
3-3 GW-PS01本体の設定	253
3-4 クライアントの設定	253
3-5 WINSサーバの管理	257
4.Web JetAdmin対応	264

## 付録A 故障診断

1.設定ユーティリティ	263
2.テストスイッチ	263
3.テクニカルサポートコール	264

## 付録B バージョンアップ

## 付録C 製品仕様



# はじめに

## こ

の章では、プリントサーバGW-PS01の概要について説明します。

## 1 GW-PS01の特長

GW-PS01には次のような特長があります。

### IEEE802.11b対応

GW-PS01は、IEEE802.11bに対応しているため、無線環境でのネットワーク印刷を可能にします。

### セットアップウィザード搭載

GW-PS01が設置されているネットワークの状況を自動認識し、設定に必要な入力項目をウィザード形式で順次指示することにより、設定作業の効率を大幅に向上しました。

### Windows95/98/Me対応ピア・ツー・ピア印刷ソフト “LPRint98”標準添付

Windows95/98/Meでピア・ツー・ピア印刷を行うためのライセンスフリーのピア・ツー・ピア印刷用LPRソフト“LPRint98”を標準添付。

ユーザ数に制限はありませんので、オフィス内の全員がご利用いただけます。

## Web JetAdmin対応

GW-PS01は、Hewlett-Packard Company製のネットワークプリンタ設定管理ユーティリティWeb JetAdminを使用して、HP LaserJetプリンタへの設定及びステータス監視が行えます。その他のプリンタへ接続した場合は、GW-PS01の情報(一部)を参照できます。

### 注意

プリンタへの設定は、HP LaserJet 4000/5000/8000 Seriesのみ行えます。(GW-PS01のJETADMINがEnable、SUPPORT PARALLEL MODEがAUTO又はECP MODEでプリンタがパラレルアドバンス キノウ=オンの場合のみ可能)

Web JetAdminの使用方法は、Web JetAdminのマニュアルを参照ください。

## IPP (Internet Printing Protocol) Ver1.0対応

GW-PS01は、IPP Ver1.0に対応していますのでWindows2000に標準搭載されているIPPクライアントからの印刷が行えます。これにより、Internet経由の印刷が可能となります。

### 注意

FireWallの設定によっては、Inetrnetを経由した先のGW-PS01に接続できないことがあります。

## マルチプロトコル対応(印刷プロトコル)

TCP/IP (lpr, lp, FTP, IPP, Port9100)

EtherTalk

LANManager (NetBEUI, TCP/IP)

## WINS対応

GW-PS01は、WINSがサポートされている環境においてWINSを有効にすることでネットワーク内の名前の重複を避けることができます。また、LANManager(下位プロトコルTCP/IPの場合のみ)を使用してルータを超えた印刷も可能となります。

機能豊富で簡単操作の設定ユーティリティ

Mac用設定ユーティリティ( Macintosh用)

HTTPブラウザ対応設定画面

その他、TELNET(TCP/IP)にも対応しています。

## 内蔵漢字フィルタ

GW-PS01は日本語印刷データを各社のプリンタにあった漢字コードに変換できます。

## モニタリング機能

実行ステータスやエラーをモニタリングできます。

SNMPにも対応しています。

## バージョンアップが容易

フラッシュメモリを搭載していますので、バージョンアップが簡単です。

## テスト印刷スイッチ

GW-PS01本体の設定内容をプリンタに印刷できます。

### 注意

インストールを最初からやり直す場合は、GW-PS01背面のテストスイッチを押しながら電源を入れてください。

テストスイッチをそのまま15秒以上押し続けると、本製品は工場出荷設定に戻ります。

## EtherTalk/LANManagerで 使用しない場合の注意

GW-PS01は起動すると、EtherTalk、LANManagerの仕様に基づき、定期的にパケットを送出します。これはネットワーク上でEtherTalk、LANManagerを使用していない場合にも行われます（TCP/IPについては、設定により起動時にのみRARP/BOOTP/DHCOのパケットを送出します。起動後は要求がない限り送出しません）。

このため、GW-PS01の接続されているネットワークが、ダイアルアップ式のルータで他のネットワークに接続されている場合、これらのパケットが送出手続きの際にダイアルアップしてしまう可能性があります（常時通話中になる場合もあります）。

ルータを越えた先に印刷する必要が無い場合や、EtherTalkを使用しない場合には、この現象を回避するために以下のどちらかの設定を行う必要があります。

1. ルータにGW-PS01からのパケットを通過させないよう設定する。  
設定方法については、ルータのマニュアル等をご覧ください。

### 注意

上記設定を行うと、ルータを超えたEtherTalk経由の印刷はできなくなります。

2. GW-PS01が、EtherTalk、LANManagerのパケットを送出しないよう設定する。

設定方法については、「第6章 設定ユーティリティの使用法」をご覧ください。

# インストール手順

こ

の章では、プリントサーバGW-PS01のインストール手順について説明します。

## 1 ハードウェアのインストール

### 1-1. 必要な環境

本装置を使用するために最低限必要なハードウェア環境は次の通りです。

プリンタ

パラレルポート(IEEE1284準拠のI/F)を装備しているもの

ネットワーク

IEEE802.11b規格に従って構築されたネットワーク

## 1-2. 本体各部の名称と機能

### 本体上面

2

イン  
スト  
レ  
ー  
シ  
ョ  
ン

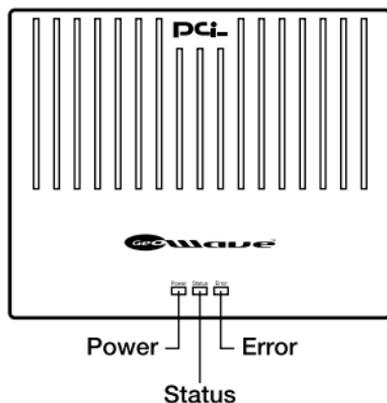


図2-1 GW-PS01上面図

### 本体裏面

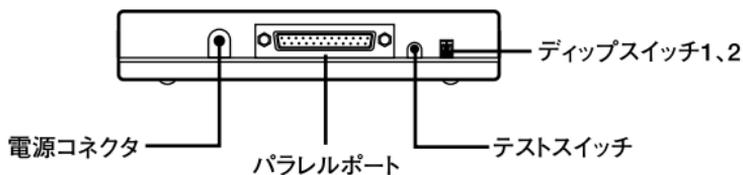


図2-1 GW-PS01裏面図

本体の状況に応じて下表のように点灯、点滅します。

状態	緑色LED	黄色LED	赤色LED
電源ON	点灯	点灯→消灯	点灯→消灯
通常	点灯	パケット受信で点滅 (自ノード宛のみ)	点灯
ステータス印刷中	点滅	点滅	消灯
設定初期化中	点滅	点滅	点滅
エラー	消灯	消灯	点灯
バージョンアップ中	点滅(ゆっくり)	点滅(ゆっくり)	点滅(ゆっくり)
パラレルネゴシエーション失敗	3秒に1回消灯	3秒に1回消灯	消灯

### ▲ 注意

パラレルネゴシエーション失敗の場合は、印刷が行えません。Pararel Suport ModeがECP/Nibbleに固定されている場合は、ご使用のプリンタが、ECP/Nibbleをサポートしているかどうか及びGW-PS01のモードと一致しているかご確認ください。

バージョンアップモード時に、パケットを受信した場合はSTATUS(黄)のLEDが点滅して上記の表と異なる動作に見えることがあるかもしれませんが、GW-PS01の仕様でするので問題はありません。

無線のモードがInfrastructureモードの時に、アクセスポイントと接続されていない状態の場合は、無線カードのLEDが点滅します。

### 設定の印刷

GW-PS01には本体横面にテストスイッチがあります。このスイッチを押すことにより、GW-PS01に接続されたプリンタに、GW-PS01本体に設定された内容を印刷することができます。

GW-PS01の電源が入っていて、GW-PS01に接続されたプリンタが印刷可能(オンライン)な状態でテストスイッチを押してください。

印刷された内容が、お客様の設定した内容になっているか確認してください。

**⚠ 注意**

印刷データはテキスト(ASCII)データですので、一部のプリンタでは、正常に印刷されない場合があります。

**設定の初期化**

テストスイッチを押しながらGW-PS01の電源を入れ、そのまま15秒以上テストスイッチを押し続けると、GW-PS01本体内部の設定は工場出荷時のデフォルト設定に戻ります。トラブルの原因が不明で、初めから設定をやり直したい場合にご利用ください。

**📖 参考**

デフォルト設定  
工場出荷時の状態は、第6章の表6-2をご覧ください。

**IEEE802.11アドホックモードへの変更**

本製品は背面のディップスイッチ1をON(上側)にすることでIEEE802.11bアドホックモードに対応することが可能です。実際の使用環境がIEEE802.11bアドホックの場合、または特にAirMAC1.3以降でご使用になられる場合は必ず本製品の電源を切った状態で先の細いドライバなどを使用しディップスイッチ1をONに設定してください。

## 1-3. 本体の設置

GW-PS01は、プリンタの平行ポートに接続ください。

### ⚠ 注意

設置の際には次の点にご注意ください。

- ・高温や低温、多湿の場所でのご使用、保管は避けてください。
- ・埃の多い場所や、振動が加わる場所でのご使用は避けてください。
- ・本体の上に物を置かないでください。
- ・不安定な場所でのご使用は避けてください。
- ・水、あるいは溶剤等がかからないようにしてください。
- ・強い電磁障害のある環境でのご使用は避けてください。

## 1-4. 接続と電源投入

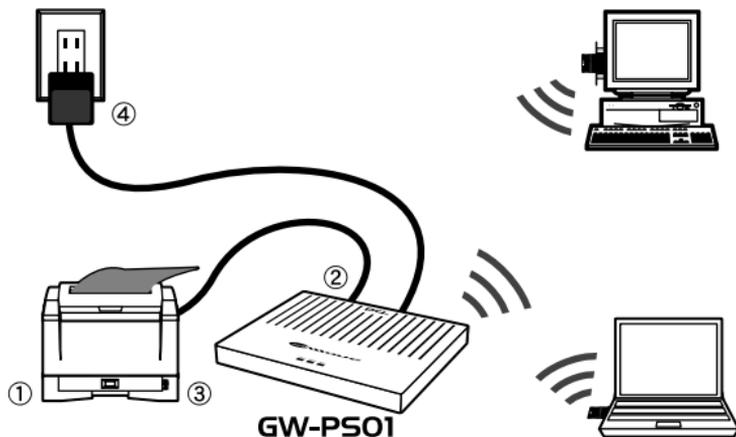


図2-3 接続図

1. 接続するプリンタの電源をOFFにします。
2. GW-PS01をプリンタに接続します。
3. プリンタの電源をONにします。

4. GW-PS01にACアダプタを接続後、商用電源（AC100V）へ接続します。

**2** **注意**

必ず付属のACアダプタをご使用ください。

5. 本体のLED表示を確認します。  
（「2.1.2. 本体各部の名称と機能」参照）

**注意**

AUTO、ECP、NIBBLE MODEを使用する場合は、必ずプリンタの電源ONの後にGW-PS01の電源をONしてください。

また、ECP・NIBBLE MODE固定の場合はプリンタがサポートしていない場合又は設定が一致していない場合はネゴシエーションエラーとなり印刷できません。

## 2 セットアップ

### 2-1.環境別設定方法

ハードウェアのインストールが完了したらGW-PS01の設定を行います。GW-PS01は各種のネットワークプロトコルに対応しています。それぞれの環境で利用するための方法は次の通りです。

Network  
（システム/クライアント） 関連する章

TCP/IP  
（Windows95/98/Me/NT/2000） 第3章 TCP/IP

EtherTalk  
( Macintosh ) 第4章 EtherTalk

LANManager  
( Windows 95/98/Me ) 第5章 LANManager  
( WindowsNT ) 第5章 LANManager  
( Windows2000 ) 第5章 LANManager

### 注意

GW-PS01を初めてご使用いただく場合(工場出荷時設定に戻した場合には、設定を行うPCの無線カードの設定を下記内容に設定変更を行う必要があります。

動作モード = *ad-Hoc* (アドホック)

チャンネル = 3

WEP = なし

2.2.2. 設定ユーティリティ

## 2-2. 設定ユーティリティ

GW-PS01を設定するために使用するユーティリティは、GW-PS01付属のCD-ROMに含まれています。本マニュアル内には、ユーティリティ毎にプログラムが含まれているフォルダ名を記載していますので、必要に応じて参照願います。

### 1. Windows用設定ユーティリティ( 付属CD-ROM収納 )

SetupWizard ( TCP/IP対応 )

IP\_SET ( TCP/IP対応 )

PrintAdmin ( TCP/IP、NetWare対応 )

### 2. Macintosh用設定ユーティリティ( 付属CD-ROM収納 )

GW-PS01 Setup Utility ( EtherTalk対応 )

### 3. その他

- 1) ブラウザ(インターネットエクスプローラ、ネットスケープ)
- 2) “ arp ” & “ ping ”
- 3) TELNET

GW-PS01の設定ユーティリティの使用法の詳細については、「第6章 設定ユーティリティの使用法」でまとめて説明しています。

## TCP/IP

**1** の章では、プリントサーバGW-PS01のTCP/IP環境での設定手順について説明します。

**注意**

*EtherTalk/LANManager*の機能を使用しない場合は、必ず「1.2. *EtherTalk/LANManager*で使用しない場合の注意」をご一読の上、引き続き本章の設定を行ってください。

**1 IPアドレスの設定**

プリントサーバGW-PS01にIPアドレスを設定するには次のような方法があります。

1. SetupWizardを使用する。
2. IPアドレス設定ユーティリティ(WIP\_SET)を使用する。
3. arp、pingコマンドを使用する。
4. RARPを使用する。
5. DHCPを使用する。
6. BOOTPを使用する。
7. PrintAdminを使用する。
8. GW-PS01 Setup Utility (Macintosh用)を使用する。

各設定ツールで設定可能な項目( ○は可能、×は不可能)  
設定項目

設定ツール	○	×	×
固定IP	○	×	「3.1.3」
アドレス	○	○	PrintAdmin
SubnetMask	○	「3.1.2」	○
GateWay	○	「6.3」	○
Address	○	“arp” & “ping”	○
RARP	「7.3」	○	○
BOOTP	WIP_SET	×	○
DHCP	○	×	○
参照項目	○	×	PrintAdmin
SetupWizard	○	×	ユーザーズ マニュアル

### 注意

ARP + PINGがDisableの場合は、“arp” & “ping”によるIPアドレスの設定はできません。

## 1-1. SetupWizardでの設定

SetupWizardはGW-PS01に付属の簡単セットアップウィザードです。

GW-PS01を初めて設定する場合に設置されているネットワーク状況を自動認識し、設定に必要な入力項目をウィザード形式で設定が行えます。

詳細につきましては、「6.3. SetupWizard」をご覧ください。

## 1-2. Windows用ユーティリティIP\_SETでの設定

Windows 95/98/Me/NT/2000のいずれからでも可能ですが、ネットワークドライバとしてTCP/IPプロトコルが組み込まれており、IPアドレスが設定してある必要があります。Windowsへの「TCP/IPの組み込み」、「IPアドレスの設定」については、「3.2.Windows95/98/Me/NTでの使用方法」、「3.4.Windows2000での使用方法」をご参考ください。IP\_SETは、GW-PS01付属のCD-ROM内のフォルダ「Ip\_set」内に収録されています。

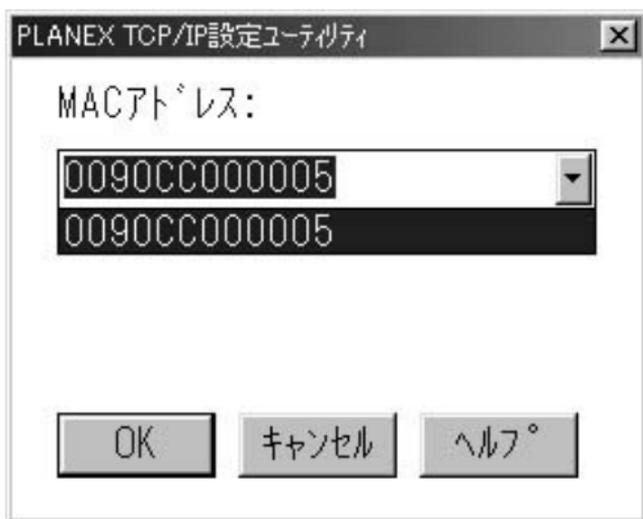
### 注意

IP\_SET.EXEはルータやゲートウェイを介してGW-PS01の設定を行うことはできません。必ずGW-PS01と同一セグメント内のPCで使用してください。IP\_SET.EXEはP-611 Airの無線の設定を変更することはできません。無線の設定を変更する場合には、IPアドレスを設定後、TELNET/ブラウザなどで無線の設定を変更してください。

1. GW-PS01をネットワークに接続し、プリンタの電源を入れます。
2. IP\_SET.EXEを起動し、GW-PS01の本体裏面に貼り付けられているラベルのMACアドレス「0090CCxxxxxx」をリストから選択または入力します。

**注意**

ネットワーク上にGW-PS01以外のプリントサーバが存在する場合には、リストにGW-PS01以外のMACアドレスが表示されることがあります。この場合には、GW-PS01本体裏面に貼付されているMACアドレスを必ずご確認してから設定を行ってください。



3. 設定したいIGW-PS01を選択して「OK」をクリックすると現在の設定を表示します。

PLANEX TCP/IP設定ユーティリティ

MACアドレス : 0090CC000005

IPアドレスを自動的に取得(DHCP)

IPアドレス : 192.168.1.254

サブネットマスク : 255.255.255.255

ゲートウェイアドレス : 255.255.255.255

LAN Managerを使用する

プロトコル

NetBEUI     TCP/IP

ホスト名 : PS000005

ドメイン名 :

タイムサーバ名 :

WINSを使用する

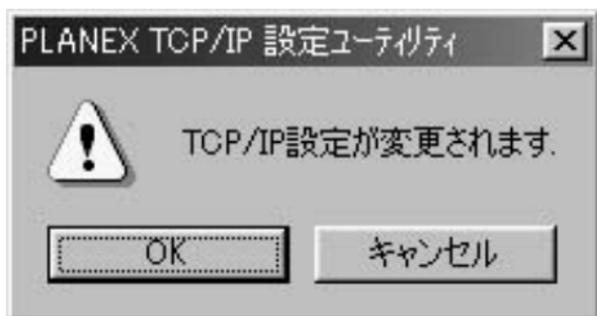
WINSサーバのIPアドレス

: 255.255.255.255

設定    終了    ヘルプ

IPアドレスを設定します。

- 工場出荷時はDHCPを使用しない設定になっています。DHCPをご使用の場合は、「8.1.DHCPでの使用方法」をご確認ください。
- 工場出荷時はLANManagerを使用する設定になっていますが、LANManagerを使用しない場合はチェックボックスのチェックを外します。
- 工場出荷時はWINSを使用しない設定（プロトコルはNetBEUIがdefaultのため）になっていますが、WINSを使用する場合はプロトコルでTCP/IPを選択してから、WINSのチェックボックスにチェックを入れてください。
- IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを入力します。入力する値についてはネットワーク管理者にご相談ください。
- WINSを使用する場合は、WINSサーバのIPアドレスを入力します（DHCPにチェックしてない場合、またはDHCPにチェックしてあるがWINSサーバのIPアドレスが取得できなかった場合）。
- 「設定」をクリックし、確認メッセージで「OK」をクリックします。



10. GW-PS01に設定を送信し変更内容が書き込まれます。しばらくすると設定終了の確認メッセージが表示されます。



11. 設定した内容を有効にするために、GW-PS01の電源を入れ直します。

#### 参考

IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスのみの変更に関しては、GW-PS01の電源を入れ直す必要はありません。設定直後に有効になります。

## 1-3. arp、pingコマンドでの設定

### UNIXの場合

UNIXを使用したarp、pingコマンドによるGW-PS01のIPアドレス設定方法は次の通りです。

#### 注意

ルータやゲートウェイを介してGW-PS01に設定を行うことはできません。必ずGW-PS01と同一セグメント内のUNIXにて設定を行ってください。

1. GW-PS01をネットワークに接続し、電源を入れます。

2. クライアントのhostsファイルに、GW-PS01に設定したいIPアドレスを登録します。一部のOSでは次に使用するarpコマンドに直接IPアドレスを記述できますので、その場合には登録不要です。

登録方法は各OSによって異なりますのでOSのマニュアルをご覧ください。

3. rootユーザでログインし、arpコマンドを次のように実行します。

```
# arp -s p_svr 00:c0:6f:00:12:34 temp
```

— 部はhostsファイルに登録したGW-PS01のホスト名。

(一部のUNIXでは直接IPアドレスを記述できます。)

— 部はGW-PS01のMACアドレスで各2文字ごとを":"(コロン)で区切ります。

(MACアドレスとは本体底面のラベルに記述してある12桁の英数字です。)

 **注意**

AIXの場合は -s の後に ether または 802.3 の指定が必要な場合があります。

4. 続いて次の様に入力します。

[例:soralisの場合]

```
# ping p_svr ..... (pingを実行することでIPアドレス  
が設定されます)
```

```
p_svr is alive ..... (左の様な表示が出れば設定終了)
```

 **注意**

UNIXによっては表示が異なります。

 **参考**

設定したIPアドレスはGW-PS01本体内に保存されますので次回からの設定は不要です。再設定も同じ方法で行えます。

 **注意**

GW-PS01の設定で、ARP + PINGがDisableに設定されている場合は、IPアドレスがこの方法では設定できませんのでご注意ください（工場出荷時設定はEnable）。

## Windows 95の場合

Windows95を使用したarp、pingコマンドによるGW-PS01のIPアドレス設定方法は次の通りです。

 **注意**

ルータやゲートウェイを介してGW-PS01に設定を行うことはできません。必ずGW-PS01と同一セグメント内のWindows95にて設定を行ってください。

1. GW-PS01をネットワークに接続し、電源を入れます。  
同一セグメント上に稼働していて、TCP/IP通信が正常に行えるネットワークに対してpingを実行して、arpテーブルを作成します。

 **注意**

Windows95の場合は、必ずarpテーブルを作成する必要があります。

## 2. arpコマンドを次のように実行します。

```
C: ¥ > arp -s 192.168.100.100 00-c0-6f-00-12-34
```

— 部はGW-PS01に設定したいIPアドレス

— 部はGW-PS01のMACアドレスで各2文字ごとを"-"(ハイフン)で区切ります。

(MACアドレスとは本体底面のラベルに記述してある12桁の英数字です。)

## 3. 続いて次の様に入力します。

```
C: ¥ > ping 192.168.100.100
```

(pingを実行することでIPアドレスが設定されます)

```
Reply from 192.168.100.100 : bytes = 32 times = 2ms TTL = 255
```

(この様な表示が出れば設定終了です。)

### 参考

設定したIPアドレスはGW-PS01本体内に保存されますので次回からの設定は不要です。再設定も同じ方法で行えます。

### 注意

GW-PS01の設定で、ARP + PINGがDisableに設定されている場合は、IPアドレスがこの方法では設定できませんのでご注意ください(工場出荷時設定はEnable)

## Windows 98/Me/NT4.0/2000の場合

Windows98/Me/NT4.0/2000を使用したarp、pingコマンドによるGW-PS01のIPアドレス設定方法は次の通りです。

### 注意

ルータやゲートウェイを介してGW-PS01に設定を行うことはできません。必ずGW-PS01と同一セグメント内のWindows98/Me/NT4.0/2000にて設定を行ってください。

1. GW-PS01をネットワークに接続し、電源を入れます。
2. arpコマンドを次のように実行します。

```
C: ¥ > arp -s 192.168.100.100 00-c0-6f-00-12-34
```

— 部はGW-PS01に設定したいIPアドレス

— 部はGW-PS01のMACアドレスで各2文字ごとを"-"(ハイフン)で区切ります。

(MACアドレスとは本体底面のラベルに記述してある12桁の英数字です)

3. 続いて次の様に入力します。

```
C: ¥ > ping 192.168.100.100
```

(pingを実行することでIPアドレスが設定されます)

```
Reply from 192.168.100.100 : bytes = 32 times = 2ms TTL = 255
```

(この様な表示が出れば設定終了です。)

### 参考

設定したIPアドレスはGW-PS01本体内に保存されますので次回からの設定は不要です。再設定も同じ方法で行えます。

### 注意

GW-PS01の設定で、ARP + PINGがDisableに設定されている場合は、IPアドレスがこの方法では設定できませんのでご注意ください(工場出荷時設定はEnable)。

## 1-4. 動作IPアドレスの決定手順

GW-PS01は、起動時に以下の手順で動作IPアドレスを決定します。

1. RARPによるIPアドレスの取得
2. BOOTPによるIPアドレスの取得
3. DHCPによるIPアドレスの取得
4. 内部設定パラメータからのIPアドレスの取得

RARP、BOOTP、DHCPがすべてEnableに設定されている場合は、1～3の取得手順においてサーバから最後に受信したIPアドレスが有効になります。Disableに設定されているものはスキップされます。RARP、BOOTP、DHCPがすべてDisableの場合は、4の内部設定パラメータのIPアドレスで起動します。

### 注意

RARP、BOOTPがEnableの場合は、それぞれのリクエストを1回送信します。サーバからのリプライが無い場合は、次のステップへ進みます。また、DHCPがEnableの場合でDHCPサーバから応答が無い場合は、取得できるまでGW-PS01はリクエストを定期的に繰り返します。よって、DHCPがEnableでDHCPサーバがダウンしているなどの場合はGW-PS01とTCP/IPによる通信が行えませんので、ご注意ください。誤ってEnableに設定した場合は、WIP\_SETにてDisableに変更してください。

## 1-5. RARPでの設定

IPアドレスの管理方法にRARPと呼ばれる手法があります。このプロトコルを使用することでGW-PS01の起動時に自動的にIPアドレスが設定されます。このプロトコルを使用する準備としてRARPサーバが必要です。

また、GW-PS01の本体設定として、RARPによるIPアドレス取得が"Enable"に設定されている必要があります。設定の確認や変更は、SetupWizard、ブラウザ、TELNETなどで行うことが可能です。

1. RARPのホストマシン内の/etc/hostsと/etc/ethersファイルにGW-PS01を登録します。
2. GW-PS01を立ち上げる前にホスト側でrarpdをルートユーザで起動します。

[例]      # in.rarpd -a

3. GW-PS01をネットワークに接続し電源を入れます。GW-PS01は起動時にRARPリクエストを1回だけ送信します。RARPサーバからの返事を受信できれば自動的にGW-PS01内部にIPアドレスを設定して起動します。返事を受信できなかった場合は、BOOTP、DHCPの順で検索します。BOOTP、DHCPが共にDisableの場合は内部設定パラメータに記憶されたIPアドレスを読み込み設定します。DHCP、BOOTPが有効な場合は、RARPをEnableに設定していても無効になります。

### 注意

*ethers*、RARP、*rarpd*についての詳細はワークステーションのマニュアルをご覧ください。

## 1-6. DHCPでの設定

IPアドレスの管理方法にDHCPと呼ばれる手法があります。このプロトコルを使用することでGW-PS01の起動時に自動的にGW-PS01にIPアドレスが設定されます。

詳細については「7.1. DHCPでの使用方法」をご覧ください。

## 1-7. BOOTPでの設定

IPアドレスの管理方法にBOOTPと呼ばれる手法があります。このプロトコルを使用することでGW-PS01の起動時に自動的にIPアドレスが設定されます。このプロトコルを使用する準備としてbootpサーバが必要です。

また、GW-PS01の本体設定として、BOOTPによるIPアドレス取得が"Enable"に設定されている必要があります。設定の確認や変更は、SetupWizard、ブラウザ、TELNETなどで行うことが可能です。

1. BOOTPのホストマシン内の/etc/bootptabファイルにGW-PS01を登録します。

### 注意

UNIXによっては登録するファイルが異なる場合があります。

2. GW-PS01を立ち上げる前にホスト側でbootpdをルートユーザで起動します。

3. GW-PS01をネットワークに接続し電源を入れます。GW-PS01は起動時にBOOTPをリクエストします。返事があれば自動的にGW-PS01内部にIPアドレスを設定して起動します。返事を受信できなかった場合は、DHCPで検索します。DHCPがDisableの場合は内部設定パラメータに記憶されたIPアドレスを読み込み設定します。DHCPが有効な場合は、BOOTPをEnableに設定していても無効になります。

**▲ 注意**

*bootptab*、*bootpd*についての詳細はワークステーションのマニュアルをご覧ください。

## 1-8. PrintAdminでの設定

PrintAdminは、ネットワーク管理ユーティリティです。  
GW-PS01の各設定を参照することが可能です。

## 1-9. GW-PS01 Setup Utility (Macintosh用)での設定

Macintoshを使用している環境にて、プリントサーバGW-PS01にIPアドレスを設定するには、EtherTalk用Macintoshユーティリティを利用する方法があります。詳細については「第6章 設定ユーティリティの使用方法」をご覧ください。

## 2 Windows 95/98/Me/NTでの使用方法

プリントサーバGW-PS01では、Windows95/98/Meと付属のLPRint98の組み合わせで、またはWindowsNT4.0(SERVER/WORKSTATION)標準のLPRを使用して印刷できます。

### 2-1. 概要

GW-PS01をWindows 95/98/Me、Windows NTで使用するには次の設定が必要です。

#### 1. GW-PS01の設定

GW-PS01本体にIPアドレスが設定されていれば他の設定は特に必要ありません。

#### 2. Windows 95/98/Me、Windows NTの設定

Windows 95/98/Me、Windows NT標準のTCP/IPプロトコルを組み込む必要があります。

Windows 95/98/Meの設定およびLPRint98については 3.2.7. をご覧ください。

### 2-2. GW-PS01本体の設定

GW-PS01本体にIPアドレスを設定します。設定の方法は「3.1. IPアドレスの設定」をご覧ください。

## 2-3. WindowsNT4.0の設定

LPRを利用しGW-PS01で印刷を行うために必要なWindowsNT4.0の設定について説明します。

### 注意

WindowsNT4.0にて使用する場合、ServicePack3をインストールすることが最低必要です。推奨する環境としては、ServicePack5以上をインストールすることをお勧めします。

3

TCP/IP

### LPRの組み込み

1. 「コントロールパネル」画面で「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。



### 注意

既に組み込まれている場合は「2.プリンタの作成」へお進みください。

3. 「ネットワーク」画面が表示されたら「サービス」をクリックし、ネットワークサービスウィンドウリストに「Microsoft TCP/IP印刷」が組み込まれているか確認してください。
4. 組み込まれていない場合は「追加(A)...」をクリックし、「Microsoft TCP/IP印刷」を選択して「OK」をクリックします。
5. 「ネットワーク」の画面に戻りましたら、ネットワークサービスウィンドウのリストに「Microsoft TCP/IP印刷」が表示されている事を確認し、「OK」ボタンをクリックします。

「ネットワーク設定の変更」画面が表示されたら「再起動」ボタンをクリックします。

## プリンタの作成

1. コントロールパネルを開き、「プリンタ」をダブルクリックします。「プリンタの追加」をダブルクリックし「プリンタの追加ウィザード」を立ち上げます。  
「このコンピュータ(M)」を選択して、「次へ」をクリックします。
2. 「ポートの追加(T)」をクリックし「プリンタポート」画面を表示します。
3. 「利用可能なプリンタポート(A):」のリストで「LPR Port」を選択して、「新しいポート(P)...」をクリックします。

4. 「LPR互換プリンタの追加」の画面で「lpdを提供しているサーバの名前またはアドレス(N):」の欄には、GW-PS01に設定したIPアドレスを入力します。  
「サーバのプリンタ名またはプリントキュー(R):」の欄にはGW-PS01の出力先“lpt1”を入力して「OK」をクリックしてください。入力は大文字、小文字を区別しません。  
1つ前の画面に戻りますので、「閉じる」をクリックしてください。
5. ここで、「利用可能なポート(A):」のリストに作成したプリンタポートが追加表示されチェックされているのを確認して「次へ」をクリックします。
6. 下図の画面で「製造元(M):」からメーカを、「プリンタ(P):」から接続されているプリンタを選択して、「次へ」をクリックします。  
使用するプリンタが見つからない場合は、プリンタ付属のドライバをご使用ください。  
なお、プリンタドライバのインストール方法はプリンタのマニュアルをご覧ください。



7. プリント名を入力する画面では、判別しやすい名前を入力し「次へ」をクリックしてください(WindowsNT4.0上でのプリント名になります)。
8. 次の画面では「共有しない(O)」を選択して、「次へ」をクリックします。
9. 続いて、テストページを印刷で「はい」を選択して、「完了」をクリックしてください。

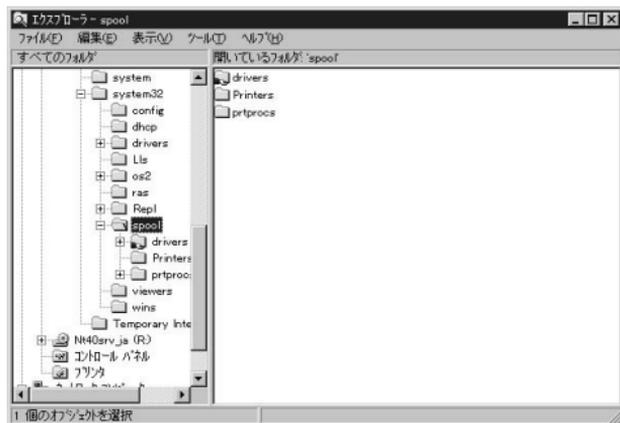
## 2-4. ファイルシステムがNTFSの場合のご注意

WindowsNTからLPR印刷を行った際に「書き込みエラー」とエラーが表示される場合について説明します。

この場合、ユーザに与えられたスプールディレクトリのアクセス権が適切でないことがありますので、以下のことを確認してください。

「エクスプローラ」を起動し、¥WINNT¥system32¥spoolというディレクトリを選択し、右クリックで「プロパティ」を選択します。

次に、「セキュリティ」を選択し、「アクセス権」をクリックします。



「ディレクトリのアクセス権」に印刷を行うユーザに与えられたグループが存在していることを確認します。  
また、そのグループに与えられたアクセス権の種類が、「フルコントロール」または「追加と読み取り」、「変更」になっていることを確認してください。



印刷を行うユーザのグループがない場合  
「追加」を選択してグループを追加してください。

アクセス権が、「フルコントロール」「追加と読みとり」「変更」以外の場合  
そのグループを選択して「アクセス権の種類」で上記のアクセス権を与えてください。

アクセス権の種類が「特殊なディレクトリのアクセス権」になっている場合

「読み取り」、「書き込み」、「実行」のアクセス権を与えられていることを確認してください。この3つのアクセス権が与えられていない場合は、不足している権利を与えてください。

同様に「spool」下の「Printers」というディレクトリアクセス権もご確認ください。

## 2-5. WindowsNTのプリンタをネットワークで共有する場合

Windows NTで作成したプリンタを共有することで、WindowsパソコンからWindows NTを経由した印刷が可能になります。共有プリンタの設定は次の手順で行います。

1. 共有設定するプリンタを右クリックし「共有」を選択する。
2. 「共有」タブを選択された画面で「共有する」にチェックを入れます。
3. 「共有名」の覧にシステムが作成した共有名を表示します。この共有名は自由に変更できますが、ネットワークで共有するためユニークな名前が必要です。
4. プリンタ共有に関するユーザーの使用権などについての詳細は Windows NT のマニュアルをご覧ください。
5. Windowsディレクトリの下の、[ System32 ]下の「Spool」と、「Spool」の下「printer」について、印刷を行うユーザのグループに対して、「追加と読み取り」のアクセス権を与えてください。

## 注意

LANManager等のワークステーションからWindowsNTを經由して印刷する場合、WindowsNTで設定するプリンタドライバは使用されません。印刷するワークステーション側のプリンタドライバが使用されます。

## 2-6. Windows 95/98/Meから直接印刷を行う場合

LPRint98は Microsoft Windows 95/98/Meで弊社プリントサーバとピア・ツー・ピア印刷を行うためのユーティリティです。LPRint98はGW-PS01付属CD-ROM内のLPRint98フォルダの中に収録されています。

また詳しいLPRint98の設定は6.6 LPRint98をご覧ください。Windows 95/98/Meから直接印刷を行う場合は以下の手順にしたがって設定してください。

### 設定手順

以下の手順はGW-PS01にIPアドレスが設定されていることを前提とします。以下の 1.~4.で設定が終了している項目があれば、次の項目に進んでください。

1. Windows 95/98/MeにTCP/IP環境を設定する。
2. GW-PS01に付属のソフトウェア「LPRint98」をWindows 95/98/Meにインストールし設定する。
3. Windows 95/98/Meでプリンタを作成する。
4. テストプリントを印刷する。

## Windows 95/98/MeのTCP/IP環境設定

既にWindows95/98/MeにIPアドレスが設定されている場合は、「2.LPRint98のインストール」に進んでください。

1. 「コントロールパネル」の「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。「ネットワーク」画面が表示されたら、「現在のネットワーク構成」に以下の項目が組み込まれていることを確認してください。

- ・TCP/IP(プロトコル)
- ・LANアダプタ(アダプタ)



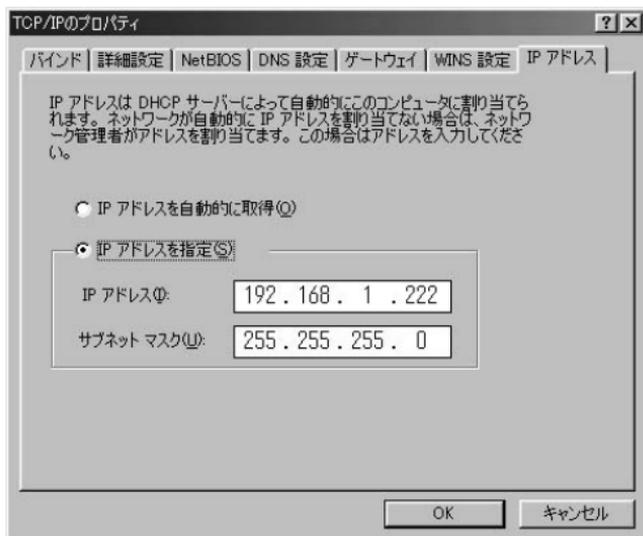
### 注意

TCP/IPが表示されていない場合  
「追加」をクリックし、「プロトコル」 「追加」をクリック、「Microsoft」  
「TCP/IP」 「OK」をクリックして組み込みます。再起動を要求されますが、  
「いいえ」を選択して下記のIPアドレスの設定を同時に行います。

2. 「現在のネットワーク構成」のTCP/IPをダブルクリックして「TCP/IPのプロパティ」を表示します。「IPアドレスを指定」にチェックを入れてIPアドレス/サブネットマスクの欄にご使用になっているネットワークの環境に合ったIPアドレス/サブネットマスクを正確に入力して「OK」をクリックしてください。設定が終了後、Windows95/98/Meを再起動してください。

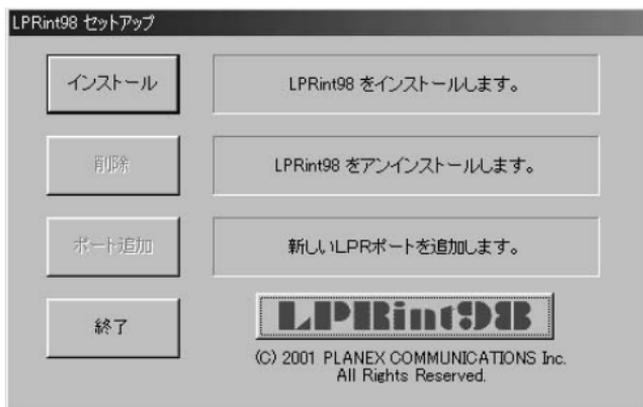
(なおIPアドレス/サブネットマスクの値については、ネットワーク管理者にご相談ください。)

[例] IPアドレス : 192.168.1.222  
サブネットマスク : 255.255.255.0



## LPRint98のインストール

1. 付属のCD-ROM内のフォルダ「LPRint98」「PROGRAM.DSK」内の「Setup.exe」を実行すると「LPRint98セットアップ」画面が表示されますので、「インストール」をクリックします。

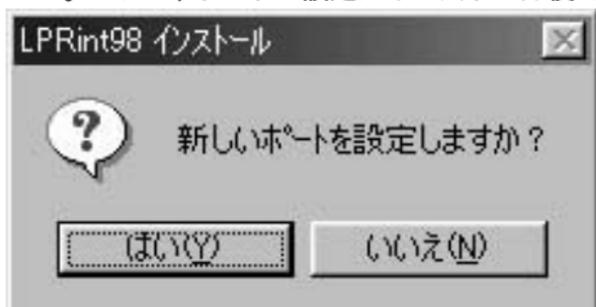


2. ここで、「LPRint98インストール」画面が表示されますので「はい」をクリックします。  
必要なファイルがコピーされLPRint98のインストールが終了しますので「OK」をクリックします。



## ポートの設定

以下の画面が表示されますので「はい」をクリックしてください。ただし、ポートの設定はインストール後でも可能です。



詳しくは7.7 LPRint98を参照

1. 「LPRint98ポートの設定」画面が表示されますので次の3点を参照の上、入力してください。

[例] ポート名: GW-PS01  
IPアドレス/ホスト名: 192.168.1.254



2. 「ポート名」には既に存在するポート名及び、以下の半角文字は使用できません。

(半角 “ ”(スペース) “ / ” “ ¥ ” “ & ” “ : ” “ = ”)

3. 「IPアドレス/ホスト名」にはGW-PS01に割り当てたIPアドレスを入力してください。
4. 「出力先」にはlpt1を指定してください。

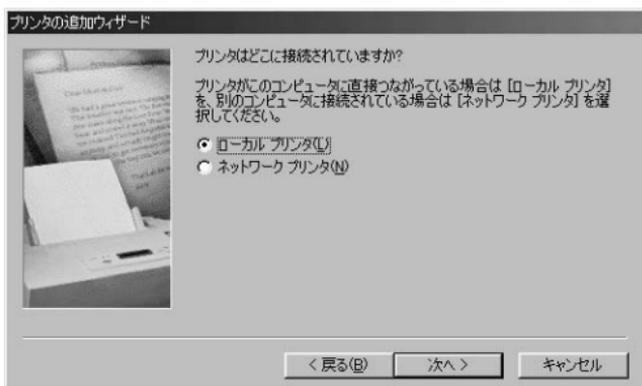
これでLPRint98の設定は終了ですが、設定を有効にするために「OK」をクリックし、PCを再起動してください。



## プリンタの作成

Windows Meでのプリンタの作成に関しては、Windows Meのマニュアルをご参考ください。

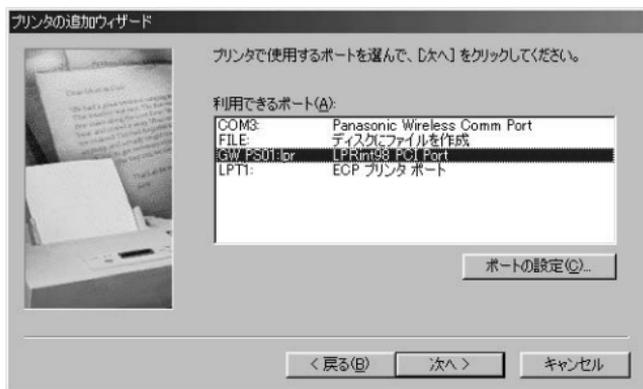
1. Windows95/98の「スタート」「設定」「プリンタ」をクリックし、「プリンタの追加」をダブルクリックして、プリンタウィザードを起動します。



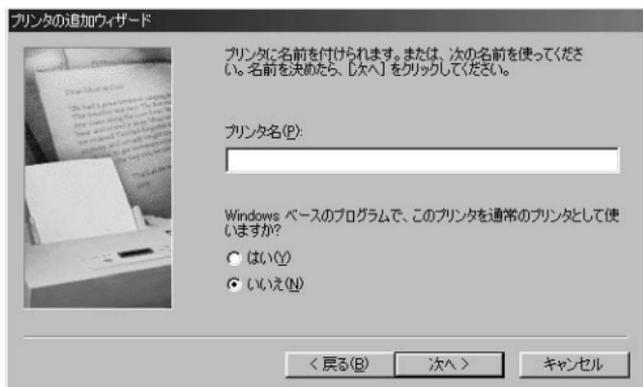
2. 「ローカルプリンタ」を選択し、「次へ」をクリックします。
3. 次にプリンタドライバを組み込みます。  
Windows 95/98に付属のドライバを使用する場合は、「メーカー」と「プリンタ」をご使用になるものとあわせ、「次へ」をクリックします。プリンタに付属のドライバを使用する場合は、プリンタのマニュアルをご覧の上お使いになるプリンタドライバを組み込んでください。
4. 次に「利用できるポート」からLPRint98で登録したポート名を選択します。

[例](GW-PS01:lpr)

「3.2.6.3. ポートの設定」でポート名をGW-PS01と設定した場合はこのようなポート名として表示されます。



## 5. ポートを選択して、「次へ」をクリックします。



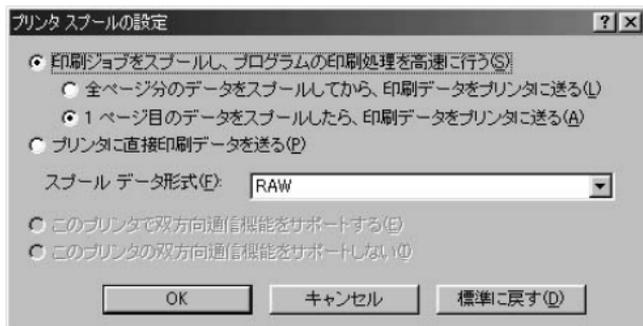
## 6. プリンタ名はユニークなものを設定し、「次へ」をクリックします。



## 7. “印字テストを行いますか？”には「いいえ」にチェックして「完了」をクリックしてください。

## プリンタの設定確認とテストプリントの印刷

1. 「スタート」「設定」「プリンタ」から、作成したプリンタがあることを確認し、そのアイコンを右クリックして「プロパティ」を選択します。
2. 「詳細」タブを選択し、「スプールの設定」をクリックしてください。



3. 「このプリンタで双方向通信機能をサポートしない」をチェックしてください。

### ▲ 注意

プリンタによっては双方向通信機能のところグレーアウト（設定不可）になっている場合はそのままかまいません。

「プリンタに直接印刷データを送る」にはチェックしないでください。

4. 設定を確認して、「OK」をクリックします。するとプリンタの「プロパティ」の画面に戻りますので「適用」をクリックします。「情報」タブを選択し「印刷テスト」ボタンをクリックします。

5. プリンタドライバのプロパティを開き「印字テスト」ボタンを押します。すると「LPRint98拡張印刷モニタ」が自動的に立ち上がります。



### ⚠ 注意

デフォルト設定では、100%に達すると自動的に画面は消えます。  
ECP/Nibbleモードで印刷している場合は、ライン情報/紙切れ情報は正しく表示されません。また、プリンタによっては、オフライン情報/紙切れ情報を取得するのに必要なパラレル信号を取得するのに必要なパラレル信号を出力しないものがあります。

6. テストプリントを確認してください。印刷されていない時はもう一度“1.Windows 95/98/MeのTCP/IP環境設定”から確認してください。

## 3 Windows 2000での使用方法

プリントサーバGW-PS01では、Windows 2000( Professional /Server )標準のStandard TCP/IP( LPR )もしくはLPR PORTを使用して印刷できます。また、GW-PS01はIPP Ver1.0に対応していますので、Windows 2000の標準IPPクライアントを使用してInternet経由での印刷が可能です。

### 3-1. Windows 2000のLocal Printer Portについて

Windows2000 Server及びProfessionalにおいては、ローカルプリンタポートとして3種類のポートが用意されています。

「Local Port」

Windows 2000のPararell PortにPrinterを接続するためのポート

「Standard TCP/IP Port」

Windows2000で新しく用意されたポート( LPR/RAWを選択できます。)

「LPR Port」

WindowsNTがサポートしているLPR PORTと同等なポート

#### 注意

RAW ( Port9100 ) 機能は、片方向通信 ( 送信のみ ) となります。

## 3-2. 設定概要

GW-PS01をWindows2000で使用するには次の設定が必要です。

### 1. GW-PS01本体の設定

GW-PS01本体にIPアドレスの設定と無線の設定する必要があります。

### 2. Windows 2000の設定

Standard TCP/IP( LPR )及びIPP印刷を行う場合は、Windows 2000標準のTCP/IPプロトコルを組み込む必要があります。LPR Portを使用する場合は、別途設定が必要です。

## 3-3. GW-PS01本体の設定

GW-PS01本体にIPアドレスを設定します。設定の方法は「3.1. IPアドレスの設定」をご覧ください。

## 3-4. Windows 2000の設定

### インターネットプロトコル(TCP/IP)の組み込み

1. Windows 2000にAdministrator(または同等権限のユーザ)でログインします。

2. 「スタート」「ネットワークとダイヤルアップ接続」「ローカルエリア接続」を実行します。



3. 「プロパティ」をクリックし、「インストール」をクリックしてください。「ネットワークコンポーネントの種類を選択」画面が表示されますので、「プロトコル」を選択して、「追加」をクリックしてください。「ネットワークプロトコルの選択」画面が表示されますので一覧から「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択して「OK」をクリックすると必要なファイルがコピーされ、「インターネットプロトコル(TCP/IP)」が組み込まれます。



4. 「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し、「プロパティ」をクリックして、使用する環境に適したIPアドレス等の設定を行ってください。
5. GW-PS01とTCP/IPを使用して通信ができることを確認してください。

**⚠ 注意**

既に「インターネットプロトコル(TCP/IP)」が組み込まれている場合は必要ありません。

## プリンタの作成 ( Standard TCP/IP ( LPR ・ ポート 9100 ) の場合 )

Standard TCP/IP ( LPR ) を利用し GW-PS01 で印刷を行うために必要な設定について説明します。

まず、プリンタの作成前に、Windows2000 が Ethernet に接続されており、TCP/IP を使用して GW-PS01 と通信ができることを前提とします。GW-PS01 には、適切な IP アドレス ( 必要に応じて、SubnetMask、DefaultGatewayAddress ) が設定されているものとします。

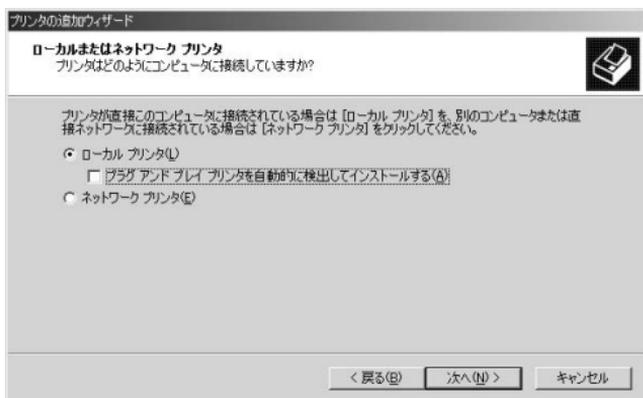
### [ 例 ]

使用 OS ..... Windows2000 Professional  
使用 Printer ..... CANON LBP-720  
使用 Printserver ..... GW-PS01 ( Defalut 設定 IP アドレス = 1920.168.1.254 )

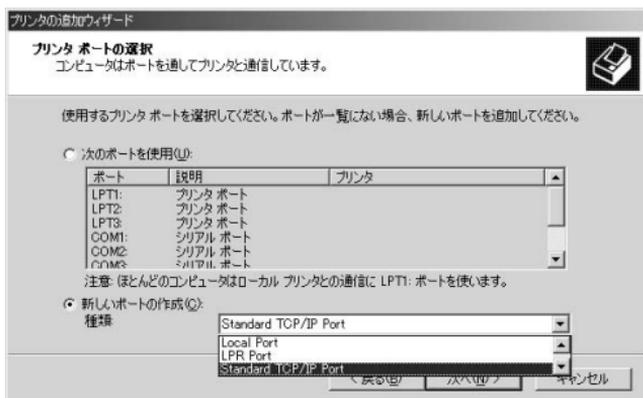
1. スタートメニューより、「設定」「プリンタ」を選択します。「プリンタの追加」をダブルクリックします。



## 2. 「プリンタの追加ウィザード」が表示されますので、「次へ」をクリックしてください。



## 3. 「ローカルプリンタ」を選択し、「次へ」をクリックします。「プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする」にはチェックを入れないでください。



4. 新しいポートの作成で「Standard TCP/IP Port」を選択し、「次へ」をクリックします。



5. 「標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザード」が表示されますので、「次へ」をクリックしてください。



6. GW-PS01に設定したIPアドレスを入力し、「次へ」をクリックしてください。ポート名は、ユニークなものに限ります。デフォルトでは、「IP\_入力したIPアドレス」が入ります。



7. ポートの追加でIPアドレスを入力すると、そのIPアドレスにアクセスし、プリンタの情報を取得する機能が用意されていますが、GW-PS01はこの機能をサポートしていませんので「カスタム」を選択し、「設定」をクリックしてください。

「標準TCP/IPポートモニタの構成」のデフォルト値が表示されますので、設定を変更してください。

< 標準TCP/IPポートモニタの構成のデフォルト画面 >



## Standard TCP/IP(LPR)の場合

標準 TCP/IP ポート モニタの構成

ポートの設定

ポート名(P): IP\_192.168.1.254

プリンタ名または IP アドレス(A): 192.168.1.254

プロトコル

Raw(R)  LPR(L)

Raw 設定

ポート番号(N): 9100

LPR 設定

キュー名(Q): lpt1

LPR バイト カウントを有効にする(B)

SNMP ステータスを有効にする(S)

コミュニティ名(C): public

SNMP デバイス  
インデックス(I): 1

OK キャンセル

「プロトコル:RAW LPR、キュー名」  
lpt1に変更してください。「LPRバイトカウントを有効にする」にチェックをしてください。

### 注意

“SNMPステータスを有効にする”機能には対応していませんので、チェックしないでください。

「OK」をクリックすると、「標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザードの完了」画面が表示されます。

## Standard TCP/IP(ポート9100)の場合



標準TCP/IPポートモニタの構成のデフォルト画面から、「OK」をクリックすると、「標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザードの完了」画面が表示されます。

### 注意

“SNMPステータスを有効にする”機能には対応していませんので、チェックしないでください。RAW (Port9100) 機能は、片方向通信 (送信) のみ対応しています。

8. 設定を行った内容が表示されますので間違いがないか確認して、「完了」をクリックしてください。



9. 「プリンタの追加ウィザード」が表示されますので、GW-PS01に接続しているプリンタのドライバを選択し「次へ」をクリックします。



10. 任意のプリンタ名を設定し、通常使用するプリンタに設定する場合は「はい」を選択して「次へ」をクリックします。
11. プリンタの共有設定を行う画面が表示されますので、必要に応じて設定して「次へ」をクリックしてください。
12. テストページの印刷画面が表示されますので、テストページ印刷を行う場合は「はい」にチェックをして、「次へ」をクリックしてください。
13. 正常にプリンタが作成された場合は、次のような画面が表示されますので「完了」をクリックしてください。これでプリンタの作成は終了です。



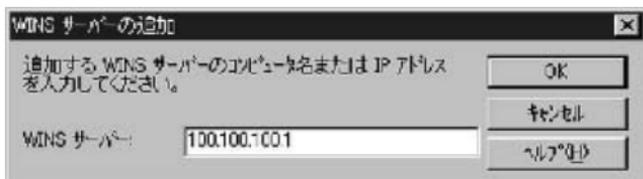
## プリンタの共有について

作成したプリンタを共有したい場合の使用法を説明します。

1. 共有するプリンタを選択し、「右クリック」、「共有」を選択します。
2. 共有のプロパティを選択し、共有するにチェックを入れ、共有名を入力し、「OK」をクリックしてください。これで、プリンタの共有は完了です。



3. 次に、共有化したプリンタに他のPCからアクセスできるように、ユーザを作成します。コントロールパネルの中のユーザとパスワードを開きます。

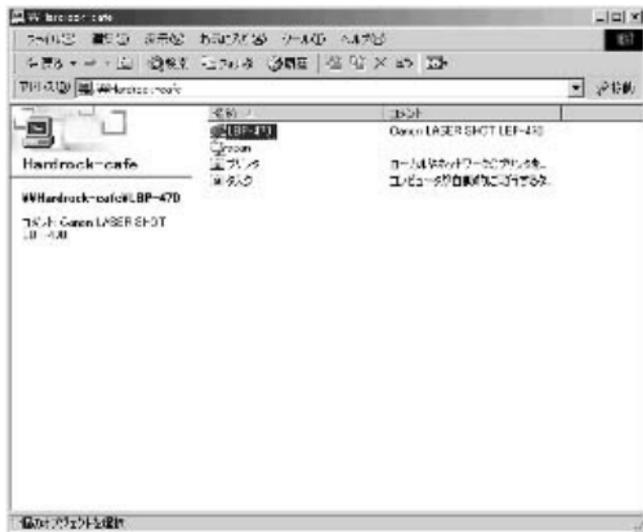


4. 「追加」をクリックして任意のユーザ名の入力、パスワードの設定、権限の設定(例は標準ユーザ)を行ってください。



「GW-PS01」という名前のユーザが追加されました。他のPCから共有したプリンタへアクセスする場合にはここで作成したユーザ名にてアクセスすることになります。

5. 共有化したプリンタを持つPCにアクセスすると、他の共有フォルダとともに、プリンタが表示されます。



6. 共有プリンタを使用するには、プリンタを右クリックし、開くを選択すると、共有プリンタにアクセスし次のような画面が表示されますので、「はい」をクリックしてください。



7. プリントを検索し正常に認識されるとプリンタが追加されます。名前は、「共有名-PC名」となります。これで、他のローカルプリンタと同様に使用することが可能となります。



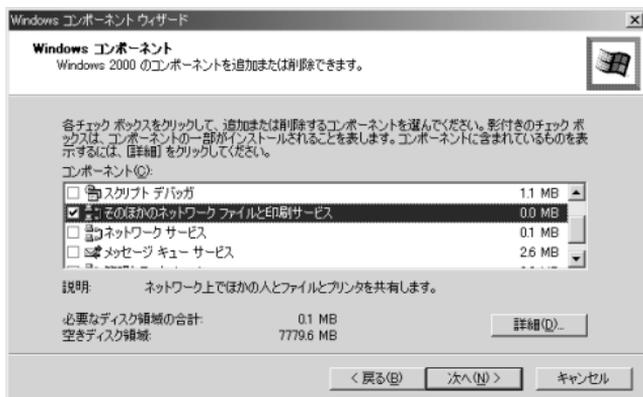
## LPR PORTを有効にする方法について

Windows NTでサポートしているLPR PORTの機能を使用する必要がある場合(UNIX用印刷サービスを使用する必要がある場合)にのみ参照ください。

### 注意

LPR PORTは、Windows NTでサポートしていたLPRモニタのため複数ジョブ印刷(11以上の印刷ジョブがプリントマネージャ上に存在している場合)時に、11個の印刷ジョブを処理する毎に、Windows 2000 (NT) から一定時間印刷要求を行わない問題が発生しますので、通常は、Standard TCP/IP (LPR) を使用してください。

1. Windows 2000上で、「スタート」「設定」「コントロールパネル」を実行し、「アプリケーションの追加と削除」を起動します。
2. 「Windowsコンポーネントの追加と削除」を選択し、表示された画面で「コンポーネント」をクリックします。
3. 「Windowsコンポーネントウィザード」が表示されますので、「その他のネットワークファイルと印刷サービス」をチェックします。



4. 「詳細」をクリックし、「UNIX用印刷サービス」にチェックを入れて「OK」をクリックします。正常に終了すると、「Windowsコンポーネントウィザードの完了」が表示されます。これで、「LPR PORT」を有効にする設定は完了です。



### ⚠ 注意

「UNIX用印刷サービス」は、「スタート」「設定」「ネットワークとダイヤルアップ接続」の中、「ローカルエリア接続」の設定で、「インターネットプロトコル (TCP/IP)」が組み込まれていないと表示されません。

## IPP (Internet Printing Protocol) を使用して印刷する

### IPPとは

Internet Printing Protocol(IPP)とは、HTTPを使用して印刷データを送信することにより、インターネット経由でのリモートプリントを実現する機能です。GW-PS01は、標準でIPP Ver1.0(RFC2565-2569の一部)の機能を実装していますので、Windows2000の標準クライアントを使用することでインターネットを経由した印刷が可能となります。

### 注意

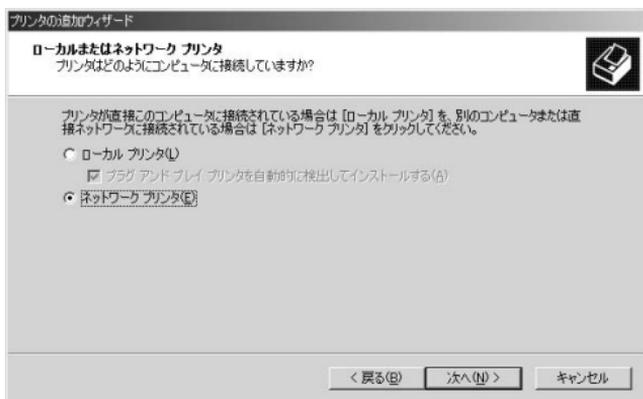
FireWallの設定によっては、Inetrnetを経由した先のGW-PS01に接続できないことがあります。

### IPP印刷設定手順

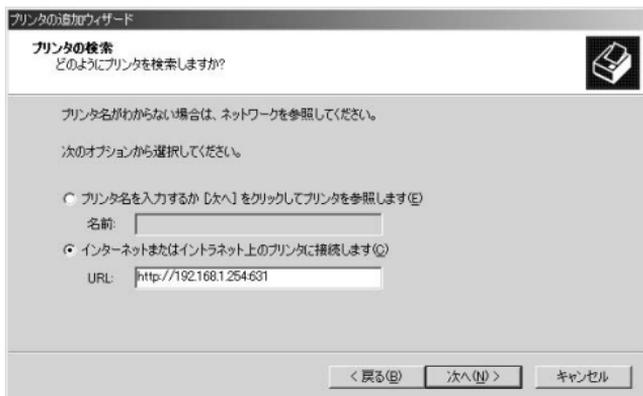
1. スタートメニューより、「設定」「プリンタ」を選択します。「プリンタの追加」をダブルクリックします。
2. 「プリンタの追加ウィザード」が表示されますので、「次へ」をクリックしてください。



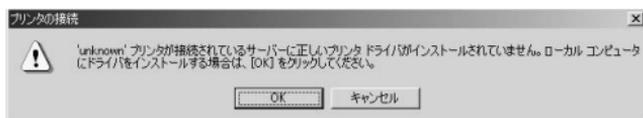
### 3. 「次へ」をクリックし、「ネットワークプリンタ」にチェックを入れて、「次へ」をクリックします。



### 4. 「インターネットまたはイントラネット上のプリンタに接続します」にチェックを入れて、URLを指定します。URLの指定方法は、「http://\*\*\*.\*\*\*.\*\*\*.\*\*\*(GW-PS01に設定したIPアドレス):631」です。この例では、GW-PS01のデフォルトIP(192.168.1.254)を指定しています。設定したら、「次へ」をクリックします。



5. GW-PS01と正常に通信が行えた場合には、プリンタドライバのインストールする必要がある旨のメッセージが表示されますので、「OK」をクリックします。

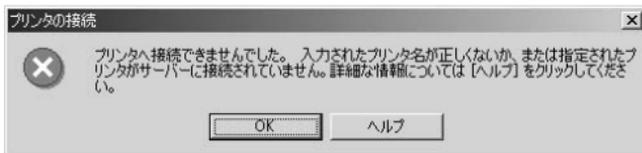


**注意**

GW-PS01に接続されているプリンタとCompatibleモードで接続されている場合はプリンタの情報が取得できないため、プリンタ名が「 ' unknown ' 」と表示されます。ECP/Nibbleモードで接続されている場合は、下記のようにプリンタ名が表示されます。接続されているモードにつきましては、TELNET、ブラウザ、TEST SW印刷などにて確認することができます。TELNET、ブラウザの詳細につきましては、「第6章 設定ユーティリティの使用方法」を参照ください。

**注意**

GW-PS01と正しく通信が行えない場合は、次のような画面が表示されますので、4で指定した内容が正しいかどうか及びInternetを経由した先にGW-PS01が設置されている場合は、FireWallが正しく設定されているかを確認ください。



しばらくするとプリンタの追加ウィザードが表示されますので、GW-PS01に接続されているプリンタのドライバを指定してください。



6. プリンタドライバのインストールが終了すると、通常使うプリンタにするかどうかのメッセージが表示されますので、指定して「次へ」をクリックします。



7. 設定が終了すると、現在設定した内容が表示されますので、「完了」をクリックしてください。これで、プリンタの作成は終了ですのでテスト印刷を実行して正常に印刷されることを確認ください。



# EtherTalk

**こ**の章では、プリントサーバGW-PS01のEtherTalk環境での設定手順について説明します。

## 注意

EtherTalkの機能を使用しない場合は、必ず「1.2. EtherTalk/LANManagerで使用しない場合の注意」をご一読の上、引き続き本体の設定を行ってください。

## 1 概要

GW-PS01をEtherTalkで使用するには、GW-PS01本体の設定とクライアントのMacintoshの設定を行います。

### 1-1. GW-PS01 本体の設定

GW-PS01をEtherTalkで使用する場合、次の5項目の設定が必要です。

#### タイプ

使用するプリンタに適合したタイプ名。

PSプリンタ以外のプリンタの場合は、設定を変更する必要があります。

## ゾーン

GW-PS01の属するゾーン。

工場出荷状態では、デフォルトゾーンに設定されています。別のゾーンに属させるためには、設定を変更する必要があります。

## オブジェクト

セレクトタに表示されるプリンタ名。

## PSバイナリ

TypeがPS Printerに設定されているときPS Binaryの設定内容の有効/無効が設定できます。

## プリンタ

使用するプリンタの機種名。

PostScriptプリンタまたはEPSON製カラーインクジェットプリンタ及びEPSON製レーザープリンタを使用する場合には、プリンタの機種を設定しなければならない場合があります。

以上の項目を設定するには、付属のGW-PS01 Setup Utility (Macintosh用)もしくは、SetupWizard、TELNET、ブラウザで設定します。詳細は、「第6章 設定ユーティリティの使用方法」をご覧ください。

ただし、PSプリンタの場合はプリンタの情報取得を行う必要がある場合があるので、「6.4. GW-PS01 Setup Utility (Macintosh用)」をご使用ください。

## タイプの設定

GW-PS01 Setup Utility (Macintosh用)の設定画面には、GW-PS01に設定されているエンティティタイプが表示されますので、使用するプリンタに合わせた設定を行います。AppleTalk対応プリンタドライバに関する詳細は「4.1.2 Macintoshの設定」をご覧ください。

PostScriptプリンタを使用する場合  
“タイプ”リストから“PSプリンタ”を選択します。

 **注意**

“PSバイナリ”が無効 (disable) の場合は、PostScriptプリンタへのデータ出力はASCIIデータのみに限られます。

ESC/Pプリンタを使用する場合  
EPSON製のVPシリーズのAppleTalk対応プリンタドライバをインターネットなどからダウンロードして使用してください。

EPSON製ESC/Pageプリンタを使用する場合  
LP-8200以前はAT-T1ESC/Page、AT-T2ESC/Page、AT-T3ESC/Page、という3種類のプリンタドライバに対応しています。これらを使用する場合は“タイプ”リストからプリンタドライバと同じ名前を選択します。  
LP-8200以降はAT-EP3Pageに対応しています。

 **注意**

AT-Mjcolorに設定した場合、EPSON製マッハジェットプリンタ以外ではプリンタのジョブランプが点滅し、GW-PS01の電源をOFFすると印刷を実行しなくても紙が排出されます。これは、AT-MJColorで印刷するためのコマンドが印刷されるためです。動作異常ではありませんので、GW-PS01の設定を確認して正しい設定を行ってください。

EPSON製カラーインクジェットプリンタを使用する場合  
GW-PS01はAT-MJColor、EPSON MJ/PM(AT)という2種類のプリンタドライバに対応しています。このプリンタドライバを使用する場合は“タイプ”リストから“AT-MJColor”を選択します。

キャノン製LIPSプリンタを使用する場合  
GW-PS01はPrintCaddieというプリンタドライバに対応しています。このプリンタドライバを使用する場合は“タイプ”リストから“LaserShot AppleTalk”を選択します。

Macintoshでは使用しない場合  
“タイプ”リストから“AppleTalkを使用しない”を選択します。

それ以外のAppleTalk対応プリンタの場合  
“タイプ”リストから“ユーザ設定”を選択してタイプ名を直接入力すると使用できるものもあります。

## ゾーンの設定

ネットワーク上に複数のゾーンが存在する場合、GW-PS01が属するゾーンを変更することが可能です。GW-PS01 Setup Utilityの“ゾーン”リストから設定するゾーンを選択してください。工場出荷時の設定では、GW-PS01はデフォルトゾーンに属します。デフォルトゾーンが不明な場合はネットワーク管理者にご相談ください。

## オブジェクトの設定

セレクトアに表示されるGW-PS01の名前を変更する場合に設定します。

### 注意

オブジェクトとして使用できるのは = \* : @ 以外のASCII文字で、長さは32文字以内です。日本語（2バイトコード）も使用可能ですが、上記の禁止コードが含まれている文字は使用できません。

## 使用プリンタの設定

GW-PS01に接続するプリンタがPostScriptプリンタ、またはEPSON製カラーインクジェットプリンタ及びEPSON製レーザープリンタの場合はプリンタの機種名を設定しなければ、印刷できない場合があります。それ以外のプリンタを使用する場合はこの項目を設定する必要はありません。

### PostScriptプリンタを使用する場合

GW-PS01 Setup Utilityの“プリンタ”リストの中に使用するプリンタがある場合は選択します。リストにないプリンタ、またはハードディスクにオプションのフォントを追加しているプリンタを使用する場合は情報の取得を行う必要があります。プリンタ情報の取得については「6.4.3. 情報取得」をご覧ください。

#### 注意

PSバイナリ”が無効 (disable) の場合は、PostScriptプリンタへのデータ出力はASCIIデータのみに限られます。

EPSON製カラーインクジェットプリンタを使用する場合GW-PS01 Setup Utilityの“プリンタ”リストの中に使用するプリンタがある場合は選択します。

#### 注意

プリンタが双方向通信可能な設定になっており、GW-PS01の平行ポートの設定がAuto/ECP/NIBBLEにし、プリンタ GW-PS01の順に電源を投入した場合、プリンタ名を双方向通信にて取得してきます。その場合はプリンタ名を設定する必要はありません。

EPSON製レーザープリンタを使用する場合  
レーザープリンタの場合、ほとんどが"プリンタ"を設定する必要がありません。

プリンタが双方向通信可能な設定になっており、GW-PS01の平行ポートの設定がAuto/ECP/NIBBLEにし、プリンタ GW-PS01の順に電源を投入しても、Macintoshからの印刷ができない場合は、弊社サポートセンターに御連絡ください。

## PSバイナリの設定

TypeがPS Printerに設定されているときPS Binaryの設定内容が有効になります。Enableのときバイナリデータを印刷できます(ASCIIデータも印刷できます)。DisableのときはASCIIデータのみとなります。

### 注意

TBCP非対応のプリンタに対して、PS BinaryをEnableで印刷すると、正常に動作しません。また、GW-PS01はBCPには対応していません。

## 1-2. Macintoshの設定

### AppleTalk対応プリンタドライバを使用する際の注意点

Macintoshには、使用するプリンタに適合したAppleTalk対応プリンタドライバをインストールする必要があります。インストール方法については各プリンタドライバのマニュアルをご覧ください。ここではAppleTalk対応ドライバが付属されていないプリンタと、GW-PS01に接続する際に注意が必要なプリンタについて説明します。

### CANON製LIPSプリンタ

GW-PS01は新潟キヤノテック(株)社製プリンタドライバ(Print Caddie NetWare for Macintosh用 Ver2.1以上)に対応しています。Print Caddieに関してはプリンタ販売店にお問い合わせください。

### ESC/Pプリンタ

ESC/Pモード搭載プリンタに出力する場合は、EPSON製VPシリーズのAppleTalk対応プリンタドライバをインターネットなどから入手して使用してください。

### EPSON製ESCP/Pageプリンタ

GW-PS01が対応しているAppleTalk対応ドライバはAT-T1ESC/Page、AT-T2ESC/Page、AT-T3ESC/Page、AT-EP3Pageの4種類です。これらのドライバはエプソン販売(株)より提供されており、インターネットなどを經由してダウンロードすることが可能です。詳しくはプリンタ販売店にお問い合わせください。

### EPSON製カラーインクジェットプリンタ

GW-PS01が対応しているAppleTalk対応プリンタドライバはAT-MJColor、EPSON MJ/PM(AT)の2種類です。このドライバはプリンタに付属されています。付属されていない場合はプリンタがAppleTalk対応であるかを販売店にお問い合わせください。

## 2 印刷方法

MacintoshからGW-PS01への印刷は以下の手順で行ってください。

1. Macintoshのセレクトアを開く。
2. セレクトアウィンドウから使用するプリンタドライバを選択する。
3. ネットワーク上にゾーンが存在する場合はGW-PS01に設定されているゾーンを選択する。
4. セレクトアにGW-PS01のオブジェクトが表示されるので選択する。
5. セレクトアを閉じる。
6. アプリケーションから印刷を実行する。

### 注意

無線カードを使用しているMacintoshからの印刷の場合は、本手順の前に無線の設定がGW-PS01と一致している必要があります。セレクトアから見えない場合は、設定を確認してください。

# LANManager (TCP/IP・NetBEUI)

**2** の章では、プリントサーバGW-PS01のLANManager環境での設定手順について説明します。

GW-PS01は、95/98/NT/2000のLANManagerネットワーク環境でネットワークプリントサーバとして使用できます。LANManagerは、その下位のプロトコルとしてTCP/IP、NetBEUI、IPXなどが選択できます。GW-PS01はこのうちTCP/IPとNetBEUIに対応しています。

## 注意

Windows 95/98/Me/NT/2000ではOSパッケージに標準で付属する機能で使用できます。

## 1 概要

GW-PS01をLANManagerで使用するには、GW-PS01本体の設定とクライアントのWindowsの設定を行います。

### 1-1. GW-PS01本体の設定

GW-PS01をLANManagerで使用するには、次の設定が必要です。

ホスト名(半角英数字15文字以内)

ネットワーク上でのGW-PS01の名称を指定してください。他の機器と同じ名前を使用することはできません。必ず固有の名前を指定してください。

ドメイン名(半角英数字15文字以内)

ドメイン管理をしていない場合は指定する必要がありません。Windows 95/98/Me/NT/2000でドメイン管理をしている場合は、使用するドメイン名またはワークグループ名を指定してください。

タイムサーバ名(半角英数字15文字以内)

GW-PS01に設定したドメインのドメインコントローラを指定してください(TCP/IP使用時のみ)。タイムサーバ名を設定しなくても印刷には影響しませんが、プリントジョブ情報の時間が正しく表示されません。

Windows NT 3.5x/4.0 Serverを使用していない場合やドメインの設定をしない場合は、このタイムサーバ名は無効です。

### 注意

ホスト名、ドメイン/ワークグループ名、タイムサーバ名は、下記の半角記号は入力禁止文字なので、使用しないでください。

"(ダブルクォーテーション)、=(イコール)、!(パイプ)、¥(円マーク)、+(プラス)、;(セミコロン)、\*(アスタリスク)、:(コロン)、(大カッコ右)、[(大カッコ左)、(カンマ)、<(不等号大なり)、>(不等号小なり)、?(クエスチョンマーク)

プロトコル選択

LANManagerで使用するプロトコル(TCP/IP又はNetBEUI)を選択します。

### WINSの使用可否

WINSを使用する場合に、Enableにしてください。WINSをサポートしている環境では、WINSを有効にすることでGW-PS01が起動時にWINSデータベースにホスト名とそのIPアドレスが自動的に登録され、ネットワーク内での名前の重複をさけることを可能にします。ネットワーク上にWINSサーバが存在しない場合は、有効にする必要はありません。ルータを越えた印刷を行う場合には、ゲートウェイアドレスとサブネットマスクを正しく設定する必要があります。WINSを使用する場合に、WINSサーバのIPアドレスを設定する必要があります。

#### 注意

NetBEUIでは、WINSを使用できません。WINSを使用する場合には、下位プロトコルはTCP/IPを選択してください。

DHCPを使用してWINSサーバのIPアドレスを取得する場合は設定する必要はありません（この場合には、DHCPを有効にする必要があります）。

ただし、DHCPが有効であるにも関わらず、WINSサーバのIPアドレスを取得できない場合があります。この場合は、WINSサーバのIPアドレスを直接設定する必要があります。

### LANManagerの使用可否

LANManagerを使用する設定にします。

以上の項目を設定するには、付属のWIP\_SETあるいは、SetupWizard、TELNET、ブラウザ、GW-PS01 Setup Utility (Macintosh用)、PrintAdmin等を使用します。設定の方法は「第6章 設定ユーティリティの使用方法」をご覧ください。工場設定時には全てデフォルトの値が設定されています。GW-PS01のデフォルト名は本体の背面に記載されている8桁の英数字 (PSxxxxxx) です。例えば、デフォルト名がPS001234であった場合、LANManagerの各設定項目のデフォルト値は次のようになります。

[ 例 ]

ホスト名 ..... PS001234  
ドメイン名 ..... < NOT SET >  
タイムサーバ名 ..... < NOT SET >  
プロトコル ..... NetBEUI  
WINS ..... DISABLE  
WINS SERVER IP ADDRESS ..... 255.255.255.255  
LANManage ..... ENABLE

 **注意**

NetBEUIを使用する場合でGW-PS01本体の設定項目を変更するには、TCP/IP、EtherTalkのいずれかの環境が必要です。

## 1-2. Windows 95/98/Meでの使用方法

1. 「スタート」メニューから「設定」の中の「コントロールパネル」を開きます。

2. 「ネットワーク」を選択します。

次の2つの項目が表示されていることを確認してください。  
項目が表示されない場合は、「追加」を選択してインストールしてください。

Microsoftネットワーククライアント

TCP/IPを使用する場合はTCP/IP->LANアダプタ名

NetBEUIを使用する場合はNetBEUI->LANアダプタ名

3. 「使用するプロトコル->LANアダプタ名」を選択します。

4. TCP/IPを使用する場合は「プロパティ」を選択します。「IP アドレス」のタブを選択し、IPアドレスとサブネットマスクが正しく設定されているか確認してください。

#### 注意

サブネットマスクはGW-PS01の設定と同じであることを確認してください。「IPアドレスを自動的に取得」をチェックしている場合はDHCPサーバが必要です。「WINSの解決をする」をチェックしている場合は、WINSサーバが必要です。

5. 次に、「バインド」を選択し、「Microsoftネットワーククライアント」がチェックされていることを確認してください。チェックされていない場合は、チェックしてください。
6. 「OK」を選択すると「ネットワーク」に画面が戻ります。さらに[OK]を選択すると、設定を変更していない場合は「コントロールパネル」に画面が戻りますので次に進んでください。設定を変更した場合は、Windows 95/98/Meを再起動するかどうかの選択画面が現れますので再起動してください。
7. 「スタート」メニューから「設定」の中の「プリンタ」を開きます。
8. 「プリンタの追加」を選択するとプリンタウィザードが起動します。
9. 「次へ」を選択し「ネットワークプリンタ」をチェックします。

## 10. 「次へ」を選択し、ネットワークパスを入力します。

ネットワークパスは「¥ ¥ホスト名 ¥プリンタ名」の形式になります。GW-PS01とWindows95/98/Meマシンに同じドメインまたはワークグループを設定してある場合は、「参照」をクリックするとネットワーク上のGW-PS01を参照できるので、表示されるリストから選択できます。

WINSを使用すると、ルータを越えたネットワーク上のGW-PS01を参照することができます。その際には、WINSサーバのIPアドレスを設定する必要があります。

また、DHCPを使用してWINSサーバのIPアドレスを取得する場合には、WINSサーバのIPアドレスを設定する必要はありません。

参照できない場合は直接入力してください。プリンタ名として指定できるのは、「PS-LPT1」です。

[ 例ホスト名「PS001234」の場合 ]

¥ ¥PS001234 ¥PS-LPT1

### 注意

ネットワーク上にWINSサーバが存在し、WINSをサポートしている必要があります。ルータを越えた印刷を行う場合には、サブネットマスクとゲートウェイアドレスを正しく設定する必要があります。WINSを使用する場合には、下位プロトコルはTCP/IPを選択してください。

NetBEUIを使用する場合、工場出荷時では、GW-PS01を参照することはできません。

ネットワークパスを直接入力した場合、プリンタ作成後にプリンタがオフライン作業になっていますのでクリアしてください。(プリンタアイコンを右クリックして確認できます。)

**11.** 「次へ」を選択します。

このとき、指定したGW-PS01の電源が入っていなかったり、プリンタが印刷可能でなかったりすると警告が表示されます。プリンタの作成には支障ありませんので、GW-PS01のホスト名とプリンタ名が正しいかどうかを確認して「次へ」を選択してください。プリンタ製造元とプリンタを選択します。

**12.** 「次へ」を選択し、次画面に進み、プリンタ名を入力します。ここで入力するプリンタ名は自由に設定できますので、ユニークな名前を入力してください。**13.** 「次へ」を選択し、次画面に進むと、テスト印刷の画面になります。**▲ 注意**

GW-PS01にプリンタを接続していないと、テスト印刷ができないため「次へ」の部分が「完了」と表示されますのでクリックしてください。

**14.** ここでテスト印刷する時は「はい」をチェックします。プリンタ作成後でもテスト印刷できますので、テスト印刷をしない時は「いいえ」をチェックします。**15.** 「完了」を選択すると、プリンタが作成されます。

以上で、Windows 95/98/Meの設定は完了です。アプリケーションから印刷すると、ネットワーク上のGW-PS01に接続されたプリンタから印刷できます。

## 1-3. Windows NT4.0での使用方法

1. 「スタート」メニューから「設定」の中の「コントロールパネル」を開きます。
2. ネットワークを選択します。  
以下の項目が組み込まれていることを確認してください。  
組み込まれていないものがあれば組み込んでください。
  - a. 「アダプタ」タブを選択し、LANアダプタが組み込まれていることを確認します。
  - b. 「プロトコル」タブを選択し、TCP/IPを使用する場合は「TCP/IPプロトコル」、NetBEUIを使用する場合は「NetBEUIプロトコル」が組み込まれていることを確認します。
  - c. 「サービス」タブを選択し、「コンピュータブラウザ」、「サーバ」、「ワークステーション」が組み込まれていることを確認します。
3. TCP/IPを使用する場合は「プロトコル」タブの中のTCP/IPプロトコルを選択し、「プロパティ」を選択します。「IPアドレス」のタブを選択し、IPアドレスとサブネットマスクが正しく設定されているか確認します。

### 注意

サブネットマスクはGW-PS01の設定と同じにしてください。「IPアドレスを自動的に取得」をチェックしている場合はDHCPサーバが必要です。

「WINSの解決をする」をチェックしている場合は、WINSサーバが必要です。

4. 次に、ネットワーク画面の「バインド」タブを選択し、「サーバ」、「ワークステーション」のサービスが有効となっていることを確認します。

5. すべての設定確認が終了したら「OK」をクリックします。設定変更がある場合はWindows NT4.0を再起動するかどうかの選択画面が現れますので再起動してください。
6. 「スタート」メニューから「設定」の中の「プリンタ」を選択します。  
そこで、「プリンタの追加」をダブルクリックしプリンタウィザードを起動します。
7. 「次へ」を選択し、「ネットワークプリンタサーバ」をチェックします。
8. 「次へ」を選択し、ネットワークパスを入力します。  
ネットワークパスは「¥ ¥ホスト名 ¥プリンタ名」の形式になります。GW-PS01とWindows NTマシンに同じドメインまたはワークグループを設定してある場合は、「参照」をクリックするとネットワーク上のGW-PS01を参照できるので、表示されるリストから選択できます。  
WINSを使用すると、ルータを越えたネットワーク上のGW-PS01を参照することができます。その際には、WINSサーバのIPアドレスを設定する必要があります。また、DHCPを使用してWINSサーバのIPアドレスを取得する場合には、WINSサーバのIPアドレスを設定する必要はありません。  
参照できない場合は直接入力してください。プリンタ名として指定できるのは、「PS-LPT1」です。

[ 例ホスト名「PS001234」の場合 ]

¥ ¥PS001234 ¥PS-LPT1

**⚠ 注意**

ネットワーク上にWINSサーバが存在し、WINSをサポートしている必要があります。ルータを越えた印刷を行う場合には、サブネットマスクとゲートウェイアドレスを正しく設定する必要があります。WINSを使用する場合には、下位プロトコルはTCP/IPを選択してください。

クライアントとGW-PS01のドメイン名もしくはワークグループ名が異なると参照することはできません。

ネットワークパスを直接入力した場合、プリンタ作成後にプリンタがオフライン作業になっていますのでクリアしてください。(プリンタアイコンを右クリックして確認できます。)

**9. 「次へ」を選択し、次の画面に進みます。**

このとき、指定したGW-PS01の電源が入っていなかったり、プリンタが印刷可能でなかったりすると警告が表示されます。プリンタの作成には支障ありませんので、GW-PS01のホスト名とプリンタ名が正しいかどうかを確認して「次へ」を選択してください。プリンタ製造元とプリンタを選択します。接続されているプリンタが見つからない場合は、プリンタに付属のドライバをご使用ください。

**⚠ 注意**

プリンタドライバのインストール方法はプリンタのマニュアルをご覧ください。

**10. プリンタ名を入力する画面では、判別しやすい名前を入力します。**

(Windows NT4.0上でのプリンタ名になります。)

**11. 続いて、テスト印刷の画面でテスト印刷をする時は「はい」をチェックします。プリンタ作成後でもテスト印刷できますので、テスト印刷をしない時は「いいえ」をチェックします。**

## 12. 「完了」を選択すると、プリンタが作成されます。

以上で、Windows NT4.0の設定は完了です。アプリケーションから印刷すると、ネットワーク上のGW-PS01に接続されたプリンタから印刷できます。

## 1-4. Windows 2000での使用方法

1. 「スタート」メニューから「設定」の中の「コントロールパネル」を開きます。
2. 「ネットワークとダイアルアップ接続」を開き、「ローカルエリア接続」の「プロパティ」を開きます。  
以下の項目が組み込まれていることを確認してください。  
組み込まれていないものがあれば組み込んでください。
  - a. TCP/IPを使用する場合は「インターネット プロトコル (TCP/IP)」、NetBEUIを使用する場合は「NetBEUIプロトコル」が組み込まれていることを確認します。
  - b. 「Microsoftネットワーク用ファイルとプリンタ共有」が組み込まれていることを確認します。
3. TCP/IPを使用する場合は「インターネット プロトコル (TCP/IP)」の「プロパティ」を開き、IPアドレスとサブネットマスクが正しく設定されているか確認します。

### 注意

サブネットマスクはGW-PS01の設定と同じにしてください。

「IPアドレスを自動的に取得」をチェックしている場合はDHCPサーバが必要です。「詳細設定」の「WINS」タブで、WINSサーバのIPを追加している場合には、WINSサーバが必要です。

4. すべての設定確認が終了したら「OK」をクリックします。設定変更がある場合はWindows NT4.0を再起動するかどうかの選択画面が現れますので再起動してください。

5. 「スタート」メニューから「設定」の中の「プリンタ」を選択します。  
そこで、「プリンタの追加」をダブルクリックしプリンタウィザードを起動します。
6. 「次へ」を選択し、「ネットワークプリンタサーバ」をチェックします。
7. 「次へ」を選択し、ネットワークパスを入力します。  
ネットワークパスは「¥ ¥ホスト名 ¥プリンタ名」の形式になります。  
WINSを使用すると、ルータを越えたネットワーク上のGW-PS01を参照することができます。その際には、WINSサーバのIPアドレスを設定する必要があります。  
また、DHCPを使用してWINSサーバのIPアドレスを取得する場合には、WINSサーバのIPアドレスを設定する必要はありません。参照できない場合は直接入力してください。プリンタ名として指定できるのは、「PS-LPT1」です。

[ 例ホスト名「PS001234」の場合 ]  
¥ ¥ PS001234 ¥ PS-LPT1

### 注意

ネットワーク上にWINSサーバが存在し、WINSをサポートしている必要があります。ルータを越えた印刷を行う場合には、サブネットマスクとゲートウェイアドレスを正しく設定する必要があります。WINSを使用する場合には、下位プロトコルはTCP/IPを選択してください。

ネットワークパスを直接入力した場合、プリンタ作成後にプリンタがオフライン作業になっていますのでクリアしてください。(プリンタアイコンを右クリックして確認できます。)

**9.**「次へ」を選択し、次の画面に進みます。

このとき、指定したGW-PS01の電源が入っていなかったり、プリンタが印刷可能でなかったりすると警告が表示されます。プリンタの作成には支障ありませんので、GW-PS01のホスト名とプリンタ名が正しいかどうかを確認して「次へ」を選択してください。プリンタ製造元とプリンタを選択します。接続されているプリンタが見つからない場合は、プリンタに付属のドライバをご使用ください。

**▲ 注意**

プリンタドライバのインストール方法はプリンタのマニュアルをご覧ください。

**10.** プリンタ名を入力する画面では、判別しやすい名前を入力します。

(Windows 2000上でのプリンタ名になります。)

**11.** 続いて、テスト印刷の画面でテスト印刷をする時は「はい」をチェックします。プリンタ作成後でもテスト印刷できますので、テスト印刷をしない時は「いいえ」をチェックします。

**12.** 「完了」を選択すると、プリンタが作成されます。

以上で、Windows 2000の設定は完了です。アプリケーションから印刷すると、ネットワーク上のGW-PS01に接続されたプリンタから印刷できます。

## 1-5. OS/2での使用方法

1. デスクトップ上、もしくはOS/2システムの中のテンプレートフォルダを開きます。
2. 「プリンタ」テンプレートをマウスの右ボタンを使用してデスクトップ上にドラッグ&ドロップします。
3. 「プリンタの作成」の「名前」に作成したいプリンタの名前を入力します。
4. 「プリンター・ドライバ」を選択し、使用するプリンタドライバを選択します。
5. 「出力」を選択し、リダイレクトするポート“LPT1”を選択します。
6. 「作成」をクリックします。
7. OS/2コマンドプロンプトから以下のように入力してください。  
[ 例 ホスト名「PS001234」にOS/2のLPT1をリダイレクトする場合 ]  
NET USE LPT1: ¥ ¥PS001234 ¥ PS-LPT1
8. 作成したプリンタを開き、「設定」を選択してください。
9. 「待ち行列オプション」の設定で、「プリンタ固有の形式」をチェックしてください。これにより、印刷データの転送速度が早くなります。

以上で、OS/2 の設定は完了です。アプリケーションから印刷すると、ネットワーク上のGW-PS01に接続されたプリンタから印刷できます。

### 注意

OS2でご使用になられる場合  
OS2でご使用になる場合は、最大で6台のクライアントまで同時使用できます。

## 2 LANManagerで使用する場合の注意点

1. TCP/IPでLANManagerを使用する場合、サブネットマスクを正しく設定していないと、GW-PS01に接続できなかったり、GW-PS01のサポートしているプリンタが見えなかったりする場合があります。

### 対策

GW-PS01とクライアントPCのサブネットマスクを同じ数値に設定してください。

2. WindowsのプリントマネージャでGW-PS01に接続したプリンタのステータスを確認できます。ただし、他のクライアントがこのGW-PS01にLANManagerで印刷していたり、状態を取得している時は、ステータスを確認できません。またステータスを確認している時は、このGW-PS01にLANManagerで印刷ができません。またLANManagerの仕様により同時印刷を行うと、エラーになり、印刷できません。

### 参考

他のクライアントのアクセスが終了するまでお待ちください。

3. GW-PS01のホスト名を変更した時に、GW-PS01を再起動した後も変更前のホスト名が参照できることがあります。

 **参考**

ブラウザマスタに古い情報が残った状態です。特に障害はありません。しばらくすると、情報が更新されて古い情報は消えます。

4. プリンタがオフライン・紙切れ・紙詰まりなどの場合、Windows 95/98/Me/NT/2000にエラーが表示される場合があります。この場合、ジョブがキャンセルされることがあります。

 **参考**

プリンタトラブルを解消後、再度印刷を実行してください。

5. GW-PS01の電源投入時やりセット時、他のクライアントの印刷中などに、Windows 95/98/Meのプリントマネージャに状態不明と表示される場合があります。

 **参考**

GW-PS01とプリンタがレディ状態であることを確認し、Windows 95/98/Meのプリントマネージャで状態更新をしてください。

6. 印刷中や状態取得中など、GW-PS01との通信中にクライアントPCがダウンした場合、GW-PS01から印刷できなくなることがあります。

 **参考**

GW-PS01の電源を入れ直してください。

## 7. WINSを使用する場合に、ルータを越えた先のGW-PS01に接続できない場合があります。

### 注意

GW-PS01とクライアントPCのゲートウェイアドレスを同じ数値に設定してください。クライアントPCを「WINSの解決をする」にチェックを入れてWINSサーバのIPアドレスを設定してください。

GW-PS01にWINSサーバのIPアドレスが正しく設定されているかどうかを確認ください。WINSサーバが正しく動作しているかどうかを確認ください。



# 設定ユーティリティの使用方法

**本**の章では、プリントサーバGW-PS01の動作環境を設定するためのユーティリティの使用方法について説明します。

## 1 概要

GW-PS01を設定するために使用するユーティリティは、GW-PS01付属のCD-ROM内に含まれています。なお、本マニュアル内には、ユーティリティ毎にプログラムが含まれているフォルダ名を記載していますので、必要に応じて参照願います。

GW-PS01の動作環境の設定は以下のユーティリティで行えます。

1. SetupWizard (GW-PS01付属のセットアップウィザード)
2. ブラウザ (Netscapeなど)
3. TELNET (UNIX標準コマンド)

### 注意

ブラウザやTELNETでご使用になる場合は、予めGW-PS01にIPアドレスを設定しておく必要があります。

## 参考

Windows 95/98/Me/NT/2000、OS/2でもDOSプロンプトからTELNETが使用できます。

### 4. Macintosh用設定ユーティリティ

### 5. WIP\_SET (GW-PS01に付属のIPアドレス設定ユーティリティ)

これらの設定ユーティリティを使用することによって次の設定が行えます。

#### TCP/IPの設定

IPアドレス、サブネットマスク、デフォルト・ゲートウェイ、RARP、BOOTP、DHCP、ARP+PING、SNMPの設定が行えます。TCP/IP環境での設定については「第3章 TCP/IP」をご覧ください。

#### EtherTalkの設定

プリンタ名、タイプ名、ゾーン名、オブジェクト名等の設定が行えます。

EtherTalk環境での設定については、「第4章 EtherTalk」をご覧ください。

#### LANManagerの設定

ホスト名、ドメイン名、タイムサーバ名、プロトコル選択 (TCP/IP、NetBEUI)、WINS、WINS SERVER IP ADDRESSの設定が行えます。LANManagerの設定については、「第5章 LANManager」をご覧ください。

## 6

## 設定ユーティリティの使用方法

Hardwareの設定  
SUPPORT PARALLEL MODE、PARARELL PORT SPEED、  
BOOT DELAY、JETADMINの設定が行えます。

無線の設定  
通信モード、SSID、チャンネル、WEP（暗号化）の設定が  
行えます。

その他  
GW-PS01本体内蔵のFLASH ROMとBOOT ROMのファームウェア・バージョン情報の表示、エラー情報表示/クリア、GW-PS01本体のハードウェアリセット、バージョンアップ等の操作が行えます。

設定ユーティリティ動作環境 表6-1

**注意**

*Windows NT3.51には対応していません。*

メニュー	サブメニュー	工場出荷時設定値	設定有効タイミング
TCP/IP	IP ADDRESS SUBNET MASK DEFAULT ROUTER	192.168.1.254 255.255.255.255 255.255.255.255	“arp” & “ping”、 WIP_SETは設定直 後有効、その他は RESET後有効
	RARP BOOTP DHCP ARP+PING SNMP	Enabled Disabled Disabled Enabled public,public,public	SNMPは設定直後 有効、その他はRESET 後有効
EtherTalk	PRINTER ZONE TYPE OBJECT ENABLE/DISABLE PS Binary	Undefined NOT SET (default zone) PS printer PS_XXXXXX.LPT1 Enable Disable	RESET後有効
LANManager	HOST NAME WORKGROUP NAME TIME SERVER NAME PROTOCOL WINS WINS SERVER IP ADDRESS ENABLE/DISABLE	PSxxxxxx NOT SET NOT SET NetBEUI Disable 255.255.255.255 Enabled	RESET後有効
PASSWORD		Default (半角大文字)	設定直後有効
Hardware	PARALLEL PORT SPEED	Fast	RESET後に有効
	BOOT DELAY	0 sec	電源再投入後
	JETADMIN	Disabled	RESET後有効
	SUPPORT PARALLEL MODE	AUTO	電源再投入後
	Connection Mode	AdHoc	RESET後有効
	Current Channel	3	
	WEP Request	Disable	
	WEP Key	FF,FF,FF,FF,FF	
	SSID	GeoWave	
	ERROR STATUS	FF FF FF FF FF FF	設定直後有効

## 2 ブラウザ

ブラウザを起動し、接続先のアドレスにGW-PS01に設定したIPアドレスを入力して接続します。

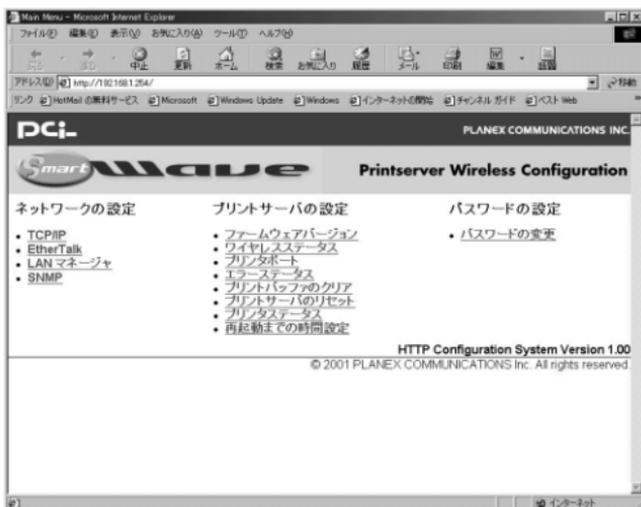
### ⚠ 注意

対応ブラウザ

Netscape Navigator 3.0以降 / インターネットエクスプローラ 3.0以降  
ブラウザでご使用になる場合は、予めGW-PS01にIPアドレスを設定しておく必要があります。

ネットワーク上に、入力したIPアドレスを持つGW-PS01が存在している場合、次のような画面が表示されます。

[ 例 ] http://192.168.1.254



この画面ではNetwork Configuration、Hardware、Configuration、Password Configurationを行うことができます。

## 1) ネットワークの設定

TCP/IP/EtherTalk/LANManager/SNMPでGW-PS01を使用する場合の設定の確認と変更を行うことができます。確認や変更を行いたいプロトコルをクリックします。

### TCP/IP

TCP/IPで通信するために必要なIPアドレスなどの設定値を確認および変更することができます。

### EtherTalk

EtherTalkで通信するために必要なプリンタタイプ名などの設定値を確認及び変更することができます。

### LANManager

LANManagerで通信するために必要な下位層プロトコル(TCP/IP、NetBEUI)の設定値を確認および変更することができます。

### SNMP

SNMPで通信するために必要なコミュニティ名の設定値を確認及び変更することができます。

## 2) プリントサーバの設定

GW-PS01のハードウェアに関する設定の確認と変更を行うことができます。確認や変更を行いたい項目をクリックします。

### ファームウェアバージョン

GW-PS01の現在インストールされているプログラムのバージョンを確認できます。

### ワイヤレスステータス

GW-PS01の無線の設定の確認と変更を行うことができます。

### プリンタポート

GW-PS01の電源ON時に、接続されているプリンタとのネゴシエーションを行うためのモードの設定変更ができます。

### エラーステータス

GW-PS01に過去に発生したエラーの履歴を確認することができます。

### プリンタバッファのクリア

GW-PS01のバッファ内のデータを削除します。

### プリントサーバのリセット

GW-PS01の電源リセットを行います。

### プリンタステータス

GW-PS01の現在のステータスを表示します。

### 再起動までの時間設定

GW-PS01の起動時の遅延時間の確認と変更を行います。

## 3) パスワードの設定

TELNET、ブラウザ、GW-PS01 Setup Utility (Macintosh用)でGW-PS01にログインする時のPasswordの変更を行います。

## 2-1. 設定を変更する場合

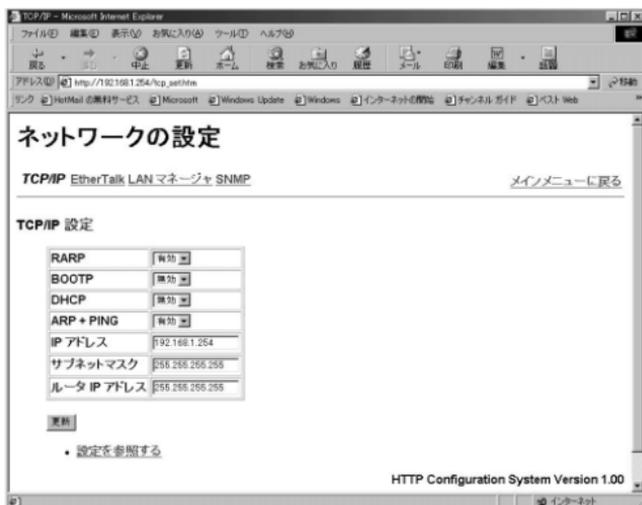
設定変更を行う場合は、GW-PS01にログインする必要があります。



## ⚠ 注意

ここでは、TCP/IPを例として取り上げています。

各項目で「設定を変更する」をクリックした場合に、次の様な画面が表示されます。



ユーザ名は、任意の文字を入力します(入力しなくてもOKです)。パスワードは、先のパスワードの変更で変更していない場合は、半角小文字で「default」を入力します。パスワードを変更している場合は、変更されたパスワードを入力します。



パスワード入力を終わると、次の様な設定を変更できる画面に移ります。

設定を変更し、正しければ「更新」ボタンをクリックします。

設定終了後、変更を有効にするために「プリントサーバのリセット」をクリックしてください。

## 6

GW-PS01をTCP/IP環境下で使用するための現在の設定が表示されます。

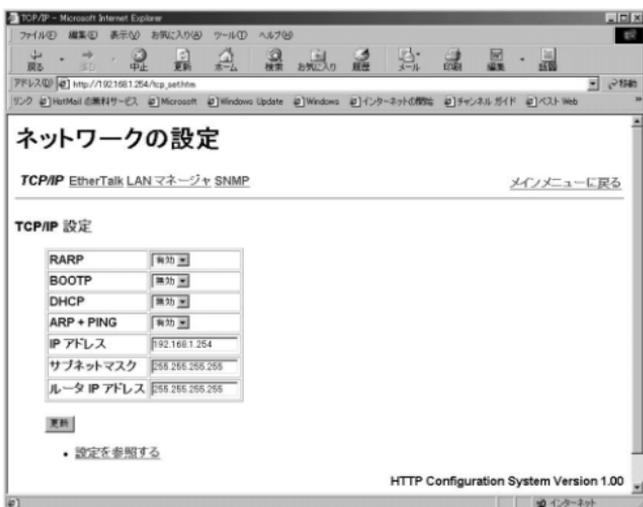


## 6

### 設定ユーティリティの使用方法

## 2-2. TCP/IP

GW-PS01をTCP/IP環境下で使用するための現在の設定が表示されます。



### 設定の変更

GW-PS01のTCP/IP環境の設定を変更することができます。

#### RARP

ご使用になる環境に合わせて使用する/しないを選択します。  
(有効/無効)

#### BOOTP

ご使用になる環境に合わせて使用する/しないを選択します。  
(有効/無効)

### DHCP

ご使用になる環境に合わせて使用する/しないを選択します。  
(有効/無効)

### ARP + PING

ARP + PINGによるIPアドレスの変更の有効/無効を選択します。(有効/無効)

### IPアドレス

GW-PS01に割り当てるIPアドレスを入力します。

### サブネットマスク

ご使用になる環境にサブネットマスクが設定されている場合は、同一のマスクを入力する必要があります。

### ルータIPアドレス

ご使用になる環境にルータが存在する場合には、ルータのIPアドレスを入力する必要があります。

### 更新

データ入力終了後、クリックします。

## 工場出荷設定に戻す

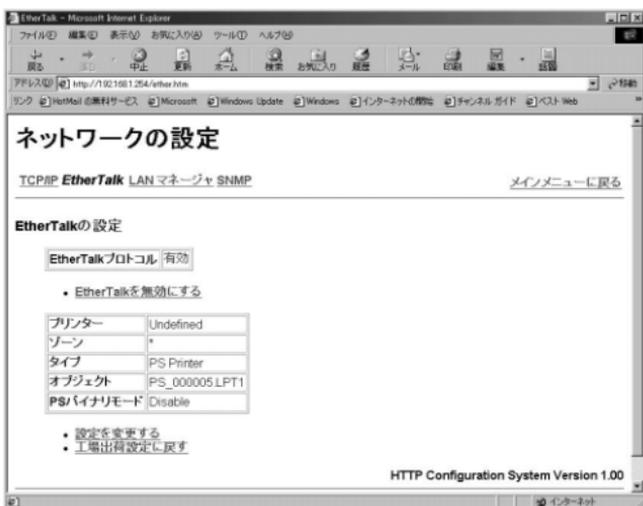
GW-PS01のTCP/IP環境の設定を工場出荷時に戻します。

### 注意

IPアドレスのみ、現在の設定が有効ですのでIPアドレスは手入力でのIPアドレスを100.100.100.100に変更する必要があります。

## 2-3. EtherTalk

GW-PS01をEtherTalkの環境下で使用するための現在の設定が表示されます。



### EtherTalkを有効/無効にする

EtherTalkの環境下でGW-PS01を使用する/しないを選択します。(有効/無効)

#### 注意

デフォルトではEtherTalkを使用する設定になっています。EtherTalkを使用しない場合は、ネットワーク上に無駄なパケットを送信しないように、無効にすることをお勧めします。

## 設定を変更する

GW-PS01の平行レポートに対して、EtherTalk設定の確認と変更を行います。

### プリンタ

接続されたプリンタによって異なります。設定値は4.1.1.4。「使用プリンタの設定」をご覧ください。

### ゾーン

ご使用になる環境にゾーンが設定されている場合は、GW-PS01の所属するゾーンを入力することができます。

### タイプ

使用するプリンタに合わせて設定します。設定値は4.1.1.1。「タイプの設定」をご覧ください。

### オブジェクト

Macintoshのセレクトタから見えるプリンタ名を任意に設定できます。

### PS バイナリモード

PS バイナリの設定内容の有効/無効を設定できます。詳細は、4.1.1.5「PSバイナリ」をご覧ください。

### 更新

データ入力終了後、クリックします。

## 注意

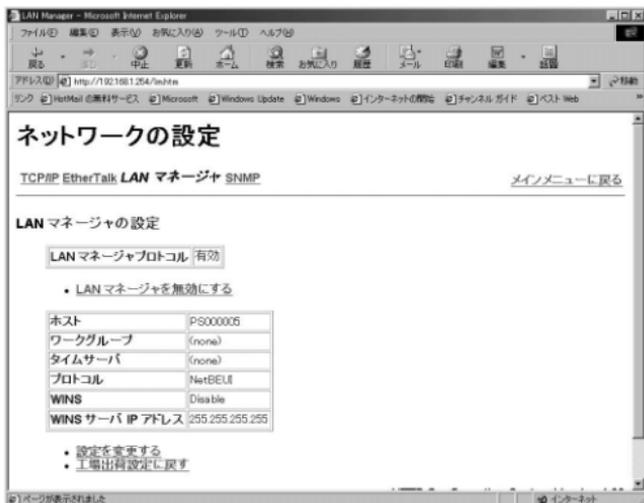
TypeでAT-Mjcolorに設定した場合、EPSON製マッハジェットプリンタ以外ではプリンタのジョブランプが点滅し、GW-PS01の電源をOFFすると印刷を実行しなくても紙が排出されます。これは、AT-Mjcolorで印刷するためのコマンドが印刷されるためです。動作異常ではありませんので、GW-PS01の設定を確認して正しい設定を行ってください。

## 工場出荷設定に戻す

GW-PS01のEtherTalk環境の設定を工場出荷時に戻します。

## 2-4. LANマネージャ

LANマネージャの環境下でGW-PS01を使用する/しないを設定できます。(有効/無効)



## LANマネージャを有効/無効にする

LANManagerの環境下でGW-PS01を使用する/しないを設定できます。(有効/無効)

### 注意

デフォルトではLANマネージャを使用する設定になっています。LANマネージャを使用しない場合はネットワーク上に無駄なパケットを送信しないように、無効にすることをお勧めします。

## 設定を変更する

GW-PS01のLANマネージャ設定を変更することができます。

### ホスト

ネットワークで本体を識別するホスト名を設定できます。他の機器と同じ名前を使用することはできません。必ず固有の名前を指定してください。(半角英数字最大15文字以内)

### ワークグループ

GW-PS01が属するドメイン名を設定できます。

Windows95/98/Me/NTでドメイン管理をしている場合は、使用するドメイン名またはワークグループ名を指定してください。(半角英数字最大15文字以内)

### タイムサーバ

GW-PS01に設定したドメインのドメインコントローラを指定します。タイムサーバ名を指定しなくても印刷には影響ありませんが、プリントジョブ情報の時間が正しく表示されません。WindowsNT Serverを使用していない場合やドメインの設定をしていない場合、この値は無効です。

### プロトコル

ご使用になるLANマネージャのベースとなるプロトコルをTCP/IP、NetBEUIのいずれかから選択します。

### WINS

WINSサーバが存在するネットワーク環境で、WINSの解決をする/しないを設定できます。(有効/無効)

この場合は、LANマネージャは下位プロトコルにTCP/IPを設定する必要があります。

## WINS サーバ IP アドレス

WINSを使用する場合には、WINSサーバのIPアドレスを設定する必要があります。

### 更新

データ入力終了後、クリックします。

#### 注意

DHCPを使用してWINSサーバのIPアドレスを取得する場合は設定する必要はありません。(この場合には、DHCPを有効にする必要があります)ただし、DHCPが有効であるにも関わらず、WINSサーバのIPアドレスを取得できない場合があります。この場合は、WINSサーバのIPアドレスを直接設定する必要があります。

## 6

### 工場出荷設定に戻す

GW-PS01のLANManager環境の設定を工場出荷時に戻します。

## 2-5. SNMP

GW-PS01をSNMPで管理するための現在の設定が表示されます。



### 設定を変更する

GW-PS01のSNMP環境の設定を変更することができます。

#### 管理者用ユーティリティ

管理用のコミュニティ名を設定することができます。  
(ASCII 31文字以内)

#### コミュニティ #1

任意のコミュニティ名#1を設定することができます。  
(ASCII 31文字以内)

## コミュニティ #2

任意のコミュニティ名 #2を設定することができます。  
(ASCII 31文字以内)

### 注意

コミュニティをすべて変更すると、SetupWizardでネットワーク上のGW-PS01が検索できなくなります。ただし、「ターゲット指定」画面にてPSxxxxxxを手入力すれば設定は可能です。  
管理用コミュニティ名は設定変更時のみ表示されます。

## 工場出荷設定に戻す

GW-PS01のSNMPのコミュニティ名を工場出荷時に戻します。

# 6

### 2-6. ファームウェアバージョン

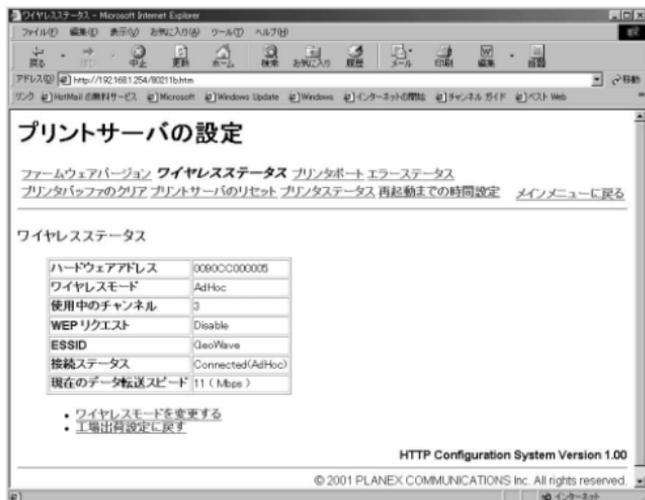
GW-PS01のフラッシュROMとEPROMに現在インストールされているプログラムのバージョン情報を表示します。

### 2-7. イーサネットステータス

GW-PS01のイーサネットアドレス (Macアドレス) を表示します。

## 2-8. ワイヤレスステータス

GW-PS01の無線の現在の設定が表示されます。



### 設定を変更する

GW-PS01の無線の設定を変更することができます。

#### ワイヤレスモード

アドホックモード/インフラストラクチャモードを切り替えることができます。

#### 使用中のチャンネル

アドホックモード時のチャンネルを設定できます。(1-14)

#### WEP リクエスト

暗号化を有効にすることができます。

### WEP キー

WEPによる暗号化を行うための5桁の16進数を設定できます。

### ESSID

インフラストラクチャーモード時のESSIDの値を設定できます。

### 接続ステータス

現在の無線の状態を表示します。(変更はできません)

### 現在のデータ転送スピード

現在の転送レート(変更はできません)

## 注意

アドホックモード時はチャンネル、インフラストラクチャーモード時はESSIDやWEP キーをご使用の環境に合わせて、設定を行ってください。

誤って設定を行ってしまった場合には、TESTスイッチによる工場出荷時設定に戻さなければ、通信できなくなることがあります。

AirMacネットワークをご使用になられている場合、AirMacのWEP キーを変更できないため、予め調べたWEP キーに合わせてGW-PS01の暗号キーを設定してください。

## 工場出荷設定に戻す

GW-PS01の無線の設定を工場出荷時に戻します。

## 2-9. プリンタポート

GW-PS01の電源ON時に、接続されているプリンタとのネゴシエーションを行う/行わないの設定変更ができます。

### 注意

自動、ECPモード、ニブルモードを使用する場合は、必ずプリンタの電源ONの後にGW-PS01の電源をONしてください。

また、ECP・ニブルモード固定の場合はプリンタがサポートしていない場合又は設定が一致していない場合はネゴシエーションエラーとなり印刷できません。

Hewlett-Packard Company製のネットワークプリンタ設定管理ユーティリティWeb JetAdminにて、GW-PS01に接続されたHP LaserJetプリンタへの設定及びステータス監視が行う機能を有効/無効にする設定が行えます。その他のプリンタへ接続した場合は、GW-PS01の情報(一部)を参照できます。

### 注意

プリンタへの設定は、HP LaserJet 4000/5000/8000 Seriesのみ行えます(GW-PS01のJETADMIN、PARALLEL SUPPORT PARALLEL MODEが自動又はECPモードでプリンタがパラレルアドバンスキノウ=オンの場合のみ可能)。Web JetAdminの使用方法は、Web JetAdminのマニュアルを参照ください。

GW-PS01の平行ポートの現在のモードの確認とスピード設定の変更ができます。



## 注意

スピード設定(標準/ハイスピード)の変更は、ECPモード時以外は有効です。

平行ポートの現在のモードは、GW-PS01が起動時にプリンタのモードを自動認識したものを確認するもので変更はできません。

## 設定を変更する

GW-PS01のプリンタポートの設定を変更したい場合にはクリックします。

### パラレルモード

GW-PS01の電源ON時に、接続されているプリンタとのネゴシエーションの設定変更ができます。

### 現在のモード

現在のパラレルのモードです。

ネゴシエーションの結果決定したモードを表示します。

### スピード

ご使用になる環境に合わせてECPモード以外の場合にストローク間隔を変更(標準/ハイスピード)できます。

### HP JetAdmin

Hewlett-Packard Company製のネットワークプリンタ設定管理ユーティリティWeb JetAdminにて、GW-PS01に接続されたHP LaserJetプリンタへの設定及びステータス監視が行う機能を有効/無効にする設定が行えます。(有効/無効)

### 更新

データ入力終了後、クリックします。

## 注意

自動、ECP、ニブル モードを使用する場合は、必ずプリンタの電源ONの後にGW-PS01の電源をONしてください。

ECP・ニブル モード固定の場合はプリンタがサポートしていない場合又は設定が一致していない場合はネゴシエーションエラーとなり印刷できません。

Web JetAdminによるプリンタへの設定は、HP LaserJet 4000/5000/8000 Seriesのみ行えます(GW-PS01のJETADMINがEnable、SUPPORT PARALLEL MODEがAUTO又はECP MODEでプリンタがパラレル アドバンス キノウ=オンの場合のみ可能)。

Web JetAdminの使用方法は、Web JetAdminのマニュアルを参照ください。

## 6

### 工場出荷設定に戻す

GW-PS01の平行ポートの設定を工場出荷時に戻します。

### 2-10. エラーステータスコード

GW-PS01に過去に発生したエラーの履歴を確認することができます。



エラーコードが格納されている領域は40番地から始まります。上の列に表示されている番地はエラーコードがかかれるアドレスのオフセットを表しています。

通常エラーが発生した場合、40番地から45番地にエラーコードが書かれます。

各番地に対して、エラーが発生していない場合は' FF 'が表示されます。

### 注意

GW-PS01はエラーが発生すると、クリアしない限り以前のエラーコードを保存しています。エラーが発生した後は、クリアしてからご使用ください。

## 設定を変更する

GW-PS01のエラーコード値を変更する場合にはクリックします。

変更したいエラーコードを「FF」に変更後、「更新」ボタンをクリックします。

## 工場出荷設定に戻す

GW-PS01のエラーコードの値を工場出荷時に戻します。

## 2-11. プリントバッファのクリア

GW-PS01本体の印刷バッファの内容を消去します。

## 2-12. プリントサーバのリセット

GW-PS01本体を再起動します(ハードウェアリセット)。

## 2-13. プリンターステータス

GW-PS01本体のステータスを表示します。

プリントサーバの設定

ファームウェアバージョン ワイヤレスステータス プリンターポート エラーステータス  
プリントバッファのクリア プリンターのリセット **プリンタステータス** 再起動までの時間設定 メインメニューに戻る

プリンタステータス

プリンタの状態	on line
利用可能なプリントバッファ	7280 bytes
プリンタのステータス	Waiting
プリントに使用しているプロトコル	(none)
要求されているIPアドレス	(none)
プリント済みバイト数	0 bytes
給紙方法	(none)
プリンターメーカー名	unknown
プリンタのタイプ	unknown
プリンタコマンドセット	unknown

• 最新の情報に更新する  
• プrintバッファをクリアする

### 最新の情報に更新する

GW-PS01本体のステータスを最新の情報に更新して表示します。

### 注意

ただしこの機能を使用するためには、ブラウザ上でページの更新設定が必要になります。

## プリントバッファをクリアする

GW-PS01本体の印刷バッファの内容を消去します。

### 2-14. 再起動までの時間設定

GW-PS01の起動時の遅延時間を表示/設定します。



#### 設定を変更する

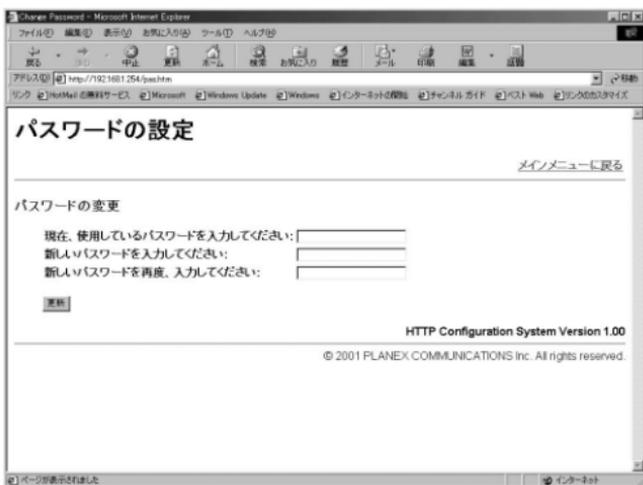
GW-PS01の起動時遅延時間を変更する場合にはクリックします。

#### 注意

通常は変更する必要はありません。

## 2-15. パスワードの設定

TCP/IP、ブラウザ、GW-PS01 Setup Utility（Macintosh用）でGW-PS01にログインするときのパスワードの変更ができます。



### ⚠ 注意

パスワードは4文字以上15文字以下で大文字小文字を区別し、半角A-Z、a-z、0-9を使用できます。パスワードは変更時より有効になります。GW-PS01をリセットまたは電源再投入する必要はありません。

## 3 TELNET

TELNETはUNIXの標準の通信コマンドで、Windows95/98/Me/NT/2000、OS/2にも搭載されています。TCP/IP環境で使用します。

### 注意

TELNETを使用してGW-PS01の設定を行うには、あらかじめGW-PS01にIPアドレスを設定する必要があります。IPアドレスの設定の方法は「3.1. IPアドレスの設定」をご覧ください。

### 3-1. GW-PS01 へのログイン

TELNETでGW-PS01にログインするには以下の手順で行います。

1. ワークステーションまたはパソコンからTELNETを起動し、ネットワーク上のGW-PS01に接続します。  
TELNETの起動方法はプラットフォームにより異なりますので、各ワークステーションまたはソフトウェアのマニュアルをご覧ください。
2. “ Password : ”と表示されたらパスワードを入力します。  
(入力しても画面には表示されません)

[ 例 UNIXワークステーションの一例 ]

```
% telnet IPアドレス (
Connected to PLANEX Print Server!
```

```
Password :
```

工場出荷時のパスワードのデフォルト値は、“ default ”(小文字半角)です。

パスワードはログイン後自由に変更できます。設定されたパスワード以外でログインした場合はすべての設定情報を参照することはできませんが、設定の変更はできません。

**⚠ 注意**

TELNETで設定したパスワードを忘れてしまった場合は弊社ネットワークサポートセンタまでご連絡ください。

- 3.** 設定されたパスワードでログインに成功した場合、次のようなメインメニューが表示されます。

< MAIN MENU >

1. TCP/IP
2. EtherTalk
3. LAN Manager
4. HARDWARE
5. PASSWORD
6. RESET
- Q. QUIT ( DISCONNECT )

設定されたパスワード以外でログインすると、次のようなメインメニューが表示されます。この場合、GW-PS01の設定情報を参照することはできますが、設定の変更はできません。

< MAIN MENU >  
- Reference Only -

- 1.TCP/IP
  - 2.EtherTalk
  - 3.LAN Manager
  - 4.HARDWARE
- Q.QUIT ( DISCONNECT )

 **注意**

GW-PS01にログインした状態で約2分間キー入力がない場合、強制的に接続を解除します。GW-PS01にTELNETで接続できるのは1ユーザのみです。他のユーザは、先のユーザがログアウトするまで接続できません。

## MAIN MENUの構成

項 目	内 容
1.TCP/IP	TCP/IP の設定画面へ移動します。
2.EtherTalk	EtherTalkの設定画面へ移動します。
3.LANManager	LANManagerの設定画面へ移動します。
4.HARDWARE	<p>GW-PS01本体の</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>FLASH ROMのバージョン表示</li> <li>BOOT ROMのバージョン表示</li> <li>MACアドレス表示</li> <li>ワイヤレスコネクションモード表示</li> <li>チャンネル表示</li> <li>WEPリクエスト表示</li> <li>WEPキー表示</li> <li>SSID表示</li> <li>コネクションステータス表示</li> <li>データレート表示</li> <li>エリアコード表示</li> <li>カレントパラレルモード表示</li> <li>パラレルスピード表示</li> <li>JETADMINの有効/無効</li> <li>サポートパラレルモード表示</li> <li>BOOT DELAY TIME表示</li> <li>ERROR STATUS表示</li> </ul> <p>の画面へ移動します。</p>
5.PASSWORD	<p>TELNETでGW-PS01にログインするためのパスワードを変更します。</p> <p>パスワードは4文字以上15文字以下で大文字小文字を区別し、半角A～Z、a～z、0～9を使用できます。</p> <p>パスワードは変更時より有効になります。GW-PS01をリセットまたは電源再投入する必要はありません。</p>
6.RESET	GW-PS01をリセットします。
Q.QUIT (DISCONNECT)	TELNETを終了します。

# 6

## 設定ユーティリティの使用方法

## 注意

ここでのPASSWORDはTELNET、ブラウザ、GW-PS01 Setup Utility (Macintosh用) でログインする時のPASSWORDです。

## 3-2. TCP/IPの設定

ここではTELNETを用いたTCP/IPに関する設定方法を説明します。

1. < MAIN MENU > で「1.TCP/IP」を選びます。
2. < SUB MENU > 画面が表示されます。

< SUB MENU >

1. VIEW SETTINGS
2. CHANGE SETTINGS
3. RESTORE DEFAULT SETTINGS

[ ESC ]. PREVIOUS SCREEN

< SUB MENU > の構成

- 1.VIEW SETTINGS

設定の内容を表示します。

- 2.CHANGE SETTINGS

設定を変更します。

- 3.RESTORE DEFAULT SETTINGS

IPアドレス以外の設定を工場出荷時の値に戻します。

[ ESC ].PREVIOUS SCREEN

< MAIN MENU > に戻ります。

3. 「1.VIEW SETTINGS」を選ぶと現在のGW-PS01のTCP/IPの設定が表示されます。

```
***** TCP/IP Settings *****
IP ADDRESS ..... 100.100.100.100
SUBNET MASK ..... 255.255.255.255
ROUTER IP ADDRESS ... 255.255.255.255
RARP ..... Enabled
BOOTP ..... Disabled
DHCP ..... Disabled
ARP + PING ..... Enabled
SNMP( COMMUNITY NAME )
ADMINISTRATORS ..... public
NAME #1 ..... public
NAME #2 ..... public
```

Press [ ESC ] key to continue...

4. 「2.CHANGE SETTINGS」を選ぶと次の画面が表示されます。

```
< TCP/IP >
1. IP ADDRESS
2. SUBNET MASK
3. DEFAULT ROUTER
4. RARP
5. BOOTP
6. DHCP
7. SNMP( COMMUNITY NAME )
8. ARP + PING
```

[ ESC ]. PREVIOUS SCREEN

< TCP/IP > メニューの構成

1.IP ADDRESS

GW-PS01のIPアドレスを設定します。

2.SUBNET MASK

サブネットマスク設定します。

3.DEFAULT ROUTER

デフォルト・ルータのIPアドレス指定します。

4.RARP

RARPの使用を有効あるいは無効にできます。

5 BOOTP

BOOTPの使用を有効あるいは無効にできます。

6.DHCP

DHCPの使用を有効あるいは無効にできます。

7.SNMP(COMMUNITY NAME)

SNMPの設定を行います。

8.ARP + PING

ARP + PINGによるIPアドレス設定の使用を有効あるいは無効にできます。

[ ESC ].PREVIOUS SCREEN

< SUB MENU > に戻ります。

**⚠ 注意**

IPアドレスを変更した場合、変更を有効にするためには本体の電源を入れ直すか、**< MAIN MENU >** の「7.RESET」を選択してください。

**デフォルトルータについて**

デフォルトルータを指定しない場合は“255.255.255.255”を指定します。

**RARPについて**

RARPを有効にする場合は必ずネットワークにRARPサーバが起動していることを確認してから行ってください。

**BOOTPについて**

BOOTPを有効にする場合は必ずネットワークにBOOTPサーバが起動していることを確認してから行ってください。

**DHCPについて**

DHCPを有効にする場合は必ずネットワークにDHCPサーバが起動していることを確認してから行ってください。

**⚠ 注意**

起動時にサーバからIPアドレスを取得する方法としてDHCP、RARP、BOOTPがありますが、RARP/BOOTPの場合はサーバが起動していない場合は前回起動したIPアドレスにて起動しますが、DHCPを有効時にDHCPサーバが起動していない場合は、定期的にDHCPサーバへのリクエストパケットを送出して、TCP/IPによる通信は行えませんのでご注意ください。動作IPアドレスの決定方法につきましては、「3.1.4 動作IPアドレスの決定手順」を参照ください。

## SNMPについて

SNMPの設定画面では3つのコミュニティ名を設定することができます。

コミュニティ名はSNMPを利用してGW-PS01の様々なステータス情報を参照するために必要な要素です。

工場出荷時のデフォルトの設定では、すべて“ public ”に設定されています。この場合、SNMPを使ったGW-PS01へのアクセスに制限はありません。

### 注意

*Community name*をすべて変更すると、*SetupWizard*でネットワーク上のGW-PS01が検索できなくなります。ただし、「ターゲット指定」画面にてPSxxxxxxを手入力すれば設定は可能です。

### 注意

GW-PS01は、SNMPのコミュニティ名を使用してネットワーク管理ユーティリティ「PrintAdmin」にて設定及び管理が行えます。

### 3-3. EtherTalkの設定

ここでは、TELNETを用いたEtherTalkに関する設定方法を説明します。

1. < MAIN MENU > で「2.EtherTalk」を選びます。

2. < SUB MENU > 画面が表示されます。

< SUB MENU >

1. VIEW SETTINGS

2. CHANGE SETTINGS

3. RESTORE DEFAULT SETTINGS

[ ESC ]. PREVIOUS SCREEN

< SUB MENU > の構成

1.VIEW SETTINGS

設定の内容を表示します。

2.CHANGE SETTINGS

設定を変更します。

3.RESTORE DEFAULT SETTINGS

すべてのEtherTalk設定を工場出荷時の値に戻します。

[ ESC ].PREVIOUS SCREEN

< MAIN MENU > に戻ります。

3. 「1. VIEW SETTINGS」を選択するとGW-PS01の現在のEtherTalkの設定内容が次のように表示されます。

```
***** EtherTalk Settings *****  
EtherTalk is currently ENABLED.  
PRINTER Undefined  
ZONE ..... *  
TYPE ..... PS Printer  
OBJECT ..... PS_XXXXXX.LPT1  
PSBINARY ..... Disable
```

 **注意**

*EtherTalk* プロトコルを使用禁止の設定 ( *DISABLE* ) にしてある時は、*EtherTalk* プロトコルが、現在 *Disable* であることを表示します。設定を変更されていない場合は、*OBJECT* の「*XXXXXX*」は、GW-PS01底面に貼付されている *PS XXXXXX* の6桁の英数字です。

4. 「2. CHANGE SETTINGS」を選ぶと次の様な画面が表示されます

```
< EtherTalk >  
1. DISABLE EtherTalk  
2. PRINTER  
3. ZONE  
4. TYPE  
5. OBJECT  
6. PS BINARY  
[ ESC ]. PREVIOUS SCREEN
```

< EtherTalk > メニューの構成

#### 1.DISABLE EtherTalk

EtherTalk プロトコルを停止します

#### 2.PRINTER

接続するプリンタを設定します。

#### 3.ZONE

ご使用になる環境にゾーンが設定されている場合は、GW-PS01の所属するゾーンを選択することができます。

#### 4.TYPE

GW-PS01に設定されているエンティティタイプが表示されますので、使用するプリンタに合わせた設定を行います。

#### 5.OBJECT

Macintoshのセレクタ上から見えるプリンタ名を任意に設定できます。

#### 6.PS BINARY

TypeがPS Printerに設定されているときPS Binaryの設定内容が有効になります。

Enableのときバイナリデータを印刷できます(ASCIIデータも印刷できます)。

DisableのときはASCIIデータのみとなります。

[ESC].PREVIOUS SCREEN

< SUB MENU > に戻ります。

## 6

### 設定ユーティリティの使用法

## 注意

「DISABLE EtherTalk」に設定した場合、GW-PS01は一切EtherTalkの通信を行いません。この状態で、「2. CHANGE SETTINGS」を選択するとEtherTalkをEnableにするかどうかのメニューのみを表示します。

「PRINTER」は、「TYPE」として“PS printer”、“AT-MJColor”以外を選択した場合は設定する必要はありません。

「TYPE」をAT-Mjcolorに設定した場合、EPSON製マッハジェットプリンタ以外ではプリンタのジョブランプが点滅し、GW-PS01の電源をOFFすると印刷を実行しなくても紙が排出されます。これは、AT-Mjcolorで印刷するためのコマンドが印刷されるためです。動作異常ではありませんので、GW-PS01の設定を確認して正しい設定を行ってください。

## 3-4. ViewCurrentConfiguration (現在の構成の表示)

ここでは、TELNETを用いたLANManagerに関する設定方法を説明します。

1. < MAIN MENU > で「3. LANManager」を選びます。
2. < SUB MENU > 画面が表示されます。

< SUB MENU >

1. VIEW SETTINGS
  2. CHANGE SETTINGS
  3. RESTORE DEFAULT SETTINGS
- [ ESC ]. PREVIOUS SCREEN

< SUB MENU > の構成

1.VIEW SETTINGS

設定の内容を表示します。

2.CHANGE SETTINGS

設定を変更します。

3.RESTORE DEFAULT SETTINGS

すべてのLANManager設定を工場出荷時の値に戻します。

[ ESC ].PREVIOUS SCREEN

< MAIN MENU > に戻ります。

6

3. 「1.VIEW SETTINGS」を選択すると現在の設定内容を次のように表示します。

\* \* \* \* LAN Manager Settings \* \* \* \*

LAN Manager is currently ENABLED.

HOST NAME .....PSxxxxxx

WORKGROUP NAME ....( Not Set )

TIME SERVER NAME ....( Not Set )

PROTOCOL .....NetBEUI



**注意**

設定を変更されていない場合は、HOST NAMEのxxxxxxは、GW-PS01底面に貼付されているPS xxxxxxの6桁の英数字です。

4. < SUB MENU > の「2.CHANGE SETTINGS」を選ぶと次の様な画面が表示されます。

< LAN Manager >

1. DISABLE LAN Manager
  2. Host NAME
  3. WORKGROUP NAME
  4. TIME SERVER NAME
  5. PROTOCOL
- [ ESC ]. PREVIOUS SCREEN

LANManager設定メニューの構成

1.DISABLE LANManager  
LANManager プロトコルを停止します。

2.Host NAME

ネットワークで本体を識別するホスト名を設定します。他の機器と同じ名前を使用することはできません。必ず固有の名前を指定してください。

(半角英数字最大15文字以内)

3.WORKGROUP NAME

GW-PS01が属するドメイン名を設定します。

Windows95/98/Me/NT/2000でドメイン管理をしている場合は、使用するドメイン名またはワークグループ名を指定してください。

(半角英数字最大15文字以内)

#### 4.TIME SERVER NAME

GW-PS01に設定したドメインのWindowsNT Serverのドメインコントローラを指定します。タイムサーバ名を指定しなくても印刷には影響ありませんが、プリントジョブ情報の時間が正しく表示されません。WindowsNT Serverを使用していない場合やドメインの設定をしていない場合はこの値は無効です。

#### 5.PROTOCOL

ご使用になるLANManagerのベースとなるプロトコルをTCP/IPあるいはNetBEUIのいずれかから選択します。

#### 6.WINS

WINSサーバが存在するネットワーク環境で、WINSの解決をする/しない( Enable/Disable )を設定できます。このメニューは、LANManagerで下位プロトコルにTCP/IPが設定してある場合のみ表示されます。

#### 7.WINS SERVER IP address

WINSを使用する場合には、WINSサーバのIPアドレスを設定する必要があります。このメニューは、WINSがEnableに設定されている場合のみ表示されます。

[ ESC ].PREVIOUS SCREEN

< SUB MENU > に戻ります

## 注意

LANManagerがDisableの状態、「2. CHANGE SETTINGS」を選択するとLANManagerをEnableにするかどうかのメニューのみを表示します。ホスト名、ドメイン/ワークグループ名、タイムサーバ名は、下記の半角記号は入力禁止文字なので、使用しないでください。

" (ダブルクォーテーション)	= (イコール)
! (パイプ)	¥ (円マーク)
+ (プラス)	; (セミコロン)
* (アスタリスク)	: (コロン)
] (大カッコ右)	[ (大カッコ左)
, (カンマ)	< (不等号大なり)
> (不等号小なり)	? (クエスチョンマーク)

DHCPを使用してWINSサーバのIPアドレスを取得する場合は設定する必要はありません(この場合には、DHCPを有効にする必要があります)  
1~7の項目を変更した場合は、メインメニューの「7.RESET」を実行してください。

### 3-5. ハードウェア環境の設定

ここでは、TELNETを用いたハードウェア環境に関する設定方法を説明します。

1. < MAIN MENU > で「5.HARDWARE」を選びます。
2. < SUB MENU > 画面が表示されます。

< SUB MENU >

1. VIEW SETTINGS
  2. CHANGE SETTINGS
  3. RESTORE DEFAULT SETTINGS
- [ ESC ]. PREVIOUS SCREEN

## < SUB MENU > の構成

### 1.VIEW SETTINGS

設定の内容を表示します。

### 2.CHANGE SETTINGS

設定を変更します。

### 3.RESTORE DEFAULT SETTINGS

すべてのHARDWARE設定を工場出荷時の値に戻します。

[ ESC ].PREVIOUS SCREEN

< MAIN MENU > に戻ります。

- 6** 3. 「1.VIEW SETTINGS」を選択すると現在の設定内容が次のように現れます。

```
***** Hardware Settings *****
FLASH ROM TYPE .....1602
  VERSION .....XXXX
  BUILD .....XXXX-XX-XX
EPROM ROM TYPE .....1602
  VERSION .....XXXX
  BUILD .....XXXX-XX-XX
ETHERNET ADDRESS .....0090CC1234
WIRELESS CONNECTION MODE ...Infrastructure
WIRELESS WEP REQUEST ...Disable
WIRELESS WEP KEY .....0xFF 0xFF 0xFF 0xFF 0xFF
WIRELESS SSID .....GeoWave
Connection Status .....Connected( Infrastructure )
Current Data Rate .....11 ( Mbps )
AREA CODE .....07
CURRENT PARALLEL MODE ...NIBBLE Mode
PARALLEL SPEED .....Fast( for non ECP/NIBBLE printing )
JETADMIN .....Disable
```

SUPPORT PARALLEL MODE ··· AUTO ( ECP / NIBBLE / Compatible )

BOOT DELAY TIME ········· 0 sec.

ERROR STATUS 0x40 ······· FF

0x41 ··················· FF

0x42 ··················· FF

0x43 ··················· FF

0x44 ··················· FF

0x45 ··················· FF

FLASH ROM TYPE/VERSION/BUILD

GW-PS01のFLASH ROMのTYPE/VERSION/BUILDに関する情報を表示します。

EPROM ROM TYPE/VERSION/BUILD

GW-PS01のEPROM ROMのTYPE/VERSION/BUILDに関する情報を表示します。

 **注意**

FLASH ROM及びEPROM ROMのVERSION ( xxxx ) 及びBUILD ( xxxx-xx-xx ) は、現在のGW-PS01のフラッシュメモリに搭載しているプログラムによって変わります。

## ETHERNET ADDRESS

GW-PS01のETHERNET ADDRESSを表示します。

### 注意

ETHERNET ADDRESSのxxxxxxは、GW-PS01底面に貼付されているPSxxxxxxの6桁の英数字です。

#### WIRELESS CONNECTION MODE

GW-PS01の通信モード ( Ad-Hoc/Infrastructure ) を表示します。

## WIRELESS CURRENT CHANNEL

通信モードがInfrastructureモードの場合のみ、GW-PS01の通信チャンネルを表示します。

## WIRELESS CONNECTION MODE

通信モードがAd - Hocモードの場合のみ、GW-PS01の通信チャンネルを表示します。

## WIRELESS WEP REQUEST

GW-PS01のWEPによる暗号化が有効か無効を表示します。

## WIRELESS WEP KEY

GW-PS01のWEPによる暗号化のキーを表示します。

## WIRELESS SSID

通信モードがInfrastructureモードの場合のみ、GW-PS01のSSIDの値を表示します。

## Connection Status

GW-PS01の現在の通信状況を表示します。

## Current Data Rate

GW-PS01の現在のデータ転送速度を表示します。

# 6

## 設定ユーティリティの使用方法

## AREA CODE

GW-PS01の使用可能国をコードで表示しています。

### 注意

GW-PS01は日本国内でのみ仕様可能です。

## CURRENT PARALLEL MODE

GW-PS01現在のPARALLEL MODE( Compatible Mode ( Fast )/Compatible Mode( Normal )/NIBBLE/ECP )を表示します。

## PARALLEL SPEED

GW-PS01の現在のPARALLEL SPEED( Fast/Normal )を表示します。

### 注意

PARALLEL SPEEDは、Compatible/NIBBLE Mode時のパラレルポートストローブ間隔の設定ですので、ECPモードの場合は無効です。

#### JETADMIN

Hewlett-Packard Company製のネットワークプリンタ設定管理ユーティリティWeb JetAdminにて、GW-PS01に接続されたHP LaserJetプリンタへの設定及びステータス監視が行う機能を有効/無効にする設定が行えます。( Enable/Disable )

プリンタへの設定は、HP LaserJet4000/5000/8000Seriesのみ行えます( GW-PS01のJETADMIN、PARALLEL SUPPORT PARALLEL MODEがAUTO又はECP MODEでプリンタがパラレル アドバンス キノウ=オンの場合のみ可能 )

## SUPPORT PARALLEL MODE

GW-PS01が電源ON時に接続されているプリンタとI/F決定のためのネゴシエーションモード(AUTO/ECP/NIBBLE/Compatible)を表示します。

### 注意

AUTO、ECP、NIBBLE MODEを使用する場合は、必ずプリンタの電源ONの後にGW-PS01の電源をONしてください。

また、ECP・NIBBLE MODE固定の場合はプリンタがサポートしていない場合又は設定が一致していない場合はネゴシエーションエラーとなり印刷できません。

## BOOT DELAY TIME

GW-PS01の起動時の遅延時間を表示します。

## ERROR STATUS

GW-PS01本体のエラー状況を表示します。

4. < SUB MENU > の「2.CHANGE SETTINGS」を選ぶと次の画面が表示されます。

< HARDWARE MENU >

1. PARALLEL PROT SPEED
  2. BOOT DELAY
  3. ERROR STATUS CLEAR
  4. JETADMIN
  5. SUPPORT PARALLEL MODE
  6. Wireless Connection Mode
  7. Wireless WEP Request
  8. Wireless WEP Key
  9. Wireless SSID
- [ ESC ]. PREVIOUS SCREEN

Infrastructure Mode

- < HARDWARE MENU >
1. PARALLEL PROT SPEED
  2. BOOT DELAY
  3. ERROR STATUS CLEAR
  4. JETADMIN
  5. SUPPORT PARALLEL MODE
  6. Wireless Connection Mode
  7. Wireless Channel
  8. Wireless WEP Request
  9. Wireless WEP Key
- [ ESC ]. PREVIOUS SCREEN

#### AdHoc Mode

#### ハードウェア設定メニューの構成

1. PARALLEL PORT SPEED  
印刷ポートのストローク間隔( Fast/Normal )を調整できます。
2. BOOT DELAY  
起動時の遅延時間を調整できます。
3. ERROR STATUS CLEAR  
GW-PS01本体のエラー状況をクリアできます。

#### 4.JETADMIN

Hewlett-Packard Company製のネットワークプリンタ設定管理ユーティリティWeb JetAdminにて、GW-PS01に接続されたHP LaserJetプリンタへの設定及びステータス監視が行う機能を有効/無効にする設定が行えます。( Enable/Disable )

#### 5.SUPPORT PARALLEL MODE

GW-PS01が電源ON時に接続されているプリンタとI/F決定のためのネゴシエーションモード( AUTO/ECP/NIBBLE/Compatible )を設定できます。

#### 6.Wireless Connection Mode

Ad-Hocモード / インフラストラクチャーモードを切り替えることができます。

#### 7.Wireless Channel

Ad-Hocモード時のチャンネルを設定できます。( 1-14 )

#### 8.Wireless WEP Request

暗号化を有効/無効にすることができます。

#### 9.Wireless WEP Key

暗号化に用いるキーを設定できます。

#### 10.Wireless SSID

インフラストラクチャーモード時のSSIDの値を設定できます。

[ ESC ].PREVIOUS SCREEN

< SUB MENU > に戻ります。

## 注意

「PARALLEL PORT SPEED」は、パラレルポートストローブ間隔の設定です。ECPモードの場合は無効です。

AUTO、ECP、NIBBLE MODEを使用する場合は、必ずプリンタの電源ONの後にGW-PS01の電源をONしてください。

ECP・NIBBLE MODE固定の場合はプリンタがサポートしていない場合又は設定が一致していない場合はネゴシエーションエラーとなり印刷できません。

Web JetAdminによるプリンタへの設定は、HP LaserJet 4000/5000/8000 Seriesのみ行えます（GW-PS01のJETADMIN、PARALLEL SUPPORT PARALLEL MODEがAUTO又はECP MODEでプリンタがパラレルアドバンス キノウ=オンの場合のみ可能）。

Ad-Hocモード時はチャンネル、インフラストラクチャーモード時はSSIDやWEP Keyをご使用の環境に合わせて、設定を行ってください。

誤って設定を行ってしまった場合には、TESTスイッチによる工場出荷時設定に戻さなければ、通信できなくなることがあります。

AirMacネットワークをご使用になられている場合、AirMacのWEP Keyを変更できないため、予め調べたWEP Keyに合わせてGW-PS01の暗号キーを設定してください。

## 5. < HARDWARE MENU > 画面で「4.ERROR STATUS CLEAR」を選ぶと次の画面が表示されます。

< CLEAR ERROR STATUS >

0. CLEAR 0x40
1. CLEAR 0x41
2. CLEAR 0x42
3. CLEAR 0x43
4. CLEAR 0x44
5. CLEAR 0x45

[ ESC ]. PREVIOUS SCREEN

## ERROR STATUS

0x40 : FF

0x41 : FF

0x42 : FF

0x43 : FF

0x44 : FF

0x45 : FF

エラーコードが格納されている領域は40番地から始まります。左の列に表示されている番号はエラーコードが書かれるアドレスのオフセットを表しています。

通常エラーが発生した場合、40番地から45番地にエラーコードが書かれます。特定の場合のみ、その他の番地にエラーコードが書かれます。

各番地に対して、エラーが発生していない場合は ' FF ' が表示されます。

### 注意

GW-PS01はエラーが発生すると、クリアしない限り以前のエラーコードを保存しています。エラーが発生した後は、クリアしてからご使用ください。

## 4 SetupWizard

SetupWizardはGW-PS01に付属の簡単セットアップウィザードです。

GW-PS01を初めて設定する場合に設置されているネットワーク状況を自動認識し、設定に必要な入力項目をウィザード形式で順次指示することにより、設定作業の効率が大幅に向上しました。

### 注意

すでに設定済みのGW-PS01の設定変更を行うことも可能です。

### 動作環境

SetupWizardが動作するために必要な環境は次の通りです。

#### 1. クライアントOS

Windows95/98/Me

WindowsNT4.0

Windows2000

### 注意

Windows95のBバージョン（OSR2版）以前の環境でご使用になる場合は、IE4.0をインストールする必要があります。

WindowsNT4.0にて使用する場合には、ServicePack3をインストールすることが最低必要です。推奨する環境としては、ServicePack4をインストールすることが望ましいです。

WindowsNT3.51には対応していません。

#### 2. ネットワーク

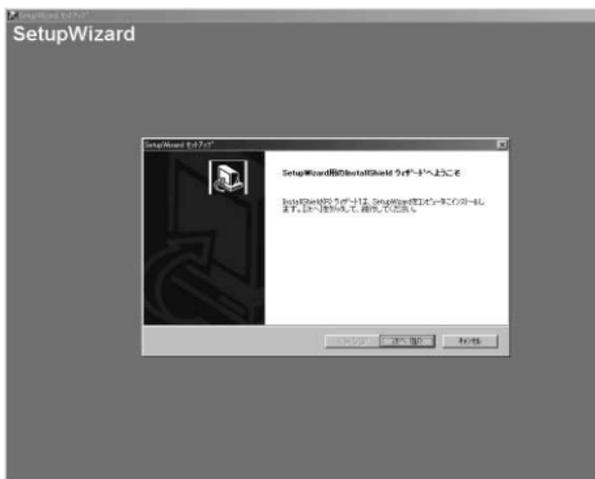
NetWare IPX/SPX プロトコル（3.1J以降）

TCP/IPプロトコル

## 4-1. SetupWizardのインストール

インストール手順

1. GW-PS01に付属のCD-ROMをドライブに挿入します。
2. フォルダ「SetupWizard」 「Disk1」から“SETUP.EXE”を実行します。



3. セットアップが起動したら最初の画面で [ 次へ ] ボタンをクリックしてください。
4. ライセンス契約の画面が表示されますので、お読みの上すべての条項に同意いただける場合は「はい」をクリックしてください。

### ⚠ 注意

「いいえ」をクリックするとインストールの中止を促すメッセージが表示されます。

- 次に、SetupWizardをインストールするディレクトリパスを指定してください。

### 注意

デフォルトでは“ C : ¥Program Files¥Planex¥PLANEXSetupWizard ”  
になっています。  
インストール先の指定が終了したら[ 次へ ]ボタンをクリックしてください。

- 必要なファイルをコピーし、プログラムグループ内に「SetupWizard」グループの登録を行います。
- セットアップが正常に完了し、「セットアップの完了」という確認画面が表示されたら[ 完了 ]ボタンをクリックして、Readme.txtをご一読の上、ご使用願います。

## 4-2. SetupWizardの起動

SetupWizardを起動すると、ウィザードを起動したクライアントPCの設定を自動認識してネットワーク上のGW-PS01を検索します。検索方法としては、TCP/IP通信を使用してネットワーク上のGW-PS01を検索しますが、SetupWizardを起動するPCのネットワーク設定とそのPCが設置されているネットワーク環境によって検索方法及び設定可能な項目が異なります。

SetupWizardでは検索方法の内容を起動時にメッセージにて表示します。

( 検索方法の詳細は、検索方法を決定する環境一覧を参照ください )

## 注意

GW-PS01を初めてご使用いただく場合(工場出荷時設定に戻した場合)には、設定を行うPCの無線カードの設定を下記内容に設定変更を行う必要があります。

動作モード = ad-Hoc (アドホック)

チャンネル = 3

WEP = なし

## 検索方法を決定する環境一覧

### 環境1

SetupWizardを起動するPCにネットワークアダプタがセットアップされていない場合。

### 環境2

- SetupWizardを起動するPCがTCP/IP、IPX/SPXを未サポート
- (1) TCP/IP、IPX/SPXが共にインストールされていない場合。
  - (2) TCP/IPが未インストールで、IPX/SPXがインストールされているがファイルサーバが存在しない場合。
  - (3) TCP/IPがインストールされているがIPアドレスが未設定で、IPX/SPXがインストールされているがファイルサーバが存在しない場合。

### 環境3

- SetupWizardを起動するPCがIPX/SPXのみサポート  
(ファイルサーバに管理者でログインしていない)
- (1) IPX/SPXがインストールされていてネットワーク上にファイルサーバが存在しているが、TCP/IPが未インストール。
  - (2) IPX/SPXがインストールされていてネットワーク上にファイルサーバが存在して、TCP/IPがインストールされているがIPアドレスが未設定の場合。

#### 環境4

SetupWizardを起動するPCがIPX/SPXのみサポート  
(ファイルサーバに管理者でログインしている)

- (1) IPX/SPXがインストールされていてネットワーク上にファイルサーバが存在しているが、TCP/IPが未インストール。
- (2) IPX/SPXがインストールされていてネットワーク上にファイルサーバが存在して、TCP/IPがインストールされているがIPアドレスが未設定の場合。

#### 環境5

SetupWizardを起動するPCがTCP/IPのみサポート

- (1) TCP/IPがインストールされていてIPアドレスが設定されているが、IPX/SPXが未インストール。
- (2) TCP/IPがインストールされていてIPアドレスが設定されていて、IPX/SPXがインストールされているがファイルサーバが存在しない場合。

#### 環境6

SetupWizardを起動するPCがTCP/IPとIPX/SPX共にサポート  
(ファイルサーバに管理者でログインしていない)

- (1) TCP/IPがインストールされていてIPアドレスが設定されていて、IPX/SPXがインストールされているが管理者でログインしていない場合。

#### 環境7

SetupWizardを起動するPCがTCP/IPとIPX/SPX共にサポート  
(ファイルサーバに管理者でログインしている)

- (1) TCP/IPがインストールされていてIPアドレスが設定されていて、IPX/SPXがインストールされているが管理者でログインしている場合。

検索方法	環境No.
設定不能	環境1、環境2
TCP/IPによる検索	環境5、環境6
IPX/SPXによる検索	環境3、環境4、環境7

## ⚠ 注意

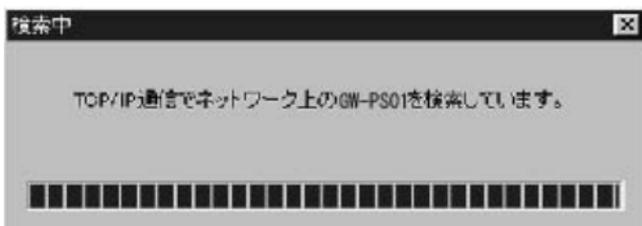
GW-PS01はIPX/SPX非対応のため検索できません。

Windows95/98/Me、WindowsNT 4.0、Windows2000での起動  
[ スタート ]メニューから“プログラム”R“ SetupWizard ”R  
“ SetupWizard ”を選択します。

# 6

## 1. TCP/IP通信による検索

ネットワーク上のGW-PS01をTCP/IP通信にて検索する場合、下の画面を表示します。



## ⚠ 注意

TCP/IPで検索を実行した場合に、SetupWizardを起動しているPCと異なるGateway Address (= 存在しないRouterのAddress)がGW-PS01に設定されている場合は、検索が行えません。この場合は、GW-PS01のGateWayAddressを無効(255.255.255.255)に設定する/GW-PS01を初期化(test SW使用)する必要があります。

### 2.IPX/SPX通信による検索

GW-PS01はIPX/SPX未対応のため、検索および設定を行うことはできません。

## 4-3. セットアップ方法選択

SetupWizardを起動しネットワーク上のGW-PS01の検索を終了するとユーザの用途に合わせてセットアップ方法を選択することができます。



## 4-4. フルセットアップ

GW-PS01に対して、設定できる項目すべてを設定したい場合にはこの方法をご使用ください。

ご使用環境がSetupWizardを起動している環境と異なる場合には便利です。

「セットアップ方法選択」の画面で、「次へ」をクリックすると、「ターゲット指定」の画面が表示されます。



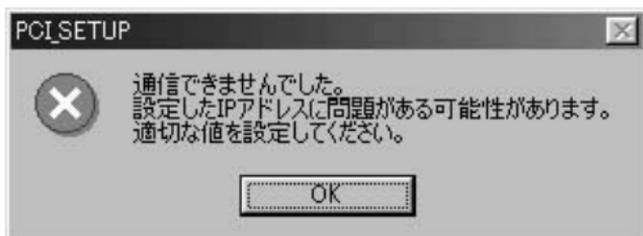
### ターゲット指定

「ターゲット指定」の画面ネットワーク上に存在するGW-PS01の一覧が表示されますので、設定を行いたいGW-PS01のデフォルト名(DefaultName)をハイライト指定して、「次へ」をクリックすると「IPアドレス設定」の画面が表示されます。



## 注意

通信可能なIP体系でないIPアドレスを設定すると下記の警告メッセージを表示します。この場合設定完了後のテスト印刷は行えません。



# 6

## 設定ユーティリティの使用方法

### TCP/IP設定

IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定ができます。また、IPアドレスの取得方法として、RARP、BOOTP、DHCPを設定可能です。ARP + PINGでのIPアドレス設定の許可/不許可の設定が行えます。TCP/IPを使用しない場合は、設定する必要はありません。

TCP/IPの設定に関する詳細は、「第3章 TCP/IP」をご参照ください。



必要な項目を設定して、「次へ」をクリックすると「LAN Manager設定」画面が表示されます。

## 注意

起動時にサーバからIPアドレスを取得する方法としてDHCP、RARP、BOOTPがありますが、RARP/BOOTPの場合はサーバが起動していない場合は前回起動したIPアドレスにて起動しますが、DHCPを有効時にDHCPサーバが起動していない場合は、定期的にDHCPサーバへのリクエストパケットを送出して、TCP/IPによる通信は行えませんのでご注意ください。動作IPアドレスの決定方法につきましては、「3.1.4 動作IPアドレスの決定手順」を参照ください。

## LANManager設定

LAN Managerの設定を行えます。LAN Managerを使用する/使用しない、ベースプロトコル( NetBEUI or TCP/IP )の選択、ホスト名、ワークグループドメイン名、タイムサーバ名( ベースプロトコルをTCP/IP選択時のみ )、WINSを使用する/使用しない( ベースプロトコルをTCP/IP選択時のみ )、WINS Server IP Address( WINS使用時のみ )の設定ができます。LANManagerの設定に関する詳細は、「第5章



LANManager( TCP/IP・NetBEUI )」をご参照ください。  
必要な項目を設定して、「次へ」を押すと「AppleTalk」の画面が表示されます。

## AppleTalk設定

AppleTalkを使用する/使用しない、タイプ名/プリンタ名/  
ゾーン名/オブジェクト名の設定ができます。

AppleTalkの設定に関する詳細は、「第4章 EtherTalk」をご参照ください。



必要な設定を行い「次へ」をクリックすると「SNMP設定」の画面が表示されます。

## SNMP設定

プリントサーバのSNMPコミュニティ名を設定できます。



必要であれば設定を行い、「次へ」をクリックすると「ハードウェア設定」画面が表示されます。

### 注意

GW-PS01はトラップ機能には対応してないので、必ずグレーアウト表示されます。

## ハードウェア設定

GW-PS01が電源ON時に接続されているプリンタとI/F決定のためのネゴシエーションモード(AUTO/ECP/NIBBLE/Compatible)を表示します。また、Hewlett-Packard Company製のネットワークプリンタ設定管理ユーティリティWeb JetAdminにて、GW-PS01に接続されたHP LaserJetプリンタへの設定及びステータス監視が行う機能を有効/無効にする設定が行えます。その他のプリンタへ接続した場合は、GW-PS01の情報(一部のみ)を参照できます。その他にも、GW-PS01の平行ポートの現在の転送速度(ストローク間隔)を変更できます。



必要な設定を行い、「次へ」をクリックすると「無線設定」の画面が表示されます。

## 注意

Web JetAdminによるプリンタへの設定は、HP LaserJet 4000/5000/8000 Seriesのみ行えます(GW-PS01のJETADMINがEnable、SUPPORT PARALLEL MODEがAUTO又はECP MODEでプリンタがパラレル アドバンス キノウ=オンの場合のみ可能)

Web JetAdminの使用方法は、Web JetAdminのマニュアルを参照ください。

ECP/Nibbleに設定する場合は、必ずプリンタに接続していることを確認下さい。

AUTO、ECP、NIBBLE MODEを使用する場合は、必ずプリンタの電源ONの後にGW-PS01の電源をONしてください。

ECP・NIBBLE MODE固定の場合はプリンタがサポートしていない場合又は設定が一致していない場合はネゴシエーションエラーとなり印刷できません。

転送速度(標準モード/高速転送モード)の変更は、ECPモード以外で無効です。

## 無線設定

WEPによる暗号化を行う場合には、WEPキーを登録する必要があります。使用するWEPキーのモードを選択し、「Generate WEP Key」でキーを登録してください。また、802.11bにおける動作モードを「AdHoc」が「infrastructure」を選択し、SSIDやチャンネルを使用環境に合わせて設定します。



必要な設定を行い、「次へ」をクリックすると「設定確認」の画面が表示されます。

### ⚠ 注意

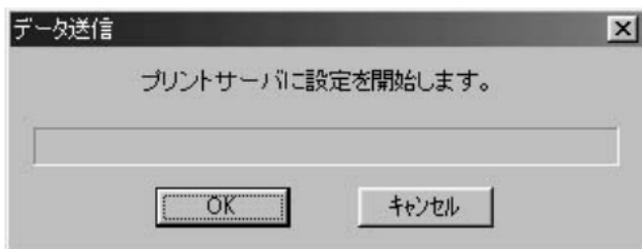
SSIDや暗号キーをご使用の環境に合わせて、設定を行ってください。誤って設定を行ってしまった場合には、TESTスイッチによる工場出荷時設定に戻さなければ、通信できなくなることがあります。

AirMacネットワークをご使用になられている場合、暗号キーを変更できないため、予め調べた暗号キーに合わせてGW-PS01の暗号キーを設定してください。

## 設定確認及びデータ転送及び完了



「設定確認」の画面が表示されたら、設定した項目に間違いがなければ「次へ」をクリックしてください。



「データ転送」の画面が表示されますので問題がなければ「OK」をクリックしてください。すると、GW-PS01にデータを転送して設定を行います。



設定が終了すると「完了」の画面が表示されます。テスト印刷が必要であればチェックを入れて「完了」をクリックしてください。これで、セットアップは終了です。

## 6

### 設定ユーティリティの使用方法

## 4-5. 標準セットアップ

SetupWizardを起動しているPCの設定を自動認識してユーザが最小限の入力でGW-PS01の設定を行うことができます。

下記に、PCの設定環境ごとにどのような設定が行えるかを説明します(環境の詳細は、検索方法を決定する環境一覧を参照ください)。

フルセットアップで説明した画面で、どのような遷移をするかを説明します。

### 1. 環境3、4、7、の場合

GW-PS01は、IPX未対応のため設定を行うことができません。

### 2. 環境5、6の場合

「ターゲット指定」「IPアドレス設定」「TCP/IP設定」  
「LAN Manager設定」「AppleTalk設定」「SNMP設定」  
「ハードウェア設定」「無線設定」「設定確認」「データ送信」「完了」

## 4-6. 最小セットアップ：TCP/IP設定のみ

GW-PS01をTCP/IP設定のみでご使用になられる場合にはこの方法でセットアップを実行してください。

### 注意

IPアドレスは同一セグメントを指定してください。

下記に、最小セットアップの場合にどのような設定が行えるかを説明します。  
フルセットアップで説明した画面で、どのような遷移をするかを説明します。

### 1. IPX/SPX通信による設定の場合

GW-PS01は、IPX未対応のため、IPX通信による設定はできません。

### 2. TCP/IP通信による設定の場合

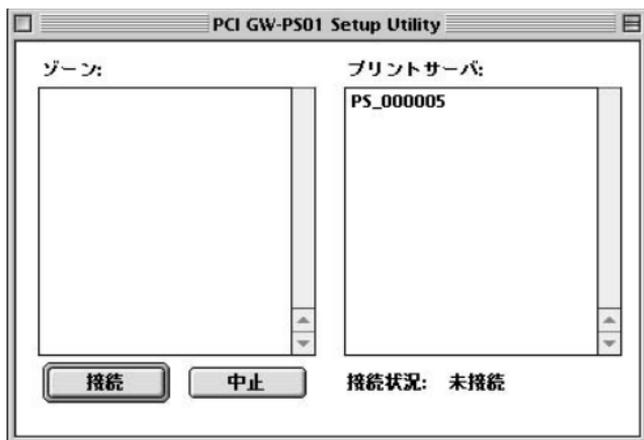
「ターゲット指定」「IPアドレス設定」「TCP/IP設定」  
「無線設定」「設定確認」「データ送信」「完了」

## 6

## 5 GW-PS01 Setup Utility (Macintosh用)

### 5-1. ユーティリティ起動方法

1. GW-PS01付属のCD-ROM内のフォルダ「GW-PS01」  
“GW-PS01 Setup Utility”を任意のフォルダにコピーします。
2. Macintoshからユーティリティを起動します。



GW-PS01 Setup Utility( Macintosh用 )起動時の画面

- ネットワーク上にゾーンが存在する場合は、GW-PS01の属するゾーンを選択します(工場出荷時のGW-PS01はデフォルトゾーンに属します。デフォルトゾーンが不明な場合はネットワーク管理者にお問い合わせください)。
- 3.

- 設定を行うGW-PS01を選択して“接続”ボタンをクリック
4. します。

5. パスワードを入力します。工場出荷時のパスワードは“ default ”(小文字半角)です。

パスワード確認後GW-PS01に接続されるので、“ セットアップ ”メニューから各種設定項目を選択します。

## GW-PS01 Setup Utility( Macintosh用 )から設定できる項目

### TCP/IP

GW-PS01のTCP/IP設定を行うことができます。  
「6.4.4.TCP/IP」をご覧ください。

### SNMP

GW-PS01のSNMP設定を行うことができます。  
「6.4.5.SNMP」をご覧ください。

### AppleTalk

GW-PS01のAppleTalk設定を行うことができます。  
「6.4.2.AppleTalk」をご覧ください。

### LANManager

GW-PS01のLANManager設定を行うことができます。  
「6.4.6.LANManager」をご覧ください。

### 無線設定

GW-PS01の無線設定を行うことができます。  
「6.4.7.無線」をご覧ください。

### ディレイタイム設定

GW-PS01の起動時の遅延時間を表示、設定することができます。  
デフォルト値は 0 sec となっています。

### パラレルポート設定

GW-PS01の電源ON時に、接続されているプリンタとのネゴシエーションの設定変更ができます。また、ご使用になる環境に合わせてECPモード時以外のストローク間隔を変更 ( Normal/Fast ) できます。

### Web JetAdmin

Hewlett-Packard Company製のネットワークプリンタ設定管理ユーティリティWeb JetAdminにて、GW-PS01に接続されたHP LaserJetプリンタへの設定及びステータス監視を行う機能を設定できます。

### バージョン情報

GW-PS01のエラーコードとソフトウェアバージョンが表示されます。GW-PS01をバージョンアップされる場合には、現在のバージョンを必ずご確認ください。

### パスワードの変更

GW-PS01 Setup Utility ( Macintosh用 ) を使用して、GW-PS01にログインするためのパスワードを変更できます。工場出荷時は、半角小文字の「 default 」になっています。

### 工場出荷時の設定に戻す

GW-PS01本体の全ての設定を工場出荷時の値に戻す場合は“ セットアップ ”メニューから“ 工場出荷時の設定に戻す ”を選択します。工場出荷時に設定を戻した場合は、AppleTalk以外の設定もデフォルトにもどります。ご注意ください。

### GW-PS01のリセット

GW-PS01の本体リセットをGW-PS01 Setup Utility ( Macintosh用 ) から行うことができます。リセットを行う場合は“ セットアップ ”メニューから“ GW-PS01のリセット ”を選択します。

## 5-2. AppleTalk

AppleTalkに関する設定を変更するには“セットアップ”メニューから“AppleTalk”を選択します。設定項目には、「ポートの設定」と「プリンタ情報の設定」と「PSプリンタ情報の取得」があります。

### ポートの設定

----- AppleTalk 設定 -----

タイプ名:

オブジェクト名:

ゾーン名:

PS バイナリ:  有効  無効

#### タイプ

使用するプリンタドライバに合わせて、適切なタイプをプルダウンメニューから選択します。詳細な設定内容は、「第4章 EtherTalk」をご覧ください。

また、EtherTalkを使用しない設定もこの項目で選択できます。

#### オブジェクト

Macintoshのセレクトタに表示されるプリンタ名です。任意の名称を設定できます。

#### 注意

次の半角記号 (“=”, “\*”, “@”, “:”, “~”) は使用しないでください。

## ゾーン

使用する環境にゾーンが設定されている場合は、GW-PS01にゾーンを設定することができます。プルダウンメニューからGW-PS01を所属させるゾーンを選択してください。

ゾーン設定されていない場合は、自動的にデフォルトゾーンを選択します。

また、使用環境にゾーンが設定されていない場合は設定を行う必要はありません。

## PSバイナリ

TypeがPS Printerに設定されているときPS Binaryの設定内容が有効になります。

Enableのときバイナリデータを印刷できます(ASCIIデータも印刷できます)。

DisableのときはASCIIデータのみとなります。

### 注意

*TBCP非対応のプリンタに対して、PS Binary Enableで印刷すると、正常に動作しません。GW-PS01はBCPIには対応していません。*

設定の更新を行う場合には、各項目をご確認の上「OK」をクリックしてください。

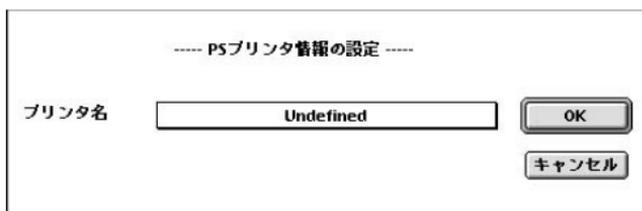
設定内容は、GW-PS01をリセットすることで更新されますので、必ずリセットしてください。

## プリンタ情報の設定

PSプリンタ及びEPSON製インクジェットプリンタをご使用になる場合にプリンタをプルダウンメニューから選択します。

### ▲ 注意

プリンタが双方向通信可能な設定になっており、GW-PS01のパラレルポートの設定がAuto/ECP/NIBBLEにし、プリンタ GW-PS01の順に電源を投入した場合、プリンタ名を双方向通信にて取得してきます。その場合はプリンタ名を設定する必要はありません。



設定の更新を行う場合には、各項目をご確認の上「OK」をクリックしてください。

設定内容は、GW-PS01をリセットすることで更新されますので、必ずリセットしてください。

PSプリンタでプルダウンメニューにご使用になるプリンタがない場合は、プリンタ情報を取得する必要があります。情報取得の方法は「6.4.3.情報取得」をご覧ください。

各項目の詳細については「第4章 EtherTalk」をご覧ください。

## PSプリンタ情報の取得

ユーティリティのリストにないPostScriptプリンタまたはハードディスクに追加のフォントをダウンロードしているPostScriptプリンタを使用する場合、プリンタ情報の取得を行います。情報取得の方法は「6.4.3.情報取得」をご覧ください。

### 5-3. 情報取得

ユーティリティのリストにないPostScriptプリンタまたはハードディスクに追加のフォントをダウンロードしているPostScriptプリンタを使用する場合は以下の手順でプリンタ情報の取得を行ってください。

1. ユーティリティを起動しGW-PS01に接続します。
2. PostScriptプリンタとMacintoshをLocalTalkケーブルで接続し、プリンタ電源を投入します。この時、MacintoshのLocalTalkポートにはプリンタのみを接続してください。
3. Macintoshのネットワークを“ LocalTalk ”に変更します。

#### 注意

この作業はユーティリティが起動している状態で行ってください。ネットワークの切り替え方法についてはMacintoshのマニュアルをご覧ください。

4. ユーティリティの“ セットアップ ”メニューの“ AppleTalk ”から“ プリンタ情報の取得 ”を選択します。
5. 確認のためのダイアログが表示されますので“ OK ”をクリックします。

6. プリンタ情報の取得終了後、確認のためのダイアログが表示されますので“ OK ”をクリックします。
7. Macintoshのネットワークを“ EtherTalk ”に戻します。

 **注意**

無線カードを使用しているMacintoshの場合は、無線カードを選択してください。

8. ユーティリティの“ セットアップ ”メニューから“ プリンタ情報の設定 ”を選択します。
9. 設定終了後、確認のためのダイアログが表示されますので“ OK ”をクリックします。

以上で設定は終了です。

## 5-4. TCP/IP

TCP/IPに関する設定をMacintoshユーティリティから行うことができます。設定を行うには“セットアップ”メニューから“TCP/IP”を選択します。設定項目は以下の通りです（各項目の詳細は「第3章 TCP/IP」をご覧ください）。

DHCPを利用してIPアドレスを自動設定する。

DHCPサーバから自動的にIPアドレスを取得する場合はラジオボタンをクリックします。この項目が選択されている場合はIPアドレス欄の値は無効となります。

DHCPをご使用の場合は、「8.1.DHCPでの使用方法」をご確認ください。

手動でIPアドレスを設定する。

GW-PS01にIPアドレスを設定する場合は、各入力項目に、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの値を入力します。

### 注意

設定の更新を行う場合には、各項目をご確認の上「送信」をクリックしてください。設定内容はGW-PS01をリセットすることで更新されますので、必ずリセットしてください。

## 5-5. SNMP

SNMPコミュニティ名の設定をMacintoshユーティリティから行うことができます。“セットアップ”メニューから“SNMP”を選択します。設定項目は以下の通りです(各項目の詳細は「8.2.SNMPについて」をご覧ください)。

### コミュニティ名

GW-PS01には、#1、#2として、2つのコミュニティ名を登録できます。

### 注意

設定の更新を行う場合には、各項目をご確認の上「送信」をクリックしてください。設定内容はGW-PS01をリセットすることで更新されますので、必ずリセットしてください。

6

設定ユーティリティの使用方法

## 5-6. LANManager

環境にLANManagerで印刷を行うクライアントが存在する場合、LANManagerに関する設定をMacintoshユーティリティから行うことができます。設定を行うには“セットアップ”メニューから“LANManager”を選択します。設定項目は以下の通りです(各項目の詳細は「第5章 LANManager」をご覧ください)。

### LANManagerを使用しない

このチェックボックスをチェックするとLANManagerの機能を停止することができます。

### ホスト名

GW-PS01のホスト名を設定できます。

### ドメイン名

ネットワーク環境のドメイン名/ワークグループ名を設定します。

### タイムサーバ名

GW-PS01に設定したドメインのWindowsNT Serverのドメインコントローラを指定します。タイムサーバ名を指定しなくても印刷には影響ありませんが、プリントジョブ情報の時間が正しく表示されません。WindowsNT Serverを使用していない場合やドメインの設定をしていない場合はこの値は無効です。

### プロトコル

LANManagerの下位プロトコルとして、TCP/IPとNetBEUIを選択できます。

### WINSを使用しない

WINSを使用する・使用しないを設定します。  
詳細は、「7.3.WINSでの使用方法」をご覧ください

### WINS SERVER IP address

WINSを使用する場合には、WINSサーバのIPアドレスを設定する必要があります。  
このメニューは、WINSがEnableに設定されている場合のみ表示されます。

#### 注意

DHCPを使用してWINSサーバのIPアドレスを取得する場合は設定する必要はありません（この場合には、DHCPを有効にする必要があります）。

設定の更新を行う場合には、各項目をご確認の上「送信」をクリックしてください。

設定内容はGW-PS01をリセットすることで更新されますので、必ずリセットしてください。

## 5-7. 無線設定

無線の設定をMacintoshユーティリティから行うことができます。“セットアップ”メニューから“無線”を選択します。設定項目は以下の通りです。

### 暗号化

GW-PS01のWEPによる暗号化が有効か無効を表示します。暗号化を使用する場合には、リストから“Shared Key”か“Open System Key”を選択します。

### 注意

Infrastructureモード時、ご使用になられているアクセスポイントが対応している方式を設定してください。

### キー文字列

暗号キーを生成するためのキー文字列です。PCに設定したキー文字列と同じ文字列を入力する必要があります。キー文字列は最大32文字までの半角英数文字列であり、大文字/小文字は区別されます。(直接、暗号キーをkey1からkey4までの入力欄に入力する場合は、キー文字列を入力する必要はありません。)

### Key生成

暗号キーを生成するためにこのボタンをクリックします。キー文字列からユニークな4つの暗号キーが生成されます。

Key1 ,Key2 ,Key3 ,Key4

キー文字列から生成された暗号キーを表示する欄です。key1からkey4までのユニークな4つの暗号キーが表示されます。この入力欄には直接暗号キーを入力することもできます。この場合もPCに設定されている暗号キーと同じものを入力する必要があります。(暗号キーは16進数で入力する必要があります。)

また、AirMacネットワークをご使用になられている場合には、キーを手動で設定する必要があります。

クリア

キー文字列、生成された暗号キー全てをクリアします。

Default key

ドロップダウンリストで表示されるkey1 ,key2 ,key3 ,key4の中から1つの暗号キーを選択します。このときPCに設定してある暗号キーと同じ暗号キーを選択する必要があります。選択された暗号キーでデータを暗号化または復号化します。

通信モード

現在、使用している無線ネットワークの環境にあわせて通信モードを選択します。選択可能な通信モードは「Ad-Hoc」モードと「Infrastructure」モードがあります。

SSID

SSID( Service Set Identifier )は無線LANを構成する装置同士( PCやGW-PS01等 )を識別する名前です。同じネットワークに属するクライアント( PCやGW-PS01等 )とアクセスポイントは、同じSSIDを設定しなければなりません。

SSIDは、半角英数字32文字以内で設定します。(このとき大文字、小文字は区別されます)

デフォルトのSSIDは“ GeoWave ”です。

## 注意

SSIDの設定は、「Infrastructure」モードの場合にのみ有効です。

### チャンネル

無線LANを構成する装置同士(PCやGW-PS01等)を同じチャンネルに設定する必要があります。

## 注意

チャンネルの設定は、「Ad-Hoc」モードの場合にのみ有効です。

複数チャンネルが存在する環境の場合は、チャンネル同士を5つ以上離して設定してください。混信の恐れがあります。

### 初期値に戻す

GW-PS01の無線の設定を工場出荷時に戻します。

## 5-8. その他設定

### ディレイタイム設定

GW-PS01の起動時の遅延時間を表示、設定することができません。デフォルト値は0 sec となっています。

### パラレルポート設定

GW-PS01の電源ON時に、接続されているプリンタとのネゴシエーションの設定変更ができます。また、ご使用になる環境に合わせてECPモード時以外のスローブ間隔を変更(Normal/Fast)できます。

## Web JetAdmin

Web JetAdminによるプリンタへの設定は、HP LaserJet 4000/5000/8000Seriesのみ行えます( GW-PS01のJETADMINがEnable、SUPPORT PARALLEL MODEがAUTO又はECP MODEでプリンタがパラレル アドバンス キノウ=オンの場合のみ可能)。

Web JetAdminの使用方法は、Web JetAdminのマニュアルを参照ください。

## バージョン情報

バージョンを表示します。

## パスワード変更

パスワードを変更できます。

## 工場出荷時の設定に戻す

工場出荷時の設定に戻します。

## GW-PS01のリセット

GW-PS01をソフトリセットします。

## 6 WIP\_SET

WIP\_SETはTCP/IPの各パラメータを設定するツールですが、以下の環境で動作します。この時設定用のパソコンにはネットワークドライバとしてTCP/IPプロトコルが組み込まれている必要があります。またWinsock1.1以上に対応している事が必要です。WIP\_SETは、GW-PS01付属のCD-ROM内のフォルダ「GW-PS01」「Utility」「Tcip.dsk」内に収録されています。

### 注意

WIP\_SET.EXEはルータやゲートウェイを介してGW-PS01の設定を行うことはできません。必ずGW-PS01と同一セグメント内のPCで使用してください。

## 6

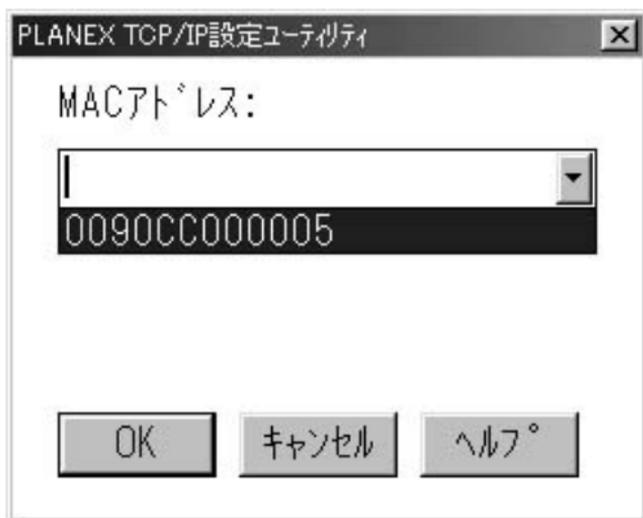
### 1. クライアントOS

Windows95/98/Me

WindowsNT4.0/2000

GW-PS01の以下の項目設定ができます。

- ・ IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定
- ・ LANManagerのENABLE/DISABLE設定( 下位プロトコルの設定 : TCP/IP or NetBEUI、ホスト名、ドメイン名、タイムサーバ名 )
- ・ DHCPのENABLE/DISABLEの設定
- ・ WINSのENABLE/DISABLEの設定( ENABLE時は、WINSサーバのIPアドレス )



2. GW-PS01本体をネットワークに接続し、電源を投入します。GW-PS01付属のCD-ROM内のフォルダ「GW-PS01」「UTILITY」「TCPIP.DSK」のWIP\_SET.EXEを起動し、WIP\_SET.EXEを起動し、GW-PS01本体裏面に貼付されているラベルのMACアドレス「0090CCxxxxxx」をリストから選択または入力します。「OK」ボタンを押す次のウィンドが開き、MACアドレスで指定したGW-PS01の現在の設定を表示します。
3. TCP/IPに必要なIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを入力してください。GW-PS01の工場出荷時の設定では「LANManagerを使用する」のチェックボックスがチェックされています。

## ⚠ 注意

ネットワーク上にGW-PS01以外のプリントサーバが存在する場合には、リストにGW-PS01以外のMACアドレスが表示されることがあります。  
この場合には、GW-PS01本体裏面に貼付されているMACアドレスを必ずご確認してから設定を行ってください。

PLANEX TCP/IP設定ユーティリティ

MACアドレス : 0090CC000005

IPアドレスを自動的に取得(DHCP)

IPアドレス : 192.168.1.254

サブネットマスク : 255.255.255.255

ゲートウェイアドレス : 255.255.255.255

LAN Managerを使用する

プロトコル

NetBEUI  TCP/IP

ホスト名 : PS000005

ドメイン名 :

タイムサーバ名 :

WINSを使用する

WINSサーバのIPアドレス

: 255.255.255.255

設定 終了 ヘルプ

IPアドレスを設定します。

4. LANManagerを使用するときは、ホスト名、ドメイン名、タイムサーバ名を入力してください。  
3.LANManagerの下位プロトコルとして、NetBEUIもしくはTCP/IPを選択することができます。  
(ホスト名を省略すると、デフォルト名がホスト名になります。ドメイン名とタイムサーバ名は、必要に応じて設定してください。)
5. 工場出荷時はWINSを使用しない設定(プロトコルはNetBEUIがdefaultのため)になっていますが、WINSを使用する場合は、「プロトコル」でTCP/IPを選択してから、WINSのチェックボックスにチェックを入れてください。
6. WINSを使用する場合は、WINSサーバのIPアドレスを入力します(DHCPにチェックしてない場合、またはDHCPにチェックしてあるがWINSサーバのIPアドレスが取得できなかった場合)。  
工場出荷時はLANManagerを使用する設定になっていますが、LANManagerを使用しない場合はチェックボックスのチェックを外します。  
  
工場出荷時はDHCPを使用しない設定になっていますが、DHCPのチェックボックスがチェックされている場合はチェックを外します。
7. IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを入力します。  
入力する値についてはネットワーク管理者にご相談ください。

8. 「設定」をクリックすると、下図の確認メッセージが表示されますので「OK」をクリックします。



9. GW-PS01に設定を送信し、変更内容が書き込まれます。設定の書き込みにはしばらく時間がかかります。書き込みが成功すると、次の設定終了の確認メッセージが表示されます。



10. 設定した内容を有効にするために、GW-PS01の電源をOFF/ONします。れますので「OK」をクリックします。

#### 注意

IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスのみの変更に関しては、GW-PS01の電源を入れ直す必要はありません。設定直後に有効になります。

## 7 LPRint98

LPRint98はMicrosoft Windows95/98/Meで弊社プリントサーバとピア・ツー・ピア印刷を行うためのユーティリティです。インストールを始める前にプリンタドライバをインストールされている事を前提とします。プリンタドライバのインストールの詳細については各プリンタメーカーのマニュアルをご覧ください。

### 【特徴】

1. Windows95/98/Meの標準プリントシステムの一部(ポートモニタ)として動作します。
2. 印刷を開始した時に実行され、印刷が終了すると停止します。
3. 印刷先のポート名を自由に設定し、複数の印刷先をわかりやすく整理できます。
4. 異なる複数のプリンタへ同時に印刷することもできます。
5. プリンタの状態をモニタできます。

## 【概要】

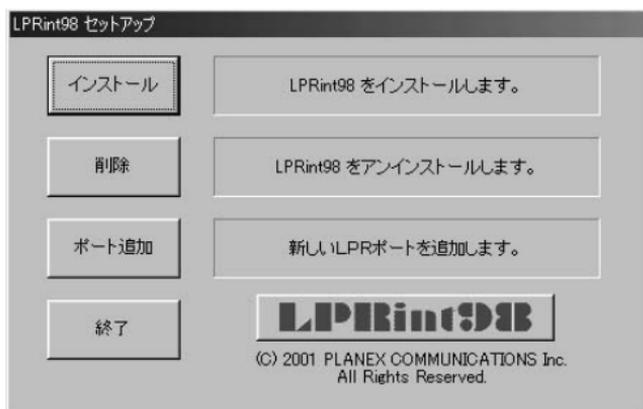
1. LPRint98のインストール
2. ポートの設定
  - 2a. ポートの設定をLPRint98セットアッププログラムで行う場合
  - 2b. ポートの設定をプリンタのプロパティの詳細画面で行う場合
3. ポートの詳細設定
4. ポートの変更
5. ポートの削除
6. 印刷のモニタおよび印刷の中止
7. EPSONインクジェットプリンタへの印刷注意点
8. LPRint98のアンインストール
9. トラブルシューティング

## 7-1. LPRint98のインストール

### ▲ 注意

LPRint98のインストールは他のアプリケーションをすべて終了してから行ってください。

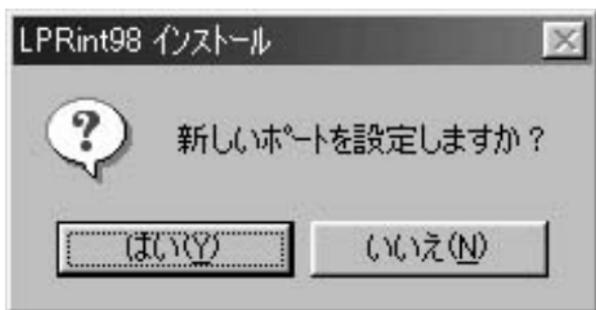
1. LPRint98のインストールは付属のCD-ROMをドライブに挿入します。
2. CD-ROMドライブを選択し、「LPRint98」「Setup.exe」フォルダ内のSetup.exeを選択し、「OK」ボタンをクリックしてください。



3. LPRint98のセットアッププログラムが起動したら、「インストール」ボタンをクリックします。



4. インストールを開始するには「はい(Y)」ボタンをクリックしてください。ファイルコピーがはじまります。



5. ファイルコピーの終了後、「OK」ボタンをクリックしてください。



6. セットアップ完了後、新規にLPRint98ポートを設定することができます。

通常は「はい(Y)」をクリックしてください。

設定方法については「6.6.2.1. ポートの設定をLPRint98セットアッププログラムで行う場合」をご覧ください。

ここでポートを設定しない場合は「いいえ(N)」をクリックしてください。

この場合は「6.6.2.2. ポートの設定をプリンタのプロパティの詳細画面で行う場合」をご覧ください。

**▲ 注意**

「いいえ(N)」をクリックした場合は「LPRint98のセットアップ」ダイアログボックスの「終了」ボタンをクリックしてから、Windows95/98/Meの再起動を行ってください。

## 7-2. ViewCurrentConfiguration (現在の構成の表示)

Windows95/98/Meではプリンタのプロパティの詳細画面で「印刷先のポート」にLPRint98のポートを設定する必要があります。

### ポートの設定をLPRint98セットアッププログラムで行う場合

LPRint98セットアッププログラムで新しいポートを設定します。

1. 「新しいポートを設定しますか？」の画面が表示されていることを確認してください。
2. 「はい(Y)」をクリックすると次の「LPRint98ポート設定」ダイアログボックスが表示されますので、ポートを設定します。



3. 「ポート名」、「IPアドレス/ホスト名」、「出力先」の各項目を入力してください。

#### ポート名

任意の名前を入力してください。

ただし、プリンタのプロパティの詳細画面で「印刷先のポート」で設定済みのポート名と同じ名前は使用しないでください。また以下の半角記号は使用しないでください。

スペース " | "/" | "¥" | "&" | ":" | "="

#### IPアドレス /ホスト名

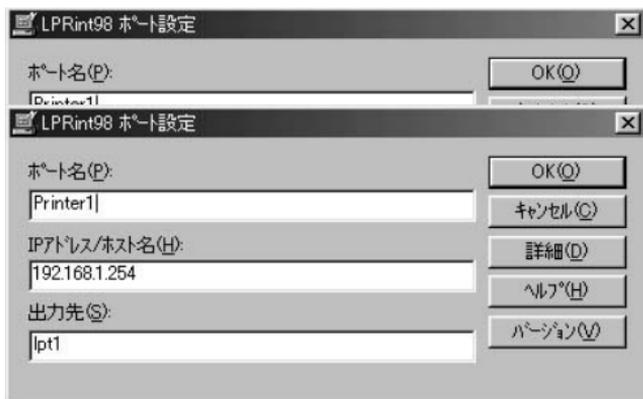
IPアドレスを入力してください。

#### 出力先

lpt1を入力してください。

なお、「詳細」の内容については「6.6.3.ポートの詳細設定」をご覧ください。また、「ヘルプ」、「バージョン」については「6.6.6.印刷のモニタおよび印刷の中止」をご覧ください。

[例] IPアドレスが「192.168.1.254」であり、パラレルポートにプリンタが接続されている場合。



## 6

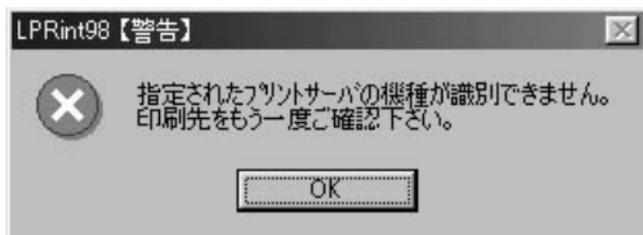
4. 各項目の設定が完了したら「OK」ボタンをクリックしてください。

### ⚠ 注意

「OK」を押して「LPRint98【警告】」ダイアログがWindows95/98/Me画面上に表示される場合、以下が考えられます。

[例] IPアドレスは設定されているが、「LPRint98ポート設定」ダイアログボックス内の「IPアドレス/ホスト名」や「出力先」が間違っていて入力されている場合。

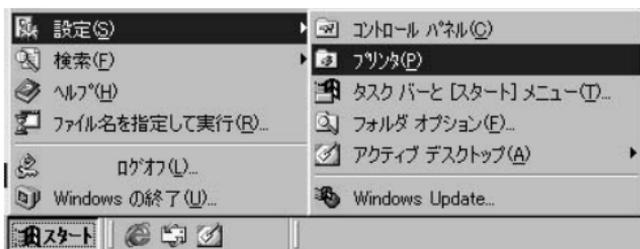
IPアドレスや出力先をもう一度確認してください。



### 注意

この手順ではインストールの続きからポート設定をしています。「LPRint98ポート設定」の各項目の設定が終わり次第、下図が表示されるので「OK」をクリックした後、LPRint98のセットアップ」ダイアログボックスの「終了」ボタンをクリックし、Windows95/98/Meを再起動してください。

5. スタートメニューから「設定」「プリンタ」を選択してください。



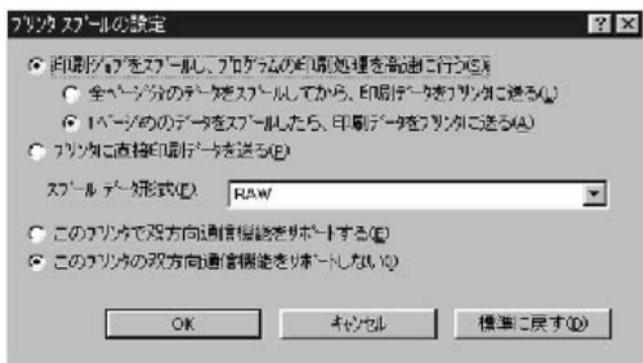
6. 「プリンタ」ウィンドウからLPRint98で出力したいプリンタを選択し、右クリック「プロパティ」を選択してください。



7. 「プロパティ」画面が表示されたら「詳細」タブをクリックし、先ほど設定したLPRint98のポートを「印刷先のポート」で選択してください。

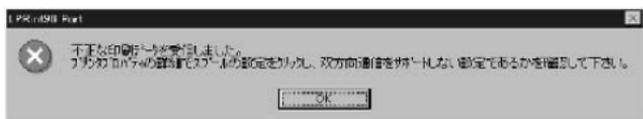


8. 「スプールの設定」ボタンをクリックしてください。以下の画面で「プリンタに直接印刷データを送る」にはチェックしないでください。また、「このプリンタの双方向通信機能をサポートしない」が選択できる場合は、ここにチェックしてください。双方向をサポートしていないドライバでは、グレー表示になり選択できません。



## ▲ 注意

印刷時にLPRint98が起動しない場合、もしくは次のエラーが表示される場合は上記の設定がされていないことが考えられるので、確認してください。



9. 「スプールの設定」ができれば「適用」ボタンをクリックしてください。ポートの設定はこれで終了です。
10. 「情報」タブをクリックし、「印字テスト」ボタンを押し、印刷を確認してください。

## ポートの設定をプリンタのプロパティの詳細画面で行う場合

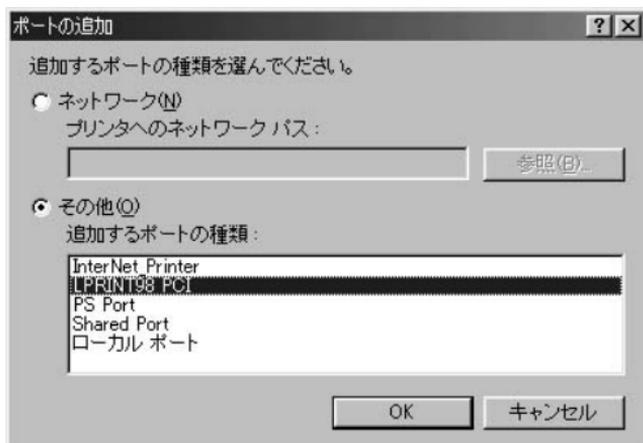
LPRint98のインストール時にポートを設定していない場合でも、プリンタのプロパティの詳細画面からポートを追加もしくは設定変更することができます。

1. プリンタのプロパティの詳細画面を開いてください。
2. 「ポートの追加」ボタンをクリックしてください。
3. 「ポートの追加」画面が表示されたら「その他」のラジオボタンをチェックし、「追加するポートの種類」のリストから「LPRint98」を選択し「OK」ボタンをクリックしてください。

### 注意

LPRint98が表示されていない場合はWindows95/98/Meを再起動してください。

4. 「OK」ボタンをクリックすると「LPRint98ポート設定」ダイアログボックスが表示されます。



5. 「LPRint98ポートの設定」ダイアログボックスの各項目の入力が完了し、「OK」ボタンをクリックした後、プリンタのプロパティの詳細画面の「スプールの設定」ボタンをクリックしてください。
6. プリンタのプロパティの詳細画面に戻ったら「適用」ボタンをクリックしてください。
7. 「情報」タブをクリックし、「印字テスト」ボタンを押し、印刷を確認してください。

## 7-3. ポートの詳細設定



「LPRint98ポート設定」ダイアログボックスの「詳細」ボタンをクリックすると  
次の「LPRint98詳細設定」ダイアログボックスが表示されます。



## 印刷時にモニタ画面を表示する

印刷状況を表示します。

## 印刷終了後にモニタを閉じる

印刷終了後、自動的にモニタを閉じます。

## キュー印刷をする

チェックしない場合

複数のプリンタへの同時印刷時には、複数のモニタが起動し、各プリンタへ同時に送信します。なお、上記の動作中タスクトレイには複数のLPRint98アイコンが表示されます。この結果、複数のプリンタへの同時送信が可能なので、[チェックした場合]よりも早く印刷を終了することができます。この場合、次のように表示されます。

例)3台のプリンタへ同時印刷した場合



チェックした場合  
複数のプリンタへの同時印刷時にも一つのモニタのみ起動し、一つ目のジョブが終了次第、次のジョブの送信を開始します。

例)3台のプリンタへ同時印刷した場合



### ポーリング間隔

“キュー印刷を使用する”にチェックした場合のみ有効となります。

設定可能な範囲は「3～60」(秒)です。

### プリンタのステータスを監視する

チェックすると、モニタ画面にプリンタの状態を表示します。

表示内容は「6.6.6.印刷のモニタおよび印刷の中止」をご覧ください。

### ステータス取得間隔

“プリンタのステータスを監視するを”チェックした場合のみ有効となります。

設定値の間隔で、プリンタの状態を監視します。設定範囲は「5～60」(秒)です。

## 7-4. ポートの変更

設定済みのポートの値を変更する場合は、スタートボタンから「設定」「プリンタ」変更するプリンタの「プロパティ」「詳細」タブの「ポートの設定」ボタンをクリックして「LPrint98ポート設定」ダイアログボックスでポートの項目変更を行ってください。



## 7-5. ポートの削除

1. 「プリンタ」ウィンドウからLPRint98で作成したポートを使用しているプリンタを選択し、右クリック「プロパティ」を選択します。
2. 「プロパティ」画面が表示されたら、「詳細」タブをクリックします。「印刷先のポート」から他のポートを選択し、「適用」ボタン、続いて「ポートの削除」ボタンをクリックします。



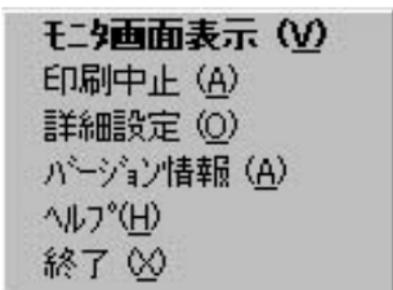
3. 「ポートの削除」画面が表示されたら削除するポートを選んで「OK」ボタンをクリックします。

## 7-6. 印刷のモニタおよび印刷の中止

印刷中タスクトレイに(GW\_PS107.bmp) このアイコンが表示されます。

このアイコンが出ている間はモニタ中です。

上のアイコンを右クリックするとメニューが表示されます。



### モニタ画面表示

選択するとモニタ画面が表示されます。

モニタ画面にはジョブのステータスや、プリンタの状況などが表示されます。



## 注意

「6.7.3.」のポートの詳細設定で「プリンタのステータスを監視する」をチェックしている場合のみ、信号の表示、オンライン/オフライン、用紙の各項目が表示されます。

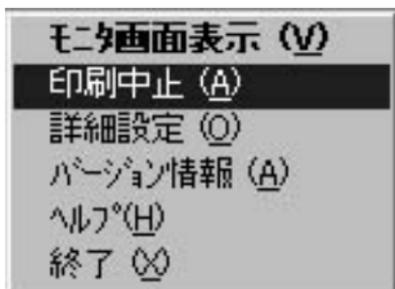
ECP/Nibbleモードで印刷している場合は、オフライン情報/紙切れ情報は取得できません。また、プリンタによっては、オフライン情報/紙切れ情報を取得するのに必要なパラレル信号を出力しないものがあります。

「隠す」ボタンを押すとモニタ画面を消すことができます。メニューの詳細設定で「印刷時にモニタ画面を表示する」をチェックしている場合も印刷時にポップアップします。

### 印刷中止

印刷中のジョブを破棄し印刷を中止することができます。

1. 印刷中に上のアイコンを右クリックすると下図のように表示されます。



2. 「印刷中止」を選択すると下図が表示されます。

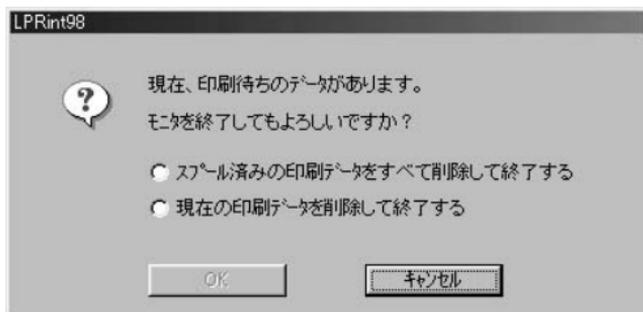


印刷ジョブが複数スプールされている場合は、下図が表示されます。

すべての印刷データを削除するか、現在の印刷データを削除するか選択できます。

### 注意

本機能は、Print98 Ver1.11J以降の対応となります。



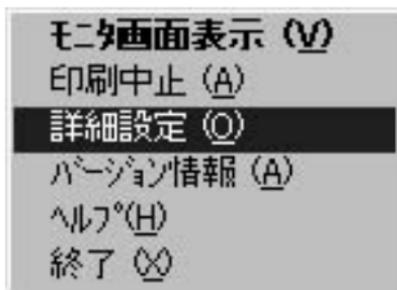
3. 「はい」「OK」ボタンをクリックすると現在実行中の印刷が中止します。キューの中にまだ送信されていない印刷ジョブがある場合は、次の印刷ジョブの送信が始まります。

**注意**

送信済みのデータは破棄されません。

詳細設定

詳細設定画面を表示します。「6.6.3.ポートの詳細設定」をご覧ください。



### バージョン情報

LPRint98のバージョンを表示します。

(「6.7.1.LPRint98のインストール」のLPRint98のセットアッププログラム起動時に表示される以下のボタンをクリックすることからもバージョンを確認することができます。)



### ヘルプ

ヘルプを表示します。

### 終了

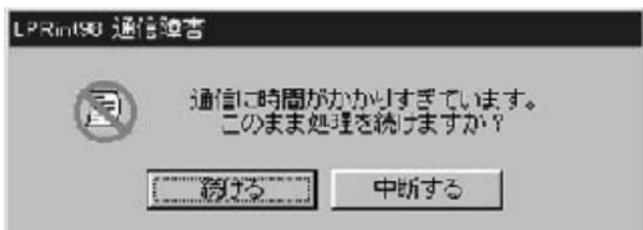
LPRint98を終了します。

また印刷中のジョブは破棄され、印刷は中止されます。

キュー内にまだ送信されていない印刷ジョブがある場合は、次回起動時に送信されます。

## 注意

印刷を実行しスプールしている途中でモニタ画面がオフライン状態になった場合、しばらくすると下図の「LPrint98通信障害」画面が表示されます。



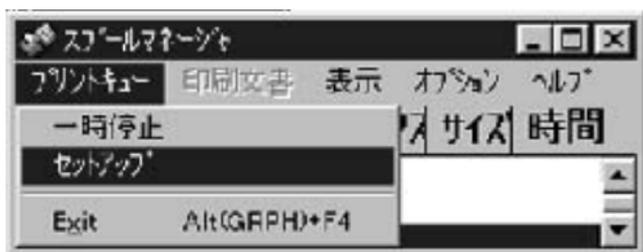
「続ける」ボタンをクリックするとこのまま印刷を続けます。クリックする前にもう一度オンライン状態であるかを確認してください。

「中断する」ボタンをクリックすると印刷を中断します。

## 7-7. EPSONインクジェットプリンタへの印刷注意点

EPSON社製インクジェットプリンタ( PM・MJシリーズなど)へLPRint98を使用して印刷する場合、以下の設定を行ってください。

1. プリンタドライバのインストール後、EPSONスプールマネージャーを起動し、メニューの「プリントキュー」「セットアップ」を選択してください。



2. 「全体」タブの「プリントマネージャーを使用する」にチェックしてください。



なお、EPSON Spool Managerのメニュー表示が無い機種に関しては設定の必要がありません。  
例) MJ-8000C、PM-5000C など。

## 7-8. LPrint98のアンインストール

LPrint98のアンインストールを行います。  
ただし、LPrint98が起動している場合は行えませんのでLPrint98を予め終了してください。

1. 「6.7.1.」のLPrint98のセットアッププログラム起動時に表示される「削除」ボタンをクリックします。
2. LPrint98のアンインストールプログラムが起動したら画面の内容に従って操作をしてください。

## 7-9. トラブルシューティング

1. 「通信に失敗しました。」画面が表示される。  
以下の点が原因で表示されます。

本体の電源がOFFになっている  
無線の設定がご使用環境に合っていない

この場合、モニタ画面はオフライン状態となります。



「通信に失敗しました。」画面の「OK」ボタンをクリックすると次のエラー画面が表示されます。

2. 「指定されたターゲットは使用できません。」画面が表示される。

以下の点が原因で表示されます。

Windows95/98/Me上のネットワークコンピュータの「プロパティ」に「TCP/IP」プロトコルが追加されていない。  
Windows95/98/Me上のネットワークコンピュータの「プロパティ」で「IPアドレスを指定」にチェックされていない。  
パソコンにネットワークカード/無線カードが挿入されていない。



「OK」ボタンをクリックした後、もう一度、本体がONになっているか、通信できるかなど上記の点を確認して訂正してから印刷をしてください。

### 3. 特定のアプリケーションから印刷できない。

ポート名に使用できない特殊文字を入力している可能性があります。ポート名に英数字のみを入力してください。

## その他

**本**の章では、これまでに触れなかった事項について説明します。

### 1 DHCPでの使用方法

GW-PS01は、DHCPサーバからIPアドレスを自動取得することができます。これにより、面倒なIPアドレスの管理を簡単にすることができます。GW-PS01をDHCPで使用する場合、

GW-PS01本体の設定

DHCPサーバの設定

が必要です。起動時にサーバからIPアドレスを取得する方法としてRARP、BOOTPがありますが、DHCPとRARP、BOOTPは異なります。

#### 注意

起動時にサーバからIPアドレスを取得する方法としてDHCP、RARP、BOOTPがありますが、RARP/BOOTPの場合はサーバが起動していない場合は前回起動したIPアドレスにて起動しますが、DHCPを有効時にDHCPサーバが起動していない場合は、定期的にDHCPサーバへのリクエストパケットを送出して、TCP/IPによる通信は行えませんのでご注意ください。動作IPアドレスの決定方法につきましては、「3.1.4 動作IPアドレスの決定手順」を参照ください。

DHCPでGW-PS01を使用する場合はDHCPサーバの設定時にGW-PS01のIPアドレスを必ず予約してください。

DHCPを使用するとIPアドレスの管理が簡単になりますが、各DHCPクライアントが使用するIPアドレスが固定ではなくなります。GW-PS01を使用する場合、GW-PS01のIPアドレスが変わると印刷をするクライアントの設定変更が必要になる場合があります。

このような事態を避けるため、DHCPサーバにIPアドレスの予約ができるようになっていました。IPアドレスの予約が必要になりますので、DHCPサーバの設定時にGW-PS01のIPアドレスを予約してください。

詳細は、「7.1.4. DHCPサーバの設定」をご覧ください。

### 注意

ネットワーク上にWINSサーバが存在し、WINSによる名前解決を行える環境でかつGW-PS01のLANManager設定でWINSがEnableに設定されていてDHCPがEnableの場合にのみIPアドレスの予約を行う必要はありません。

ただし、LPR印刷を行う場合に指定するサーバの名前は、GW-PS01のLANManagerのホスト名を必ず入力してください（IPアドレスを指定されるとDHCPで取得したIPアドレスと異なる場合には通信が行えないため）。

WINSの詳細につきましては、「7.3. WINSでの使用方法」、LANManagerに関しましては、「5.1.1. GW-PS01本体の設定」をご参照ください。

## 1-1. DHCP概要

DHCP( Dynamic Host Configuration Protocol )は、IPアドレスの設定を簡単に集中管理する事を可能にしたプロトコルです。TCP/IPを使用する場合に設定できます。

GW-PS01でTCP/IPを使用しない場合は設定しないでください。

DHCPをサポートする機器には、IPアドレスをリース(貸与)するDHCPサーバと、DHCPサーバからIPアドレスのリース(貸与)を受けるDHCPクライアントがあります。GW-PS01はDHCPクライアントとして動作します。

DHCPクライアントは、起動時にDHCPサーバを自動的に探します。このとき、複数のDHCPサーバが存在すると、その中から1つのサーバを選択し、IPアドレスのリースを受けます。複数のDHCPサーバが存在した場合、GW-PS01は前回使用していたIPアドレスに近いIPアドレスを提供してくれるDHCPサーバを選択します。この方法により、GW-PS01は可能な限り前回と同じIPアドレスを使用します。

DHCPサーバは、GW-PS01からの要求により、管理しているIPアドレスの中から空いているIPアドレスを適当に選択してリースします。

よって、GW-PS01にどのIPアドレスが割り当てられるかは分かりません。

GW-PS01を使用する場合、GW-PS01のIPアドレスが変わると印刷をするクライアントの設定変更が必要になる場合があります。このような事態を避けるためにGW-PS01のIPアドレスを必ず予約してください。詳細設定は「7.1.4.1. IPアドレスを予約する場合」をご覧ください。

 **注意**

ネットワーク上にWINSサーバが存在し、WINSによる名前解決を行える環境でかつGW-PS01のLANManager設定でWINSがEnableに設定されていてDHCPが有効の場合にのみIPアドレスの予約を行う必要はありません。ただし、LPR印刷を行う場合に指定するサーバの名前は、GW-PS01のLANManagerのホスト名を必ず入力してください(IPアドレスを指定されるとDHCPで取得したIPアドレスと異なる場合には通信が行えないため)。WINSの詳細に関しましては「7.3. WINSでの使用方法」、LANManagerに関しましては、「5.1.1. GW-PS01本体の設定」をご参照ください。

GW-PS01のLANManager機能を有効にすれば、Windows95/98/Me/NTなどから印刷する場合、IPアドレスではなくホスト名での指定が可能になります。この場合は、IPアドレスの予約は不要です。この場合には、LPR設定を行ってあるプリンタをLANManager設定にする必要があります。

 **注意**

DHCPプロトコルはルータを介したネットワークにもアクセスできます。分割管理されているネットワークでは、意図しないDHCPサーバにアクセスする場合があります。ルータを使用している場合は、ルータのBOOTPリレーエージェントの設定をご確認ください。

GW-PS01は、IPアドレスを取得できなかったり、DHCPサーバがリースするIPアドレスのリースタイム(有効期間)が切れてしまった場合、GW-PS01付属のWindows用ユーティリティWIP\_SET.EXEとの通信以外全てのTCP/IP通信ができなくなります。

## 1-2. 設定概要

GW-PS01のDHCP機能を使用するにはDHCPサーバが必要です。

DHCPサーバは、WindowsNT Serverを使用できます。WindowsNT Serverのインストール時にDHCPサーバを選択すると、DHCPサーバ機能がインストールされます。

## 1-3. GW-PS01 本体の設定

GW-PS01本体にDHCPを使用する設定をします。設定の方法は「3.1.2. Windows用ユーティリティWIP\_SETでの設定」および「第6章 設定ユーティリティの使用方法」をご覧ください。

## 1-4. DHCPサーバの設定

WindowsNT4.0 ServerをDHCPサーバとして設定します。WindowsNT4.0 Server以外をDHCPサーバとして設定する場合は、基本的な設定項目はほぼ同じですが操作が異なりますので、ご使用のシステムのマニュアルを参照して設定してください。

ここでは、WindowsNT4.0 ServerにDHCPサーバ機能がインストールされている状態を前提として説明します。DHCPサーバ機能がインストールされていない場合は、DHCPサーバ機能をインストールしてください。

すでにDHCPサーバを設定し、運用されている場合は、DHCPサーバ上に新たなスコープを作成する必要はありません。「スコープの作成」は読み飛ばしてください。

ネットワーク上にWINSサーバが存在し、WINSによる名前解決を行える環境でかつGW-PS01のLANManager設定でWINSがEnableに設定されていてDHCPが有効の場合にのみIPアドレスの予約を行う必要はありません。この場合は、「7.1.4.2. WINSの解決にDHCPを使用する」を参照ください。

### 注意

DHCPの設定に関する詳細は、WindowsNT4.0のリソースキットなどの解説書をご参照ください。

## IPアドレスを予約する場合

ここでは、WindowsNT4.0 ServerにDHCPサーバの設定を行う方法の概要を説明します。

### 注意

DHCPサーバの設定を行う方法に関する詳細は、NT4.0のリソースキットなどの解説書をご参照ください。

### DHCPサーバへのログイン

WindowsNT4.0 ServerにAdministrator(または同等権限のユーザ)でログインします。

### DHCPマネージャの確認及び起動

「スタート」「プログラム」「管理ツール(共通)」「DHCPマネージャ」があることを確認して、実行してください。

DHCPマネージャがインストールされていない場合はDHCPサーバ機能をインストールしてください。DHCPサーバ機能は、WindowsNT Serverのパッケージに標準で含まれますが、インストール方法によってはインストールされない場合があります。WindowsNT Serverのインストールマニュアルを参照し、DHCPサーバ機能をインストールしてください。

### スコープの作成

1. DHCPサーバーリストの「ローカルマシン」を選択し、メニューバーの「スコープ」から「作成」を選択します。

2. 開始アドレス、終了アドレス、サブネットマスク、リース期間を入力します。

開始アドレスと終了アドレスは任意ですが、サブネットワーク番号(アドレスとサブネットマスクの論理積)を同じにする必要があります。

開始アドレスから終了アドレスまでのアドレスが、DHCPクライアントにリースされます。同時に使用するDHCPクライアントの数よりも多くなるようにしてください。

サブネットマスクは、WindowsNT4.0 Serverに設定してあるものと同じものを指定してください。

3. 「OK を押すとアクティブにするかどうかを聞いてくるので、「はい」を押します。

#### IPアドレスの予約

1. DHCPマネージャで作成したスコープを選択し、メニューバーの「スコープ」から「予約の追加」を選択します。

2. IPアドレス、一意のID、クライアント名を入力します。

IPアドレス ……………スコープ内で任意の数値を指定します。

一意のID ……………GW-PS01底面ラベルのMACアドレスを指定します。(「0090CCxxxxxx」のような12桁の英数字です。)

クライアント名 ……GW-PS01に設定したホスト名です。LANManagerを使用しない場合は、GW-PS01底面ラベルの「PSxxxxxx」というデフォルト名を指定してください。

3. 「追加」をクリックするとIPアドレスが予約されます。予約されたIPアドレスは、次の「アクティブリースの確認」で参照できます。

#### アクティブリースの確認

DHCPサーバがDHCPクライアントにIPアドレスをリースしている状況を、DHCPマネージャで確認できます。DHCPサーバがリースできるIPアドレスの数よりDHCPクライアントの数が多い場合は、IPアドレスのリースを受けられないDHCPクライアントが発生する場合があります。

GW-PS01本体の設定をした後GW-PS01を再起動すると、このアクティブリースでどのIPアドレスがリースされているかを確認できます。

1. 作成したスコープを選択します。
2. メニューバーの「スコープ」から「アクティブリース」を選択します。
3. アクティブリースの表示は、状況により変わります。以下は代表的な場合の例です。



## スコープ作成直後のアクティブリースがない状態



## 7

## IPアドレスが予約された状態



## IPアドレスがリースされた状態

## WINSの解決にDHCPを使用する

ネットワーク上にWINSサーバが存在し、WINSによる名前解決を行える環境でかつGW-PS01のLANManager設定でWINSがEnableに設定されていてDHCPが有効の場合にのみIPアドレスの予約を行う必要はありません。

ここでは、この場合にWindowsNT4.0 Server DHCPマネージャでの必要な設定の概要を説明します。

### 注意

DHCPマネージャの設定を行う方法に関する詳細は、NT4.0のリソースキットなどの解説書をご参照ください。

すでにDHCPサーバを設定し、運用されている場合は、DHCPサーバ上に新たなスコープを作成する必要はありません。必要な場合は、「7.1.4.1. IPアドレスを予約する場合」の「DHCPサーバへのログイン」から「スコープの作成」までを参考にしてください。

ここからの説明は、予めスコープを作成されているものとして進めさせていただきます。

### DHCPサーバへのログイン

WindowsNT4.0 ServerにAdministrator(または同等権限のユーザ)でログインします。

DHCPサーバのサービス起動確認  
コントロールパネル」の「サービス」をダブルクリックして  
「Microsoft DHCP Server」が起動されていることを確認して  
ください。



## DHCPマネージャの起動及び設定

1. 「スタート」「管理ツール(共通)」「DHCPマネージャ」を実行します。実行するとDHCPマネージャの画面が表示されます。そこで、「DHCPオプション」「スコープ」を実行します。



2. 「DHCPオプションスコープ」が起動したら、「使用しないオプション」の中から「044 WINS/NBNSサーバ」を選択し、「追加」ボタンをクリックします。その際に、下記のメッセージが表示されますが、そのまま「OK」ボタンを押してください。「値」ボタンをクリックし、「配列の編集」ボタンをクリックしてください。「IPアドレス配列エディタ」が表示されますので、「新しいIPアドレス」の欄にWINSサーバのIPアドレスを入力して、「追加」ボタンをクリックしてから「OK」ボタンをクリックしてください。「DHCPオプションスコープ」の画面に戻りますので、「使用しないオプション」の中から「046 WINS/NBTノードタイプ」を選択し、「追加」ボタンをクリックします。「バイト」欄に、「0x8」を入力して「OK」ボタンをクリックしてください。



## 7

## その他

3. 「DHCPマネージャ」画面が下記の例のように表示されれば、設定は終了です。



#### GW-PS01の本体設定及び確認

GW-PS01の本体設定で、DHCP及びWINSをEnableにして起動し、GW-PS01がDHCPにてIPアドレスが取得できること及びWINSサーバのIPアドレスがDHCPサーバから取得できることを確認ください。DHCPのアクティブリースに関しては、「7.1.4.1 IPアドレスを予約する場合」のアクティブリースを参考にしてください。また、GW-PS01の本体設定の及び確認方法は「3.1.2. Windows用ユーティリティ WIP\_SETでの設定」および「第6章 設定ユーティリティの使用方法」をご覧ください。

## 1-5. DHCP使用上の注意

1. GW-PS01のDHCP機能をONにした場合、DHCPサーバからIPアドレスがリリースされるまでTCP/IPは使用できなくなります。IPアドレスの数が足りない場合やDHCPサーバが存在しない場合は、GW-PS01からTCP/IPプロトコルを使用した印刷はできません。

### 対策

DHCPサーバを立ち上げる。

DHCPサーバのスコープを追加・変更して、使用できるIPアドレスの数を増やす。

2. DHCPクライアントは、DHCPサーバからIPアドレスがリリースされるまでTCP/IPは使用できません。クライアントPCがDHCP機能を使用していると、IPアドレスの数が足りない場合や、DHCPサーバが存在しない場合に、TCP/IPプロトコルを使用できなくなる場合があります。

### 対策

DHCPサーバを立ち上げる。

DHCPサーバのスコープを追加・変更して、使用できるIPアドレスの数を増やす。

3. DHCPプロトコルは動的にIPアドレスをリースしますが、DHCPクライアントが動作中にIPアドレスが頻繁に変わるわけではありません。DHCPクライアントは、リース期限前に更新手続きを行い、可能な限り同じIPアドレスを使用し続けようとします。動作中にIPがよく変わる現象が発生した場合は、ネットワーク構成を点検してください。

 **対策**

ネットワーク接続機器の、故障、ケーブルの断線・接触不良などがないか点検する。

DHCPサーバでリースされているIPアドレスの数が十分か確認する。

DHCPサーバが正常に動作しているか確認する。

GW-PS01およびアクセスポイントなどの無線の設定が合っているか確認する。

4. GW-PS01のDHCP機能をONにした状態では、ARPコマンドとPINGコマンドを使用したIPアドレスの設定ができなくなります。

 **対策**

GW-PS01をDHCPサーバの存在しないネットワークに移設する際は、DHCP機能をOFFにしてから移設する。

WIP\_SETユーティリティを使用する(DHCPの設定に関係なく使用可)。

## 5. GW-PS01の使用IPアドレスが変わると印刷できなくなる場合があります。

### 対策

DHCPサーバにGW-PS01のIPアドレスを予約する。

### 注意

ネットワーク上にWINSサーバが存在し、WINSによる名前解決を行える環境でかつGW-PS01のLANManager設定でWINSがEnableに設定されていてDHCPが有効の場合にのみIPアドレスの予約を行う必要はありません。ただし、LPR印刷を行う場合に指定するサーバの名前は、GW-PS01のLANManagerのホスト名を必ず入力してください( IPアドレスを指定されるとDHCPで取得したIPアドレスと異なる場合には通信が行えないため)。WINSの詳細に関しましては「7.3. WINSでの使用方法」、LANManagerに関しましては、「5.1.1. GW-PS01本体の設定」をご参照ください。

## 2 SNMPについて

GW-PS01はネットワーク管理プロトコルのSNMPに対応しており、SNMPマネージャソフトウェアにより管理することができます。

GW-PS01は以下の標準に従います。

SNMPバージョン	SNMPv1 (RFC1157) 準拠 (SNMPv2には対応していません)
トランスポートプロトコル	UDP/IP
コミュニティ名	Read-Onlyコミュニティ名 及びRead-Writeコミュニティ名を設定可
対応MIB	MIB- (RFC-1213)の一部 Private MIBの一部

HP Private MIBの一部

対応PDU	GetRequest、GetNextRequest、 SetRequest、GetResponse
-------	--

SNMPでの管理方法については、各SNMPマネージャソフトウェアの操作マニュアルをご覧ください。

### 参考

GW-PS01は、SNMPのコミュニティ名を使用して「PrintAdmin」にて設定及び管理が行えます。

### 3 WINSでの使用方法

GW-PS01は、WINS(Windows Internet Name Service)がサポートされている環境で、コンピュータ名による名前解決(コンピュータ名でIPアドレスを解決するためのメカニズム)を行うことが可能です。WINSをサポートしている環境では、GW-PS01のLANManager設定でWINSを有効にすることでGW-PS01が起動時にWINSデータベースにホスト名とそのIPアドレスが自動的に登録され、ネットワーク内での名前の重複をさけることを可能にします。

また、下位プロトコルはTCP/IPを使用しているのでルータを経由しない印刷だけでなく、ルータを越えた印刷も可能となります。GW-PS01をWINSで使用する場合、

GW-PS01本体の設定  
WINSサーバの設定  
クライアントの設定

が必要です。

また、DHCPを使用してGW-PS01のIPアドレスを取得する場合には、WINSと組み合わせて使用することによりIPアドレスを予約する必要がありません。DHCPでの使用方法の詳細は、「7.1.DHCPでの使用方法」をご参照ください。

#### 注意

LPRを使用して印刷を行う場合は、LPR印刷の設定はGW-PS01のLANManagerで設定されているホスト名を設定する必要があります。LANManagerに関しましては、「5.1.1. GW-PS01本体の設定」をご参照ください。

### 3-1. WINS概要

WINS(Windows Internet Name Service)は、コンピュータ名(NetBIOS名)とIPアドレスの両方を一意にすることにより、コンピュータ名による名前解決(コンピュータ名をIPアドレスに解決するためのメカニズム)を実現します。

これにより、Windows95/98/Me/NT4.0/2000のセットアップ時に定義されたコンピュータ名を使用した操作が実現されるので、ユーザはIPアドレスを意識しなくてもTCP/IPネットワークを構築することが可能になります。

### 3-2. 設定概要

GW-PS01のWINS機能を使用するにはWINSサーバが必要です。

WINSサーバは、WindowsNT4.0/2000 Serverを使用できます。WindowsNT4.0/2000 ServerにWINSサーバサービス/Windowsインターネットネームサービスを組み込むことで使用できます。

また、WINSを使用してLPR印刷を行うためには、Windows95/98/Me/NT4.0/2000のクライアントにてWINSによる名前解決を有効にし、WINSサーバのIPアドレスを設定する必要があります。

#### 注意

WINSの設定に関する詳細は、WindowsNT4.0/2000のリソースキットなどの解説書をご参照ください。

## Windowsインターネットネームサービスの組み込み

ここでは、WindowsNT4.0 ServerにWindowsインターネットネームサービスの組み込み方法の概要を説明します。Windows2000 ServerにWindowsサーバサービスを組み込む方法に関しましては、WindowsNT2000のリソースキットなどの解説書をご参照ください。

### 注意

WINSインターネットネームサービスの組み込み方法に関する詳細は、WindowsT4.0/2000のリソースキットなどの解説書をご参照ください。

### Windowsインターネットネームサービスの組み込み方法

1. WindowsNT4.0 ServerにAdministrator(または同等権限のユーザ)でログインします。
2. 「コントロールパネル」の中の「ネットワーク」をダブルクリックして「サービス」を選択します。

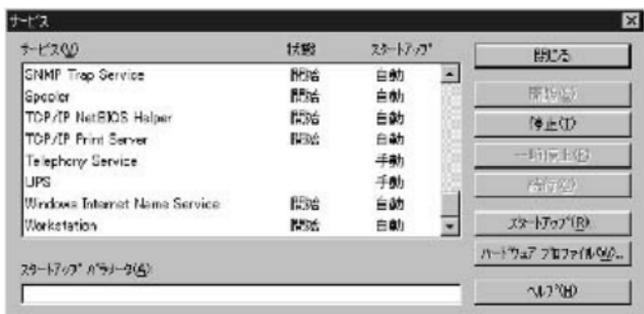
3. 追加 (A) ボタンを押して、ネットワークサービスの選択画面が表示されますので「Windowsインターネットネームサービス」を選択してOKボタンを押してください。



4. 「サービス」の中に、「Windowsインターネットネームサービス」が組み込まれたことを確認して、OKボタンを押してください。  
「ネットワーク設定の変更」画面が表示されたら、「再起動」ボタンをクリックします。



5. 再起動した後に、「コントロールパネル」の「サービス」をダブルクリックして「Windowsインターネットネームサービス」が起動されていることを確認してください。



## 7 注意

Windowsインターネットネームサービスを使用するためには、TCP/IPプロトコルが組み込まれている必要があります。

### 3-3. GW-PS01 本体の設定

GW-PS01本体にWINSを使用する設定をします。設定の方法は「3.1.2. Windows用ユーティリティWIP\_SETでの設定」および「第6章 設定ユーティリティの使用方法」をご覧ください。

### 3-4. クライアントの設定

GW-PS01に対してWINSによる名前解決を行うためには、クライアントPCにも設定が必要です。WINSによる名前解決を有効にし、利用するWINSサーバのIPアドレスを設定する必要があります。

Windows95/98/Meの設定

1. 「コントロールパネル」「ネットワーク」をダブルクリックし、TCP/IPプロトコルを選択してプロパティを開きます。

7

その他

3. 「WINS設定」のタブをクリックし、「WINSの解決をする」にチェックを入れて、WINSサーバのIPアドレスを設定します。DHCPサーバよりWINSサーバのIPアドレスを取得する場合は、「WINSの解決にDHCPを使う」にチェックを入れます（ただし、DHCPが有効の場合のみ設定可能です）。



#### WindowsNT4.0の設定

1. 「コントロールパネル」「ネットワーク」をダブルクリックし、「プロトコル」タブをクリックし、TCP/IPプロトコルを選択してプロパティを開きます。

2. 「WINSアドレス」のタブをクリックして、プライマリWINSサーバのIPアドレスを設定します。



#### Windows2000の設定

1. 「コントロールパネル」「ネットワークとダイヤルアップ接続」をダブルクリックし、「ローカルエリア接続状態」を開きます。
2. プロパティボタンをクリックして「ローカルエリア接続のプロパティ」を開きます。
3. コンポーネントから「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択してプロパティボタンをクリックし、「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」を開きます。
4. 詳細設定ボタンをクリックして「TCP/IP詳細設定」を開き「WINS」タブを開きます。

## 5. 追加ボタンをクリックしてWINSアドレスを設定します。



7

その他

### 3-5. WINSサーバの管理

Windowsインターネットネームサービスの組み込み時に、プログラムグループの「管理ツール(共通)」グループに、WINSマネージャのアイコンが追加されます。

WINSマネージャを使用して、ネットワーク上のどのWINSサーバのパラメータでも表示し変更することができます。

#### 注意

WINSマネージャを使用して、WINSサーバの構成を行うには、WindowsNT4.0 ServerにAdministrator(または同等権限のユーザ)でログインしている必要があります。

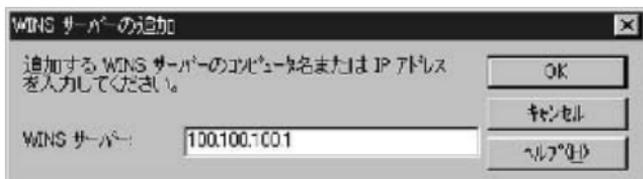
#### WINSマネージャの起動

1. WindowsNT4.0 ServerにAdministrator(または同等権限のユーザ)でログインします。
2. 「スタート」「管理ツール(共通)」「WINSマネージャ」を実行します。  
実行するとWINSマネージャの画面が表示されます。

#### 注意

WINS起動時に、Windowsインターネットネームサービスが実行されていない場合には、「WINSサーバの追加」ダイアログボックスが表示されます。

3. 管理したいWINSサーバに接続するために、「サーバ」「WINSサーバの追加」を実行し管理したいWINSサーバのIPアドレス/コンピュータ名を入力しOKボタンを押します。

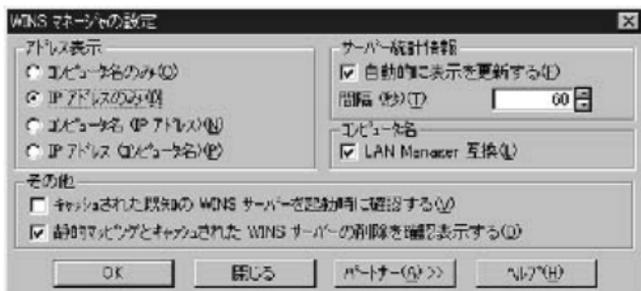


4. 管理したいWINSサーバに正常に接続されると下記のように表示されます。



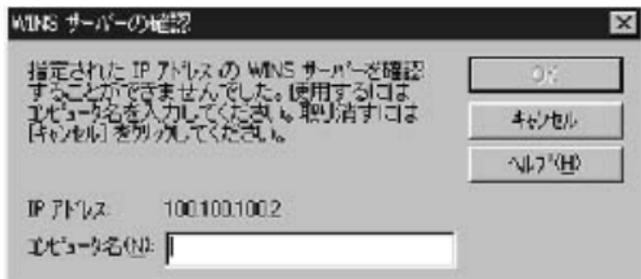
## ⚠ 注意

WINSサーバの表示方法は、「オプション」「設定」のアドレス表示の項目によってIPアドレス/コンピュータ名の切り替えが可能です。



## ⚠ 注意

WINSサーバと正常に接続できない場合は下記メッセージが表示されますのでWINSサーバが起動しているかどうか/通信に問題がないかどうかなどをご確認ください。



## 5. 管理したいWINSサーバのデータベースに、GW-PS01が登録されることを確認します。

確認するためには、「マッピング」「データベースの表示」を実行します。



7

その他

### 注意

WINSサーバのデータベースに登録されるまでには、最低60秒かかります。また、マッピングは動的(属性がAのとき = 静的マッピングを行っていない場合)に変化しますのでGW-PS01が起動していない場合などはマッピングに表示されなくなります。

GW-PS01のLANManager設定で、WINSをEnableに設定しWINS SERVER IPが設定されている必要があります。LANManagerにしましては、「5.1.1. GW-PS01本体の設定」をご参照ください。WINS SERVER IPをDHCPにて取得する場合には、「6.1.4.2. WINSの解決にDHCPを使用する」をご参照ください。

## 4 Web JetAdmin対応

GW-PS01は、Hewlett-Packard Company製のネットワークプリンタ設定管理ユーティリティWeb JetAdminを使用して、HP LaserJetプリンタへの設定及びステータス監視が行えます。その他のプリンタへ接続した場合は、GW-PS01の情報(一部)を参照できます。

Web JetAdminの使用方法は、Web JetAdminのマニュアルを参照ください。

### 対応プリンタ

HP LaserJet4000/5000/8000Series

### GW-PS01に必要な設定

1. TELNET、ブラウザ、SetupWizard、PrintAdminなどの設定ユーティリティにてJETADMINをEnableにしてください(工場出荷時設定はDisable)。
2. TELNET、ブラウザ、SetupWizard、PrintAdminなどの設定ユーティリティにてPARALLEL SUPPORT PARALLEL MODEをECP又はAUTOにしてください(工場出荷時設定はAUTO)。

### 注意

1のみ設定してある場合は、Web JetAdminにてGW-PS01の情報参照しが行えません。また、1及び2を設定した場合でも、HP LaserJet4000/5000/8000SeriesとECPモードで接続されていない場合、及びその他のプリンタと接続されている場合はプリンタの設定、及びステータス監視は行えません。ECPモードで接続するためには、プリンタの電源投入後にGW-PS01の電源を入れる必要があります。

プリンタに必要な設定  
プリンタの双方向パラレル通信を有効にしてください。

[ 設定例 ]HP LaserJet5000の場合  
「I/Oメニュー」「パラレルアドバンスキノウ=オン」

## ⚠ 注意

プリンタのコントロールパネルがロックされている場合及びパスワードの設定がされている場合は、Web JetAdminにて接続できません。この場合は、Hewlett-Packard Company製プリントサーバJetDirectにて、設定を変更する必要があります。変更方法につきましては、JetDirect付属のマニュアルを参照ください。

Web JetAdminの使用方法は、Web JetAdminのマニュアルを参照ください。

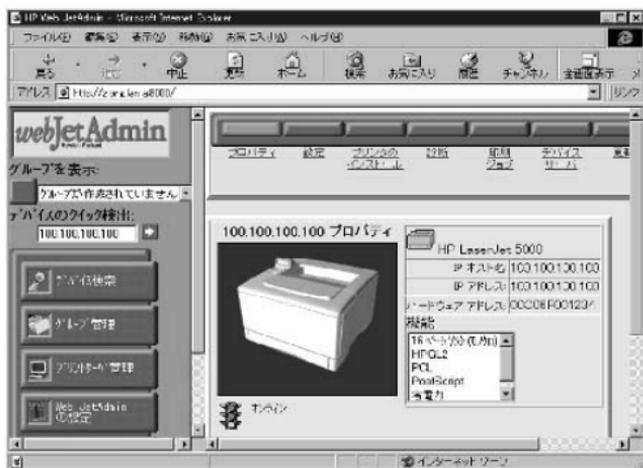
## 7

## 👉 参考

接続例

Web JetAdminを使用して、GW-PS01に接続されたHP LaserJet5000のステータスを取得した例

< Web JetAdmin例 >



# 故障診断

## 1 設定ユーティリティ

GW-PS01の故障診断は、TCP/IP環境の方はTELNETで、NetWare環境の方はテスト印刷で、EtherTalk環境の方はMAC用セットアップユーティリティでエラーコードを見ることが行えます。詳細は、「第6章 設定ユーティリティの使用法」をご覧ください。

## 2 テストスイッチ

### 設定の印刷

GW-PS01には本体側面にテストスイッチがあります。このスイッチを押すことにより、GW-PS01に接続されたプリンタに、GW-PS01本体に設定された内容を印刷することができます。

GW-PS01の電源が入っていて、GW-PS01に接続されたプリンタが印刷可能(オンライン)な状態でテストスイッチを押してください。

印刷された内容が、お客様の設定した内容になっているか確認してください。

### 注意

印刷データはテキスト(ASCII)データですので、一部のプリンタでは、正常に印刷されない場合があります。

### 設定の初期化

テストスイッチを押しながらGW-PS01の電源を入れ、そのまま15秒以上テストスイッチを押し続けると、GW-PS01本体内部の設定は工場出荷時のデフォルト設定に戻ります。トラブルの原因が不明で、初めから設定をやり直したい場合にご利用ください。

#### 注意

デフォルト設定

工場出荷時の状態は、第6章の表6-2をご覧ください。

## 3 テクニカルサポートコール

GW-PS01に係わる技術的なトラブルが発生し、トラブルの原因がわからない場合には、本書巻末の「GW-PS01 FAX テクニカルサポート シート」に必要事項をご記入の上、シートに書かれた送信先にFAXしてください。サポートにつきましては、「はじめに」の「サポートについて」をご覧ください。

# バージョンアップ

B

バージョンアップ

GW-PS01は内部にフラッシュROMを搭載していますので、弊社のインターネットホームページ( Webサイト )からのプログラムモジュールを入手することにより、ファームウェアプログラムのバージョンアップが簡単に行えるようになっています。

バージョンアップはバージョンアップユーティリティで行うか、ブラウザを使用して、ネットワーク経由でバージョンアップディスクのプログラムをGW-PS01にダウンロードします。

詳しくは弊社のインターネットホームページをご覧ください。

バージョンアップを行う前に現在のバージョンをTELNET、テスト印刷、MAC用セットアップユーティリティ等で確認してください。

## 注意

バージョンアップに関する情報は、弊社のインターネットホームページでご案内しております。

## バージョンアップユーティリティ(Windows版)でのバージョンアップ方法

弊社ホームページより、プログラムをダウンロードして添付されている、バージョンアップユーティリティを起動し、バージョンアップ対象のGW-PS01のIPアドレスを指定して、バージョンアップを行います。

### B

### バージョンアップ

# 製品仕様

## 一般仕様

### 本体

< LAN インターフェース >

IEEE802.11b

< プリンタインターフェース >

Parallel D-sub 25pin (IEEE1284準拠)

< 供給電量 >

AC100 ~ 240V  $\pm$  10% (50/60 Hz)

< 外形寸法 >

148 x 124 x 30 [ mm ]

< 重量 >

250g

< 消費電力 >

MAX 5W

< 使用周囲温度範囲 >

5 ~ 40

< 保存周囲温度範囲 >

-10 ~ 60

< 規格 >

VCCI class B

< 通信可能範囲 >

屋外/最大350m( 2Mbps ) / 200m( 11Mbps )

屋内/最大70m ( 2Mbps ) / 30m( 11Mbps )

< 転送速度 >

1 / 2 / 5.5 / 11Mbps( 自動切換え )

< セキュリティ >

WEP 40bits 符号化

### ネットワーク

< 通信方式 >

Ad-hoc , infrastructure

< 無線規格 >

IEEE 802.11b

### 無線

< 使用帯域 >

2.471 ~ 2.497( Japan ) ( CH1 ~ CH14 )

< 変調方式 >

Direct Sequence Spread Spectrum( DS-SS )

< Modulation Techniques >

CCK , BPSK , QPSK

< Sensitivity >

Min.-80dBm at 2Mbps/Min.-78dBm at 11Mbps

## ユーザー登録について

この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。弊社では製品をお買い上げいただいたお客様にユーザー登録をお願いしております。ユーザー登録を行っていただいたお客様には新製品情報、バージョンアップ情報、キャンペーン情報等さまざまな情報を提供させていただきます。また、製品の故障等でユーザーサポートをお受けになるにはお客様のユーザー登録が必要となります。ぜひユーザー登録を行ってくださいますようお願いいたします。

ユーザー登録は下記弊社インターネットホームページ上で受け付けております。ユーザー登録を行って戴いたお客様の中から毎月抽選でプレゼントを差し上げております。

<http://www.planex.co.jp/user/user.htm>

## 質問表

技術的なご質問は、この2ページをコピーして必要事項をご記入の上、下記FAX番号へお送りください。

プラネックスコミュニケーションズテクニカルサポート担当行

**FAX : 03-5614-1018**

送信日 : \_\_\_\_\_

会社名			
部署名			
名前			
電 話		F A X	
E-MAIL			

製品名 Product name.	ワイヤレスプリントサーバ
型番 Product No.	<b>GW-PS01</b>
製造番号 Serial No.	

### ご使用のコンピュータについて

メーカー	
型番	

### ソフトウェア

ネットワーク OS	バージョン
OS	バージョン



# 保証規定

プラネックスコミュニケーションズ(株)は、本製品についてご購入日より本保証書に記載の保証期間を設けております。

本製品付属の取扱説明書などに従った正常な使用状態の下で、万一保証期間内に故障・不具合が発生した場合、本保証規定に基づき無償修理・交換対応を行います。

ただし、次のような場合には保証期間内であっても有償修理となります。

1. 本保証書がない場合。
2. 本保証書に、ご購入日・お名前・ご購入代理店印の記入がない場合、または字句が改ざんされている場合。
3. 取扱上の誤り、または不当な改造や修理を原因とする故障及び損傷。
4. ご購入後の輸送・移動・落下による故障及び損傷。
5. 火災、地震、落雷、風水害、ガス害、塩害、異常電圧およびその他の天変地異など、外部に原因がある故障および損傷。
6. 他の機器との接続に起因する故障・損傷。

## 初期不良交換

保証期間発生日より1ヶ月以内の故障に関しては、初期不良交換サービスの対象となります。

お客様より初期不良である旨申告していただき、弊社がその申告現象を確認した場合に限り、初期不良品として新品と交換いたします。

ただし、検査の結果、動作環境や相性を起因とする不具合であった場合には、初期不良交換サービス対象とはなりません。また、当サービスをご利用頂くには、お買い上げ商品の全ての付属品が揃っていることが条件になります。

## ◎初期不良・修理の手順（センドバック方式）

弊社は、センドバック方式による初期不良・修理対応を行っております。

1. 本製品に故障・不具合が発生した場合、下記サポートセンターまでご連絡ください。受付番号を発行いたします。

プラネックスコミュニケーションズ(株)

サポートセンター フリーダイヤル0120-415977

2. 受付番号を明記の上、本製品及び保証書を弊社リペアセンターまでお送りください。  
(誠に勝手ながら、修理品発送の際の送料はお客様の負担にてお願いいたします。)
3. 当該初期不良・修理品の到着後、初期不良の場合は交換品、修理の場合は修理完了品をお送りいたします。

---

## 免責事項

- ・お客様及び第三者の故意または過失と認められる本製品の故障・不具合の発生につきましては、弊社では一切責任を負いません。
- ・本製品の使用及び不具合の発生によって、二次的に発生した損害(事業の中断及び事業利益の損失、記憶装置の内容の変化、消失等)につきましては、弊社では一切責任を負いません。
- ・本製品に装着することにより他の機器に生じた故障・損傷について、弊社では本製品以外についての修理費等は一切保証致しません。

---

※本保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.

# 保証書

● 弊社の保証規定を必ずご覧ください。 ●

保証期間 Warranty	西暦	年	月	日より	1年間
製品名 Product name	ワイヤレスプリントサーバ				
型番 Product No.	<b>GW-PS01</b>				
製造番号 Serial No.					

フリガナ	
会社名	
部署名	
フリガナ	
お名前	
フリガナ	
ご住所	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 都府 道県
TEL	— — 内線
FAX	— —
メールアドレス	

ご購入代理店名 所在地	
----------------	--

**プラネックスコミュニケーションズ株式会社**

技術的なご質問、バージョンアップ等のお問い合わせは  
お気軽に下記へご連絡ください。  
なお弊社ホームページにてユーザー登録を行って  
いただいていない場合には、  
一切のサポートは受けられませんのでご注意ください。

フリーダイヤル：0120-415977

受付時間：月曜日～金曜日（祭日は除く）

10:00～12:00・13:00～17:00

FAX：03-5614-1018

ユーザー登録：<http://www.planex.co.jp/user/user.htm>

ご質問の受付やドライバのアップデートを  
下記Webサイトで行っておりますのでご利用ください。

<http://www.planex.co.jp/>

E-MAIL:[info-planex@planex.co.jp](mailto:info-planex@planex.co.jp)

**プラネックスコミュニケーションズ株式会社**

## 必ずお読み下さい

SS Manual No.PHM-02-10-JF-GWPS01 Version 1.0

このたびは、本製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

パッケージに以下の付属品が含まれていることを確認して下さい。

### 梱包内容

- GW-PS01 11Mbps無線LANプリントサーバ
- CD-ROM (Driver Utility・User's Manual) for Windows /Macintosh 1枚
- ACアダプタ
- GW-PS01 クイックインストレーションマニュアル

不足品がある場合は、販売店または弊社テクニカルサポートまでご連絡下さい。

今後ともPCI製品をご愛顧いただけますよう、お願い申し上げます。

ブラネックスコミュニケーションズ株式会社